

狭山市立狭山台中学校外 1 校職員トイレ改修工事

| 【建築図】 | | | | 【電気設備図】 | | 【機械設備図】 | |
|-------|----------------------|------|----------------------|---------|---------------------|---------|-----------------------|
| A-00 | 図面リスト | | 柏原中学校 | E-01 | 電気設備工事特記仕様書 | M-01 | 機械設備工事特記仕様書 (1) |
| A-01 | 特記仕様書 (改修その1) | A-18 | 案内図、配置図 | | 狭山台中学校 | M-02 | 機械設備工事特記仕様書 (2) |
| A-02 | 特記仕様書 (改修その2) | A-19 | 1階・2階平面図 | E-02 | 改修前 電灯設備 1階職員トイレ平面図 | M-03 | 衛生器具表 |
| A-03 | 特記仕様書 (改修その3) | A-20 | 改修前 2階職員トイレ平面詳細図・展開図 | E-03 | 改修後 電灯設備 1階職員トイレ平面図 | | 狭山台中学校 |
| A-04 | 特記仕様書 (改修その4) | A-21 | 改修後 2階職員トイレ平面詳細図・展開図 | E-04 | 改修後 電灯設備 1階平面図 | M-04 | 改修前後 給排水設備 1階職員トイレ平面図 |
| A-05 | 特記仕様書 (改修その5) | A-22 | 改修前 1階2階トイレ天井伏図 | | 柏原中学校 | M-05 | 改修前後 換気設備 1階職員トイレ平面図 |
| A-06 | 特記仕様書 (改修その6) | A-23 | 改修後 1階2階トイレ天井伏図 | E-05 | 改修前 電灯設備 2階職員トイレ平面図 | | 柏原中学校 |
| A-07 | 特記仕様書 (改修その7) | A-24 | 断面詳細図 | E-06 | 改修後 電灯設備 2階職員トイレ平面図 | M-06 | 改修前後 給排水設備 2階職員トイレ平面図 |
| | 狭山台中学校 | A-25 | 建具キープラン、建具表 | | | M-07 | 改修前後 換気設備 2階職員トイレ平面図 |
| A-08 | 案内図、配置図 | A-26 | 部分詳細図 (1) | | | | |
| A-09 | 1階平面図 | A-27 | 部分詳細図 (2) | | | | |
| A-10 | 改修前 1階職員トイレ平面詳細図・展開図 | | | | | | |
| A-11 | 改修後 1階職員トイレ平面詳細図・展開図 | | | | | | |
| A-12 | 改修前 1階廊下通路展開図・1階天井伏図 | | | | | | |
| A-13 | 改修後 1階廊下通路展開図・1階天井伏図 | | | | | | |
| A-14 | 断面詳細図 | | | | | | |
| A-15 | 建具キープラン、建具表 | | | | | | |
| A-16 | 部分詳細図 (1) | | | | | | |
| A-17 | 部分詳細図 (2) | | | | | | |

5 アルミニウム製建具

性能値等 [5.2.2~5][表5.2.1、2]

耐風圧性、気密性及び水密性の等級、枠の見込み寸法

外部に面する建具の種別

・A種 ・B種 ・C種 (適用する建具 ※建具表による)

上記以外の建具 (※建具表による ・ 図示)

防音ドア、防音サッシとする場合

遮音性の等級 () (適用する建具 ※建具表による)

断熱ドア、断熱サッシ () とする場合

断熱性の等級 () (適用する建具 ※建具表による)

耐震ドアとする場合

面内変形追随性の等級 () (適用する建具 ※建具表による)

網戸等

| 種類 | 材質 | 線径 | 網目 |
|------|--|-----------|------------|
| ・防虫網 | ※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製 | ※0.25mm以上 | ※16~18メッシュ |
| ・防鳥網 | ステンレス(SUS304)線材 | 1mm | 網目寸法15mm |

表面処理

外部に面する建具 種別

・BB-1種 ・BB-2種

着色 ・標準色 ・特注色

屋内の建具 種別

・BC-1種 ・BC-2種

着色 ・標準色 ・特注色

結露水の処理方法 ※図示

水切り板、ぜん板等 ※図示

6 樹脂製建具

性能値等 [5.2.2][5.3.2~5]

耐風圧性、気密性及び水密性の等級、枠の見込み寸法

外部に面する建具の種別

・A種 ・B種 ・C種 (適用する建具 ※建具表による)

上記以外の建具 (※建具表による ・ 図示)

防音ドア、防音サッシとする場合の遮音性の等級

外部に面する建具の種別

・T-A種 ・T-B種 (適用する建具 ※建具表による)

上記以外の建具 (※建具表による ・ 図示)

断熱ドア、断熱サッシ () とする場合の断熱性の等級

外部に面する建具の種別

・H-A種 ・H-B種 ・H-C種 (適用する建具 ※建具表による)

上記以外の建具 (※建具表による ・ 図示)

ガラス ※複層ガラス

水切り板、ぜん板等 ※図示

表面色 ・標準色 ・特注色

7 鋼製建具

性能値等 [5.2.2][5.4.2、4][表5.4.2]

簡易気密型ドアセットの気密性及び水密性の等級

・適用する (※建具表による) ・適用しない

外部に面する鋼製建具の耐風圧性の等級

・S-4 ・S-5 ・S-6 (適用する建具 ※建具表による)

防音ドア、防音サッシとする場合

遮音性の等級 () (適用する建具 ※建具表による)

断熱ドア、断熱サッシ () とする場合

断熱性の等級 () (適用する建具 ※建具表による)

耐震ドアとする場合

面内変形追随性の等級 () (適用する建具 ※建具表による)

鋼板の厚さ

大型建具(1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超えるもの)

※建具表による

上記以外の鋼製建具 ※[表5.4.2]による ・建具表による

8 鋼製軽量建具

性能値等 [5.2.2][5.5.2~4]

簡易気密型ドアセットの気密性の等級

・適用する (※建具表による) ・適用しない

外部に面するステンレス製建具の耐風圧性の等級

・S-4 ・S-5 ・S-6 (適用する建具 ※建具表による)

防音ドア、防音サッシとする場合

遮音性の等級 () (適用する建具 ※建具表による)

断熱ドア、断熱サッシ () とする場合

断熱性の等級 () (適用する建具 ※建具表による)

耐震ドアとする場合

面内変形追随性の等級 () (適用する建具 ※建具表による)

材料

鋼板類 ※亜鉛めっき鋼板 ・ビーム保護鋼板 ・冷-鋼板 ・スリット鋼板

召合せ、縦小口包み板等の材質 ※鋼板 ・建具表による

鋼板の厚さ

大型建具(1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超えるもの)

※建具表による

上記以外の鋼製軽量建具 ※[表5.5.1]による ・建具表による

9 ステンレス製建具

性能値等 [5.2.2][5.4.2][5.6.2~5]

簡易気密型ドアセットの気密性及び水密性の等級

・適用する (※建具表による) ・適用しない

外部に面するステンレス製建具の耐風圧性の等級

・S-4 ・S-5 ・S-6 (適用する建具 ※建具表による)

防音ドア、防音サッシとする場合

遮音性の等級 () (適用する建具 ※建具表による)

断熱ドア、断熱サッシ () とする場合

断熱性の等級 () (適用する建具 ※建具表による)

耐震ドアとする場合

面内変形追随性の等級 () (適用する建具 ※建具表による)

材料

鋼板 ※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1

ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ

10 木製建具

建具材の加工、組立時の含水率 ※B種

(16.7.2~4)

建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量

※規制対象外

11 フラッシュ戸

表面材の合板の種類

| 合板の種類 | 規格等 | 備考 |
|-----------------|---|----------|
| ・普通合板 () | 表面の樹種 (※ラフ合板程度) 不透明塗料塗り (※しな合板程度) | |
| ・天然木化粧合板 () | 板面の品質 () 接着の程度 (・1類 ・2類) 防虫処理 ・行う | |
| ・天然木化粧合板 () | 樹種名 () 接着の程度 (・1類 ・2類) 防虫処理 ・行う | |
| 12 特殊加工化粧合板 () | 化粧加工の方法 (・オパール・イ・プリント・塗装) 表面性能 () タイプ 接着の程度 (・1類 ・2類) 防虫処理 ・行う | メラミン化粧合板 |

表面材の厚さ ※(表16.7.6)による

・かまち戸

かまち樹種 () 鏡板樹種 ()

見込み寸法 ※36mm ・建具表による

11 建具用金物 [5.7.1~3]

・ふすま

張りの種別 (・I型 ・II型)

上張り(押入等の裏側以外) ・鳥の子

上張り(押入等の裏側以外) ・鳥の子

縁仕上げ ・塗り縁 ・生地縁(素地) ・生地縁(ウレタンリキヤー塗装)

見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による

・戸ぶすま

見込み寸法 ※30mm ・建具表による

・紙張り障子

見込み寸法 ※30mm ・建具表による

枠及びくつずりの材料 ・建具表による

金物の種類及び見え掛り部の材質等

※[表5.7.1]及び適用は建具表による

金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ

※[表5.7.2]による ・建具表による

樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ

※[表5.7.3]による ・建具表による

握り玉、レバーハンドル、押柄類、クレセント等の取付位置

・建具表による ・ 図示

木製建具に使用する戸車及びレール

※標準仕様書 表16.8.5による ・建具表による

マスターキー ・製作する(・新規 ・既存マスター合わせ) () 製作しない [5.4]

その他の鍵 ※各室3本組

鍵番 ・無 ・有

引き戸用駆動装置及び検出装置の種類 [5.8.2、3]

| 自動ドア | 性能値 | 検出装置(センサー)の種類 | 凍結防止措置 |
|---------|--------------|---------------|--------|
| ・SSLD-1 | ※[表5.8.1]による | ・マトリクス | ・行う |
| ・SSLD-2 | ※[表5.8.1]による | ・光線(反射)スイッチ | ・行う |
| ・DSDL-1 | ※[表5.8.1]による | ・熱線スイッチ | ・行う |
| ・DSDL-2 | ※[表5.8.1]による | ・音波スイッチ | ・行う |
| | | ・光電スイッチ | ・行う |
| | | ・電圧スイッチ | ・行う |
| | | ・タッチスイッチ | ・行う |
| | | ・押しボタンスイッチ | ・行う |
| | | ・ペダルスイッチ | ・行う |
| | | ・多機能トイレスイッチ | ・行う |

多機能トイレ出入口に設置される引き戸

出入口引き戸駆動装置の性能値

※[表5.8.2]による (防錆の適用 ・する ※しない)

上記によらない場合

検出装置(センサー)の種類

※建具表による ・上記表と同じ

凍結防止措置 ・行う (適用箇所は建具表による) ・行わない

引き戸用検出装置の性能値

※[表5.8.3]による

・上記によらない場合 ()

戸の開閉方式 ※建具表による ・ 図示

14 自閉式上吊り引戸装置 [5.8.3]

性能 ※[表5.9.1]による

15 重量シャッター [5.10.2、3]

| シャッターの種類 | 耐風圧強度 | 耐風圧強度 |
|-------------|---------|---------|
| ・一般重量シャッター | () N/m | () N/m |
| ・外壁用防火シャッター | () N/m | () N/m |
| ・屋内用防火シャッター | () N/m | () N/m |
| ・屋内用防煙シャッター | () N/m | () N/m |

開閉方式の種類 ※上部電動式(手動併用) ・上部手動式

・二重チェーン、急降下制動装置、急降下停止装置等を取付けた電動シャッターの設置箇所 ※図示

・障害物感知装置を取付けた電動式シャッターの設置箇所 ※図示

・屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構 ※[5.10.2](4)(5)(6)に適合するもので、以下のいずれかの機構を有するものとする

※(a) 障害物感知装置(自動閉鎖型) ・ (b) 可動座板式設置箇所 ※図示

・管理用シャッターのシャッターケースの設置箇所 ※図示

6 内装改修工事

1 ① 改修範囲 [6.1.3]

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲

※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・ 図示

天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲

※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・ 図示

既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修

※既存のまま ・ 図示

2 ② 既存床の撤去及び下地補修 [6.2.2]

ビニルシート等の除去 ※仕上げ材のみ(接着剤とも)

・下地モルタルとも (・ 図示の範囲 ・ 除去範囲全て)

合成樹脂塗料の除去工法 ・ 機械的除去工法 ・ 目荒し工法

コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章 外壁改修工事 による。

改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内

3 ③ 既存壁の撤去及び下地補修 [6.2.2]

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修

※[4.4.9]によるモルタル塗り(塗り厚25mmを超える場合の取置) ※図示

・ 図示

4 ④ 木下地等の表面仕上げ [6.5.1]

17 オーバーヘッドドア [5.12.2、3]

| セクション材料 | 耐風圧区分(Pa) | 開閉方式による区分 | 収納形式による区分 | ガイドレール |
|--------------|-----------|-----------|-----------|------------|
| ※スチールタイプ | ・125 | ※バランス式 | ・スタンダード形 | ※溶融亜鉛めっき鋼板 |
| ・アルミニウムタイプ | ・100 | ・チェーン式 | ・ローヘッド形 | めっき鋼板 |
| ・ファイバーグラスタイプ | ・75 | ・電動式 | ・ハイリフト形 | ・ステンレス鋼板 |
| | ・50 | | ・バーチャル形 | |

適用は以下によるほか、ガラスの種類・厚さは建具表及び図面による。 [3.7][5.13.2~4]

合わせガラス

| 品名 | 構成種類 | 性能 |
|-------------|-------------------|----------------|
| ・フロート合わせガラス | ・フロート板合わせガラス | ・I類 |
| ・網入磨き合わせガラス | ・熱線吸収、フロート板合わせガラス | ・II-1類 ・ II-2類 |
| | ・網入磨き、フロート板合わせガラス | ・III類 |
| | ・網入磨き、熱線吸収合わせガラス | |

強化ガラス

| 材料ガラスによる種類 | 種類 | 性能 |
|------------|------------|-------|
| ・フロートガラス | ・フロート強化ガラス | ・I類 |
| | ・熱線吸収強化ガラス | ・III類 |
| ・型板ガラス | ○型板強化ガラス | |

熱線吸収板ガラス

| 品名 | 性能 | 色調 |
|---------------|---------|-----------------|
| ・熱線吸収フロート板ガラス | ・1種 ・2種 | ・ブルー ・グレー ・ブロンズ |
| ・熱線吸収網入磨き板ガラス | | |

複層ガラス

| 品名 | 断熱性 | 日射取得性、日射遮蔽性 |
|--------------|-------------|-------------|
| ・断熱複層ガラス | ・T1 ・T2 ・T3 | ・G ・S |
| ・日射熱遮へい複層ガラス | ・T4 ・T5 ・T6 | |

熱線反射ガラス

| 品名 | 日射熱遮へい性 | 耐久性 |
|-------------------|---------|---------|
| ・熱線反射ガラス | ・1種 | A種 |
| ・色調 (・ブルー ・グレー) | ・2種 | ・A種 ・B種 |
| ・高性能熱線反射ガラス | ・3種 | B種 |
| 色調 (・ブロンズ ・シルバー) | | |

反射被膜面 ・内面 ・外面

映像調整 ・行わない ・行う

倍強度ガラス

| 材料板ガラスによる種類の名称 | 色調 |
|----------------|-----------------|
| ・フロート倍強度ガラス | — |
| ・熱線吸収倍強度ガラス | ・ブルー ・グレー ・ブロンズ |

ガラスの割れ材及び溝の大きさ

| 建具の種類 | ガラス割れ材 | ガラス溝の大きさ(mm) |
|---------|---------------|---------------|
| アルミニウム製 | ・シーリング材 | ※建具の製造所の仕様による |
| | ・ガasket | |
| | ・グレイジングチャンネル形 | |

鋼製及び鋼製軽量

・シーリング材 ※建具の製造所の仕様による

ステンレス製

・シーリング材 ※建具の製造所の仕様による

19 ガラスブロック [5.13.5]

| 表面形状 | 呼び寸法 | 厚さ | 色調 | 目地幅(mm) | 伸縮調整目地(mm) | 防火性能 |
|------|----------|-----|------|---------|------------|------|
| ○正方形 | ・125×125 | 80 | ・乳白 | ※8~15 | ※15以下 | ※無し |
| | ○145×145 | 95 | ・平積み | ・15~25 | ※10~25 | ・有り |
| | ・160×160 | 125 | | | ・図示 | |
| | ・200×200 | 95 | | 内側 ※6以上 | | |
| | ・320×320 | 95 | | | | |
| ・長方形 | ・250×125 | 80 | | | | |
| | ・320×160 | 95 | | | | |

曲面積みの曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする。

材料

壁用金属枠及び補強材の材質及び形状 ※図示

力骨 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)

寸法 ※径5.5mm

形状 ※はこ形状複筋及び単筋

化粧目地モルタルの色 ()

金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製

寸法 ※図示

形状 ※図示

工法

建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法

ガラスブロックの目地幅の寸法

※[5.13.5](2)(5)(a)①②による

伸縮調整目地の位置

※6m以下ごとに幅10~25mmの目地を設ける

目地部の横力骨の納まり

※ガラスブロックの製造所の仕様による ・ 図示

※施工箇所は建具表による

| 種類 | 記号 | その他性能等 |
|---------------|-------|--------|
| ・日射調整フィルム () | ・SG-1 | ・SG-2 |
| ・低放射フィルム | ・LE | |
| ・衝撃破壊対応ガラス | ・GI-1 | ・GI-2 |
| ・飛散防止フィルム | | |
| ・層間変位破壊対応ガラス | ・GD-1 | ・GD-2 |
| ・飛散防止フィルム | | |
| ・ガラス貫通防止フィルム | ・SF | |

品質 JIS A 5759 による

20 ガラス用フィルム

| 種類 | 内貼り用 | 外貼り用 | その他性能等 |
|---------------|-------|-------|--------|
| ・日射調整フィルム () | ・SG-1 | ・SG-2 | |
| ・低放射フィルム | ・LE | | |
| ・衝撃破壊対応ガラス | ・GI-1 | ・GI-2 | |
| ・飛散防止フィルム | | | |
| ・層間変位破壊対応ガラス | ・GD-1 | ・GD-2 | |
| ・飛散防止フィルム | | | |
| ・ガラス貫通防止フィルム | ・SF | | |

品質 JIS A 5759 による

6 ① 改修範囲 [6.1.3]

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲

※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・ 図示

天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲

※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・ 図示

既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修

※既存のまま ・ 図示

② 既存床の撤去及び下地補修 [6.2.2]

ビニルシート等の除去 ※仕上げ材のみ(接着剤とも)

・下地モルタルとも (・ 図示の範囲 ・ 除去範囲全て)

合成樹脂塗料の除去工法 ・ 機械的除去工法 ・ 目荒し工法

コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章 外壁改修工事 による。

改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内

③ 既存壁の撤去及び下地補修 [6.2.2]

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修

※[4.4.9]によるモルタル塗り(塗り厚25mmを超える場合の取置) ※図示

・ 図示

④ 木下地等の表面仕上げ [6.5.1]

⑤ 製材 () [6.5.2]

「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材

| 施工箇所 | 樹種 | 寸法 | 等級 | 形状 | 含水率 | 保存処理 | 材面の品質 | 間伐材等の適用 |
|------|----|-----|----|----|---------|------|-------|---------|
| 鋼線 | 杉 | ※2級 | | | ※A種 ・B種 | | | |
| | | ※2級 | | | ※A種 ・B種 | | | |

「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材

| 施工箇所 | 樹種 | 寸法 | 等級 | 形状 | 含水率 | 保存処理 | 材面の品質 | 間伐材等の適用 |
|---------|----|-------|----|----|---------|------|-------|---------|
| 見え掛り面 | 檜 | ※上小節 | | | ※A種 ・B種 | | | |
| 見え掛り面以外 | | ※小節以上 | | | ※A種 ・B種 | | | |

「製材の日本農林規格」による広葉樹製材

| 施工箇所 | 樹種 | 寸法 | 等級 | 含水率 | 保存処理 | 材面の品質 | 間伐材等の適用 |
|------|----|-----|----|--------|------|---------|---------|
| | | ※1等 | | ※10%以下 | | ※A種 ・B種 | |
| | | ※1等 | | ※10%以下 | | ※A種 ・B種 | |

「製材の日本農林規格」以外の製材

| 施工箇所 | 樹種 | 寸法 | 材面の品質 | 含水率 | 防虫処理の適用 | 間伐材等の適用 |
|------|----|----|-------------------------|---------|---------|---------|
| | | | () (造作材の場合) ※A種 ・B種 | ※A種 ・B種 | | |
| | | | () (造作材の場合) ※A種 ・B種 | ※A種 ・B種 | | |

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [6.5.2]

「集材材の日本農林規格」による造作用集材材

| 施工箇所 | 樹種 | 寸法 | 見付け材面の品質 | 含水率 | 防虫処理の適用 | 間伐材等の適用 |
|------|----|----|----------|---------|---------|---------|
| 建具枠 | タモ | | | ※1等 ・2等 | | |
| | | | | ※1等 ・2等 | | |

「集材材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集材材

| 施工箇所 | 化粧薄板の厚さ | 芯材の樹種 | 化粧薄板の厚さ | 見付け材面の品質 | 含水率 | 防虫処理の適用 | 間伐材等の適用 |
|------|---------|-------|---------|----------|---------|---------|---------|
| | | | | | ※1等 ・2等 | | |
| | | | | | ※1等 ・2等 | | |

「集材材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集材材

| 施工箇所 | 化粧薄板の樹種 | 芯材の樹種 | 化粧薄板の厚さ | 寸法 | 見付け材面の品質 | 含水率 | 防虫処理の適用 | 間伐材等の適用 |
|------|---------|-------|---------|----|----------|--------|---------|---------|
| | | | | | | ※15%以下 | | |
| | | | | | | ※15%以下 | | |

「集材材の日本農林規格」以外の造作用集材材

| 施工箇所 | 樹種 | 寸法 | 見付け材面の品質 | 含水率 | 防虫処理の適用 | 間伐材等の適用 |
|------|----|----|----------|--------|---------|---------|
| | | | | ※15%以下 | | |
| | | | | ※15%以下 | | |

「集材材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集材材

| 施工箇所 | 化粧薄板の樹種 | 芯材の樹種 | 化粧薄板の厚さ | 寸法 | 見付け材面の品質 | 含水率 | 防虫処理の適用 | 間伐材等の適用 |
|------|---------|-------|---------|----|----------|--------|---------|---------|
| | | | | | | ※15%以下 | | |
| | | | | | | ※15%以下 | | |

「集材材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集材材

| 施工箇所 | 化粧薄板の樹種 | 芯材の樹種 | 化粧薄板の厚さ | 寸法 | 見付け材面の品質 | 含水率 | 防虫処理の適用 | 間伐材等の適用 |
|------|---------|-------|---------|----|----------|--------|---------|---------|
| | | | | | | ※15%以下 | | |
| | | | | | | ※15%以下 | | |

「集材材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集材材

| 施工箇所 | 化粧薄板の樹種 | 芯材の樹種 | 化粧薄板の厚さ | 寸法 | 見付け材面の品質 | 含水率 | 防虫処理の適用 | 間伐材等の適用 |
|------|---------|-------|---------|----|----------|--------|---------|---------|
| | | | | | | ※15%以下 | | |
| | | | | | | ※15%以下 | | |

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [6.5.2]

「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材

| 施工箇所 | 寸法 | 表面の品質(化粧加工の有無) | 防虫処理の適用 | 間伐材等の適用 |
|------|----|----------------------|---------|---------|
| | | ・有り(加工 ・天然木加工 ・塗装加工) | | |
| | | ・無し(等級 ・1等 ・2等 ・3等) | | |

「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材

| 施工箇所 | 寸法 | 表面の品質(化粧加工の有無) | 含水率 | 防虫処理の適用 | 間伐材等の適用 |
|------|----|----------------------|--------|---------|---------|
| | | ・有り(加工 ・天然木加工 ・塗装加工) | ※14%以下 | | |
| | | ・無し() | | | |
| | | ・有り(加工 ・天然木加工 ・塗装加工) | ※14%以下 | | |
| | | ・無し() | | | |

CLT(直交集成板) ()

| 施工箇所 | 曲げ性能(強度等級) | 種別 | 接着性能(使用環境) | 樹種 | 寸法 | 間伐材等の適用 |
|------|------------|----|------------|----|----|---------|
| | | | | | | |
| | | | | | | |

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [6.5.2]

「合板の日本農林規格」による普通合板 ()

| 施工箇所 | 厚さ | 接着の程度 | 板面の品質 | 単板の樹種名 | 防虫処理の適用 | 間伐材等の適用 |
|------|----|-------|-------|------------|---------|---------|
| | ※5 | ○12 | ※1類 | 広葉樹 ※2等以上 | ・1等 | |
| | ・9 | ○4 | ※2類 | 針葉樹 ※C-D以上 | | |

「合板の日本農林規格」による構造用合板 ()

| 施工箇所 | 厚さ | 接着の程度 | 等級 | 板面の品質 | 単板の樹種名 | 強度等級 | 防虫処理の適用 | 間伐材等の適用 |
|------|-----|-------|-----|--------|--------|-----------|---------|---------|
| | ※12 | ※1類 | ※2類 | ※C-D以上 | | ・指定する () | | |
| | | ・特類 | ・1級 | | | ・指定しない | | |

「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 ()

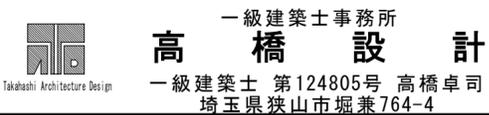
| 施工箇所 | 厚さ(mm) | 単板の樹種名 | 接着の程度 | 防虫処理の適用 | 間伐材等の適用 |
|------|--------|--------|---------|---------|---------|
| | | | ・1類 ・特類 | | |
| | | | | | |

| | | | | | | | |
|------------------|--|-------------------|---------------------------------------|-----------|----------------|----------|---------|
| 9 接合具等 | 「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 [G] | 施工箇所 | 厚さ(mm) | 接着の程度 | 化粧板に使用する単板の樹種名 | 防虫処理の適用 | 間伐材等の適用 |
| | 「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 [G] | 施工箇所 | 厚さ(mm) | 接着の程度 | 単板の樹種名 | 化粧加工の方法 | 防虫処理の適用 |
| 10 防塵・防蟻・防虫処理 | パーティクルボード [G] | 施工箇所 | 表裏面の状態による区分 | 曲げ強さによる区分 | 耐水性による区分 | 難燃性による区分 | 厚さ(mm) |
| | MDF [G] | 施工箇所 | 表裏面の状態による区分 | 曲げ強さによる区分 | 接着剤による区分 | 難燃性による区分 | 厚さ(mm) |
| 11 内部間仕切、窓、扉等の木材 | 構造用パネル | 施工箇所 | 厚さ(mm) | 等級 | | | |
| | 接合具等 | 諸金物の形状、寸法及び材質 | ※すがすがい、座金、箱金物及び短冊金物は、[6.5.3](2)(7)による | | | | |
| 12 軽量鉄骨天井下地 | 接合剤は可塑剤(難揮発性の可塑剤を除く)が添付されていないものとする。ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 | [6.5.5] | | | | | |
| | 防塵・防蟻処理を省略できる樹種による製材適用部位:() | [6.5.5] | | | | | |
| 13 軽量鉄骨壁下地 | 薬剤の加圧注入による防塵・防蟻処理 | 適用部材 | 保存処理性能区分 | | | | |
| | 薬剤の塗布等による防塵・防蟻処理 | 適用部材 | 処理の方法 | | | | 薬剤の種類 |
| 14 ビニル床シート [G] | 薬剤の接着剤への混入による防塵・防蟻処理 | 適用部位 () | [6.5.6~9] | | | | |
| | 合板等の加圧注入による防塵・防蟻処理 () | 防虫処理 ・適用する ・適用しない | | | | | |
| 15 ビニル床タイル [G] | 野縁等の種類 | 屋外(※25形・19形) | 屋内(※19形・25形) | [6.6.2~4] | | | |
| | 野縁の取付 | 野縁の取付 | 野縁の取付 | 野縁の取付 | | | |
| 16 特殊機能床材 | 野縁等の種類 | 屋外(※25形・19形) | 屋内(※19形・25形) | [6.6.2~4] | | | |
| | 野縁の取付 | 野縁の取付 | 野縁の取付 | 野縁の取付 | | | |
| 17 ビニル幅木 | 野縁等の種類 | 屋外(※25形・19形) | 屋内(※19形・25形) | [6.6.2~4] | | | |
| | 野縁の取付 | 野縁の取付 | 野縁の取付 | 野縁の取付 | | | |
| 18 ゴム床タイル | 野縁等の種類 | 屋外(※25形・19形) | 屋内(※19形・25形) | [6.6.2~4] | | | |
| | 野縁の取付 | 野縁の取付 | 野縁の取付 | 野縁の取付 | | | |

| | | | | |
|------------------|-------------------------|--------------------|--------------|------------|
| 19 カーベツト敷き | 織じゅうたん | 品質 | 織り方及びバリエーション | [6.9.2, 3] |
| | タフテッドカーベツト | バリエーション | バリエーション | |
| 20 合成樹脂塗床 | タイルカーベツト | バリエーション | バリエーション | |
| | タイルカーベツト | バリエーション | バリエーション | |
| 21 フローリング張り | フローリング及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 | ※規制対象外 [6.11.2~6] | | |
| | 単層フローリング [G] | フローリングボード1等 | [6.12] | |
| 22 畳敷き | 複合フローリング [G] | 天然木化粧複合フローリング | [6.12] | |
| | 複合フローリング [G] | 天然木化粧複合フローリング | [6.12] | |
| 23 セッコウボード及び合板張り | 接着剤のホルムアルデヒド放散量 | ※規制対象外 [6.13.2, 3] | | |
| | 接着剤のホルムアルデヒド放散量 | ※規制対象外 [6.13.2, 3] | | |

| | | | | | |
|----------------|--------------------|--------------------|------------|----------------|-------------|
| 24 壁紙張り | パーティクルボード | ・単板張りパーティクルボード [G] | ・無研磨板 VN | ・研磨板 VS | [6.14.2, 3] |
| | 壁紙の種類 | 紙 | 織物 | 強化繊維 | その他 |
| 25 モルタル塗り | モルタル | ・現場調合材料 | ○既調合材料 () | [6.15.3, 5, 6] | |
| | モルタル | ・現場調合材料 | ○既調合材料 () | [6.15.3, 5, 6] | |
| 26 タイル張り | 伸縮調整目地の位置 | [6.16.2~4] | | | |
| | 伸縮調整目地の位置 | [6.16.2~4] | | | |
| 27 セルフレベリング材塗り | 標準的な曲がりの役物は一体成形とする | [6.17.2, 3] | | | |
| | 標準的な曲がりの役物は一体成形とする | [6.17.2, 3] | | | |

| | | | | | | | |
|--------------------|-------------------|----------------|----------|----------|-----------|--------------|----------|
| 28 フリーアクセスフロア | フリーアクセスフロア及び表面仕上げ | [6.2.1] | | | | | |
| | フリーアクセスフロアの試験方法 | [6.2.2] | | | | | |
| 29 可動間仕切 | パネル材のホルムアルデヒド放散量 | ※規制対象外 [6.2.3] | | | | | |
| | パネル材のホルムアルデヒド放散量 | ※規制対象外 [6.2.3] | | | | | |
| 30 移動間仕切 | パネル材のホルムアルデヒド放散量 | ※規制対象外 [6.2.4] | | | | | |
| | パネル材のホルムアルデヒド放散量 | ※規制対象外 [6.2.4] | | | | | |
| 31 トイレブース | パネル材のホルムアルデヒド放散量 | ※規制対象外 [6.2.5] | | | | | |
| | パネル材のホルムアルデヒド放散量 | ※規制対象外 [6.2.5] | | | | | |
| 32 階段滑り止め | 材料 | ・ステンレス製 | ・黄銅製押出型材 | [6.2.6] | | | |
| | 材料 | ・ステンレス製 | ・黄銅製押出型材 | [6.2.6] | | | |
| 33 手すり | 材料 | ・ステンレス製 | ・黄銅製押出型材 | [6.2.6] | | | |
| | 材料 | ・ステンレス製 | ・黄銅製押出型材 | [6.2.6] | | | |
| 34 黒板及びホワイトボード [G] | 黒板 | 区分 | ※焼き付け | [6.2.8] | | | |
| | 黒板 | 区分 | ※焼き付け | [6.2.8] | | | |
| 35 表示 | 表示 | ・衝突防止表示 | [6.2.10] | | | | |
| | 表示 | ・衝突防止表示 | [6.2.10] | | | | |
| 36 ブラインド | 形式 | ・操作 | ・種類 | ・スラットの材質 | ・スラットの寸法 | ・ボックス・レールの材質 | ・寸法・取付箇所 |
| | 形式 | ・操作 | ・種類 | ・スラットの材質 | ・スラットの寸法 | ・ボックス・レールの材質 | ・寸法・取付箇所 |
| 37 ロールスクリーン | スラットの材質 | [6.2.12] | | | | | |
| | スラットの材質 | [6.2.12] | | | | | |
| 38 カーテン | 形式 | ・開閉操作 | ・ひだの種類 | ・きれ地の種類 | ・品質・特殊加工等 | ・取付箇所 | ・備考 |
| | 形式 | ・開閉操作 | ・ひだの種類 | ・きれ地の種類 | ・品質・特殊加工等 | ・取付箇所 | ・備考 |
| 39 カーテンレール | 材料による区分 | [6.2.14] | | | | | |
| | 材料による区分 | [6.2.14] | | | | | |



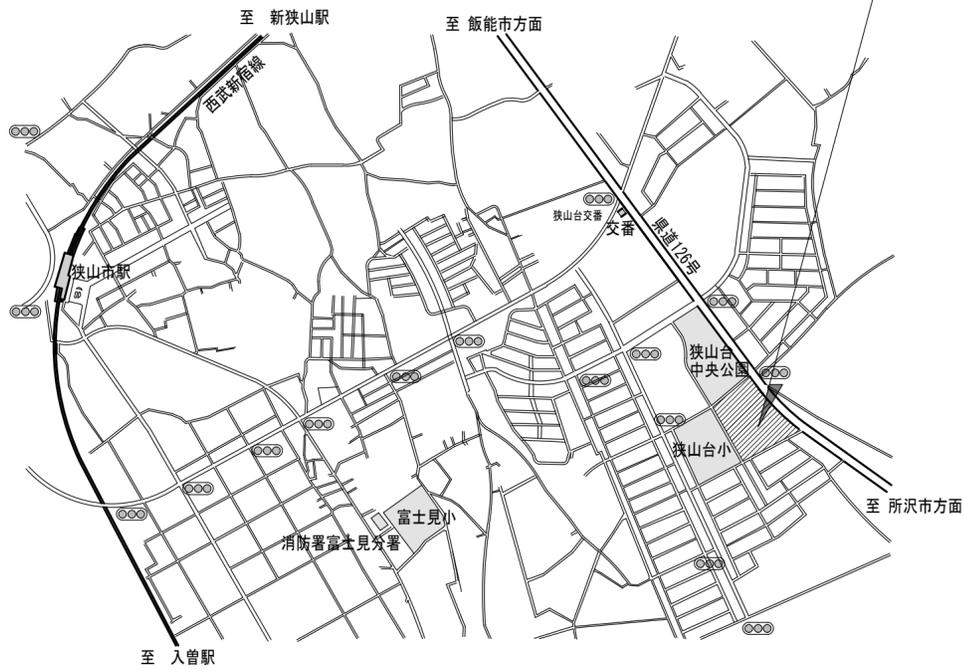
一級建築士事務所
高橋設計
 一級建築士 第124805号 高橋卓司
 埼玉県狹山市堀兼764-4

| II コンクリート工事 | ① コンクリートの種類等 | ① Ⅰ類 (JIS A 5308 への適合を認証されたコンクリート) (6.2.1) ・Ⅱ類 (JIS A 5308 に適合したコンクリート) 普通コンクリート (6.2.1~6.2.4) <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 (N/mm^2)</th> <th>気乾単位容積 質量 (t/m^3)</th> <th>スランブ</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>○21</td> <td>2.3程度</td> <td>・15又は18 ○18</td> <td>床</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> 構造体強度補正值 (S) (6.2.2) ※標準仕様書 表6.3.2による 補正值 S = 3 (3月11日~11月10日、月日~月日) S = 6 (11月11日~3月10日、月日~月日) | 設計基準強度 (N/mm^2) | 気乾単位容積 質量 (t/m^3) | スランブ | 適用箇所 | ○21 | 2.3程度 | ・15又は18 ○18 | 床 | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | 14 無筋コンクリート (6.14.1) | コンクリートの種類 ※普通コンクリート セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・高炉セメントB種 (G) ・フライアッシュセメントB種 (G) 設計基準強度 ※18 (N/mm^2) スランブ ※15cm又は18cm 適用箇所 ※標準仕様書6.14.1(4)による箇所 ・図示による () | | | | | |
|----------------------|---|--|------------------------|---|------------|------|------------|-------|-------------|----|------|-----|--------------|-----|------------|-----|------------|---|---|---|---|---|----------------------|--|--|--|--|--|--|
| | 設計基準強度 (N/mm^2) | 気乾単位容積 質量 (t/m^3) | スランブ | 適用箇所 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ○21 | 2.3程度 | ・15又は18 ○18 | 床 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ・ | ・ | ・ | ・ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ・ | ・ | ・ | ・ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ・ | ・ | ・ | ・ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ② セメント | 種類 (6.3.1) ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 適用箇所 (※下記以外全て) 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で 352 J/g 以下、かつ28日目で 402 J/g 以下のものとする。 ・高炉セメントB種 (G) 適用箇所 (・1FLより下部 (立上り部含む)) ・フライアッシュセメントB種 (G) 適用箇所 (・) | 15 コンクリートの単位水量測定 | 実施要領 (1) 単位水量の測定は、150㎡に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2) 単位水量の上限度は、標準仕様書6.3.2(4)(g)による。 (3) 単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1) 測定した単位水量が、計画調合書の設計値 (以下、「設計値」という。) ±15kg/m ³ の範囲にある場合はそのまま施工する。 2) 測定した単位水量が、設計値±15を超え±20kg/m ³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、設計値±15kg/m ³ 以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3) 設計値±20kg/m ³ を超える場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m ³ 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 4) 3) の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (4) 単位水量管理についての記録を書面 (計画調合書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等) と写真により提出する。 (5) 単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法 (電子レンジ法)、 ϵ 法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ③ 骨材 | アルカリシリカ反応性による区分 (6.3.1) ※A ・ B (コンクリート中のアルカリ総量が 3.0 kg/m ³ 以下) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ④ 混和材料 | ○混和剤 (6.3.1) 混和剤の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(a)による ・混和材 混和材の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(b)による | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 5 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地 | 打継ぎの位置 (6.4.4) 梁及びスラブ ※スラブの中央又は端から1/4の付近 ・図示による () 柱及び壁 ※スラブ、壁梁又は基礎の上端 ・図示による () 目地の寸法 (6.4(6.2.1)(3.7.2)) ・標準仕様書 9.7.3(1)(7)~(9)による ※ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する ・図示による () ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法 (6.4.1) ・図示による () | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 湿潤養生 | 湿潤養生の期間 (6.7.2) ・セメントの種類が普通エコセメントの場合 () 日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑦ コンクリートの仕上り | 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6.2.5)(6.8.2) <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・A種</td> <td>※図示による ()</td> </tr> <tr> <td>○B種</td> <td>※図示による ()</td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>※図示による ()</td> </tr> </table> コンクリートの仕上りの平たんさ <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>○a種</td> <td>※図示による () 壁</td> </tr> <tr> <td>・b種</td> <td>※図示による ()</td> </tr> <tr> <td>・c種</td> <td>※図示による ()</td> </tr> </table> | 種別 | 適用箇所 | ・A種 | ※図示による () | ○B種 | ※図示による () | ・C種 | ※図示による () | 種別 | 適用箇所 | ○a種 | ※図示による () 壁 | ・b種 | ※図示による () | ・c種 | ※図示による () | | | | | | | | | | | | |
| 種別 | 適用箇所 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・A種 | ※図示による () | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○B種 | ※図示による () | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・C種 | ※図示による () | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 種別 | 適用箇所 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○a種 | ※図示による () 壁 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・b種 | ※図示による () | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・c種 | ※図示による () | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 打増し厚さ (打放し仕上げ部) | 打増し厚さ (6.8.1) ・打放し仕上げの打増し厚さ (外部に面する部分に限る) ・20mm ・打放し仕上げの打増し厚さ (内部に面する部分に限る) ・10mm ・外装タイル後張り面の打増し処理 ・20mm 打増し範囲 ・図示による () | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑨ 型枠 | せき板の材料及び厚さ (6.8.2) ○合板 (※12mm) (G) コンクリート打設時の充填性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督員と協議する。 ・断熱材を兼用した型枠の使用 適用箇所 ・図示による () ・MCR工法用シートの使用 適用箇所 ・図示による () 打増し厚さ ・20mm 打増し範囲 ・図示による () スリーブの材種・規格等 ・図示による () 設置期間及び取外し (6.8.4) ※標準仕様書6.8.4による ・普通エコセメントの場合 (※図示による ()) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 軽量コンクリート | 適用箇所 (6.10.1、2) ・図示による () 種類 ・1種 ・2種 気乾単位容積質量 ・標準仕様書 表6.10.1による スランブ ※21cm | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 11 寒中コンクリート | 適用期間 (月日~月日) (6.11.1、2) 構造体強度補正值 (S) を積算温度を基に定める場合 ・図示による ()、S = () | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12 暑中コンクリート | 適用期間 (月日~月日) (6.12.1) 構造体強度補正值 (S) ※6N/mm ² ・図示による ()、S = () | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 13 マスコンクリート | 適用箇所 (6.13.1、2) ・図示による () セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント ・中熱ポルトランドセメント ・低熱ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 (G) ・フライアッシュセメントB種 (G) ・シリカセメント 混和材料の適用 ・あり (・標準仕様書6.13.2(2)(7)による ・標準仕様書6.13.2(2)(4)による) スランブ ※15cm 構造体強度補正值 (S) ※標準仕様書 表6.13.1による | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

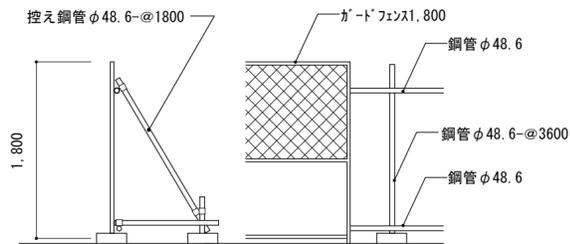
| <p>8 耐震改修工事</p> <p>1 適用範囲</p> <p>2 既存部分の処理等</p> <p>3 撤去工事の施工内容</p> <p>4 撤去工事における注意事項</p> <p>(鉄筋)</p> <p>1 鉄筋</p> <p>2 溶接金網</p> <p>3 継手及び定着</p> <p>4 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網含む)</p> <p>5 ガス圧接完了後の試験</p> <p>6 機械式継手</p> <p>7 溶接継手</p> <p>8 割製補強筋</p> <p>(コンクリート)</p> <p>1 コンクリートの種類等</p> | <p>・改修標準仕様書 第8章 耐震改修工事 ◎改修標準仕様書における第8章耐震改修工事以外の改修工事で第8章を引用している部分</p> <p>工事内容 ◎現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 ・鉄骨ブレースの設置工事 ・柱補強工事(溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法) ・柱補強工事(鋼板巻き工法又は帯板巻き工法) ・柱補強工事(連続繊維補強工法) ・耐震スリット新設工事 ・免震改修工事 ・制振改修工事 ・土工事及び地業工事</p> <p>既存構造体の撤去 ◎図示による() ・はつり出した鉄筋及び鉄骨の処置 ・図示による()</p> <p>既存構造体コンクリート面の目荒らしの程度及び範囲 ・既存柱、梁面 ・打継ぎ面の15～30%程度に、平均深さ2～5mm(最大7mm)程度の凹面を全体にわたってつける</p> <p>・既存壁 ・打継ぎ面の10～15%程度に、平均深さ2～5mm(最大7mm)程度の凹面を全体にわたってつける</p> <p>※耐震壁等の増設に伴い、これらの増設部材が設置される構面内既存仕上げ・躯体の撤去と同等の一括撤去する。 ※増設部材と接する既存コンクリート面は充分に目荒らしを行う。 ※塗仕上げ又はこれに準ずる仕上げ材、及び躯体を撤去する場合は、カッターで切込みを付けてから撤去する。なお、躯体を撤去する場合は、両面からカッター切込みを付けてから撤去する。 ※撤去に際しては、廃棄物の処理に関する法律に準拠する。</p> <p>※コンクリート及び塗り仕上げを部分的に撤去する場合は、既存部分の仕上げに損傷を与えないよう充分注意する。特に塗り仕上げ、増設部材設置構面内の壁コンクリート及び土間コンクリート等の撤去に際しては、カッター等で切込みを付け、既存部分の保護を図る。 ※増設する部材に接する既存コンクリートは、充分に目荒らしを行い増設部材との一体化を図る。なお、目荒らしは、深さ6mm程度の凹凸で全体を荒らすようにする。はつり工事は構造躯体に影響を与えない方法で丁寧に行うこと。(電気ピックを用いる等) ※コンクリート打設前に粉塵、はつりがらを清掃し、数日前から充分に水湿めを行う。 ※既存の躯体状態の確認及び補修 ・石膏ボードについては、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等に従い、原形のまま運搬し管理型最終処分場へ処分すること。 ・石綿スレート、フレキシブルボード等石綿製品の撤去にあたっては、関係法令に従い、部材が破損しないようにはずして行い、原形のまま運搬処分すること。 ・以下の天井材の撤去にあたっては、ボードが破損しないように、手はずして行うこと。 ・床：ビニラス系タイルの撤去にあたっては、関係法令に従い部材が破損しないように湿潤後、手はずして行い、原形のまま飛散防止を運搬処分すること。</p> <p>種類 [8.2.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び径(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・SD295A</td> <td>※D16以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・SD345</td> <td>※D19以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>形状等 [8.2.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>種類の記号</th> <th>網目の形状、寸法、鉄線の径(mm)</th> <th>使用部位</th> </tr> <tr> <td>・溶接金網</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・鉄筋格子</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>継手方法等 [8.3.4][8.4.2～3]</p> <table border="1"> <tr> <th>部位</th> <th>継手の方法</th> <th>呼び径(mm)</th> </tr> <tr> <td>・柱、梁の主筋</td> <td>・ガス圧接 ・機械式継手</td> <td>※D19以上</td> </tr> <tr> <td>耐力壁の鉄筋</td> <td>・重ね継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>基礎、耐力スラブ、土圧壁</td> <td>・ガス圧接 ・重ね継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>上記以外</td> <td>・重ね継手</td> <td></td> </tr> </table> <p>継手位置 ・図示による(構造関係共通図(配筋標準図)5.1.6.1.7.1.7.3.8.1) (基礎梁主筋の継手位置) ・図5.2 ・図5.3 ・図5.4) ・図示による() 柱及び梁主筋の重ね継手の長さ ・図示による() 耐力壁の重ね継手の長さ ※図示による(構造関係共通図(配筋標準図)3(1)(ウ)) ・図示による(構造関係共通図(配筋標準図)表3.1) ・図示による() 鉄筋の定着長さ ※図示による(構造関係共通図(配筋標準図)3(2))</p> <p>最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う) ・図示による(構造関係共通図(配筋標準図)表4.1) ・耐久性上不利な部分(塩害等を受けるおそれのある部分等)適用箇所()、最小かぶり厚さに加える厚さ()mm</p> <p>外観試験は全ての圧接部で行う。 圧接部の確認試験 ※超音波探傷試験</p> <p>適用箇所 ・図示による() 機械式継手の種類 H12建告第1463号に適合する性能 ・A級 ・ 鉄筋相互のあき ・図示による() 施工完了後の継手部の試験 ・図示による() 不合格となった継手部への措置 ・図示による()</p> <p>適用箇所 ・図示による() 溶接継手の種類 H12建告第1463号に適合する性能 ・A級 ・ 鉄筋相互のあき ・図示による() 施工完了後の溶接部の試験 ・図示による() 不合格となった溶接部への措置 ・図示による()</p> <p>仕様 ・図示による() [8.2.1][8.2.2]</p> <p>コンクリートの類別 ※Ⅰ類(JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート) ※Ⅱ類(JIS A 5308に適合したコンクリート) ※普通コンクリート</p> <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度(N/mm²)</th> <th>気乾単位容積質量(t/m³)</th> <th>スラブ</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・24</td> <td>2.3程度</td> <td>・15又は18 ・18</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>構造体強度補正值 ※表8.2.4]による</p> | 種類の記号 | 呼び径(mm) | 備考 | ・SD295A | ※D16以下 | | ・SD345 | ※D19以上 | | ・ | | | ・ | | | ・ | | | ・ | | | 種類 | 種類の記号 | 網目の形状、寸法、鉄線の径(mm) | 使用部位 | ・溶接金網 | | | | ・鉄筋格子 | | | | 部位 | 継手の方法 | 呼び径(mm) | ・柱、梁の主筋 | ・ガス圧接 ・機械式継手 | ※D19以上 | 耐力壁の鉄筋 | ・重ね継手 | | 基礎、耐力スラブ、土圧壁 | ・ガス圧接 ・重ね継手 | | 上記以外 | ・重ね継手 | | 設計基準強度(N/mm ²) | 気乾単位容積質量(t/m ³) | スラブ | 適用箇所 | ・24 | 2.3程度 | ・15又は18 ・18 | | ・ | | | | ・ | | | | ・ | | | | ・ | | | | ・ | | | | <p>2 セメント</p> <p>種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 適用箇所(※下記以外全て) ・普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする ・高炉セメントB種 [G] 適用箇所(・1Fより下部(立ち上がり部含む)) ・フライアッシュセメントB種 [G] 適用箇所()</p> <p>アルカリシリカ反応性による区分 ※A ・B(コンクリート中のアルカリ総量Rt=3.0kg/m³以下)</p> <p>3 骨材</p> <p>・混和剤 種類 ※[8.2.5](4)(a)による ・混和材 種類 ※[8.2.5](4)(b)による</p> <p>4 混和材料</p> <p>圧縮強度()、フロー値()</p> <p>5 構造体用モルタル</p> <p>6 ひび割れ誘発目地、打継目地</p> <p>目地寸法 [6.6.4][6.8.1][8.7.3] ・標準仕様書9.7.3(1)(7)～(9)による ※ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する ・図示による() ひび割れ誘発目地の位置 ・図示による()</p> <p>7 コンクリートの仕上り</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・A種</td> <td>※図示による()</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>※図示による()</td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>※図示による()</td> </tr> </table> <p>コンクリートの仕上りの平たんさ</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・a種</td> <td>※図示による()</td> </tr> <tr> <td>・b種</td> <td>※図示による()</td> </tr> <tr> <td>・c種</td> <td>※図示による()</td> </tr> </table> <p>打増し厚さ [8.7.8]</p> <p>1 打増し厚さ(打放し仕上げ部) ・打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ・20mm ・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・10mm ・20mm</p> <p>打増し範囲 ・図示による()</p> <p>9 型枠</p> <p>せき板の材料及び厚さ [6.8.2][8.2.7] ・合板(12mm) ・コンクリート打設時の充填性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督官と協議する。 ・断熱材を兼用した型枠の使用 適用箇所 ・図示による() ・MCR工法用シートの使用 適用箇所 ・図示による() 打増し厚さ ・20mm 打増し範囲 ・図示による() スリーブの材質・規格等 ・図示による()</p> <p>10 型枠の加工及び組立</p> <p>シアコネクタをセパレーターとして使用 適用箇所 ・図示による()</p> <p>11 無筋コンクリート</p> <p>コンクリートの種類 ※普通コンクリート</p> <p>セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・高炉セメントB種 [G] フライアッシュセメントB種 [G] 適用箇所 ※標準仕様書6.14.1(4)による箇所 ・図示による() [6.14.1] 設計基準強度 ※18(N/mm²) [6.11.1] スラブ ※15cm又は18cm</p> <p>12 コンクリートの打込み工法等</p> <table border="1"> <tr> <th>補強工事</th> <th>工法の種類</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・現場打ちコンクリート壁の増設工事</td> <td>・工法指定なし (○流込み工法8.21.8(1)(7)、(2) ・全ての増設壁 ・図示による() ・圧入工法 8.21.8(1)(4)、(3) ・図示による()</td> <td>・全ての増設壁 ・図示による() ・図示による()</td> </tr> <tr> <td>・柱補強工事(溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法)</td> <td>・工法指定なし ・流込み工法8.21.8(1)(7)、(2) ・全ての柱補強部分 ・圧入工法 8.21.8(1)(4)、(3) ・全ての柱補強部分 ・図示による() ・図示による() ・図示による()</td> <td>・全ての柱補強部分 ・図示による() ・図示による() ・図示による()</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・工法指定なし ・流込み工法8.21.8(1)(7)、(2) ・全ての柱補強部分 ・圧入工法 8.21.8(1)(4)、(3) ・全ての柱補強部分 ・図示による() ・図示による()</td> <td>・全ての柱補強部分 ・図示による() ・図示による() ・図示による()</td> </tr> </table> <p><鉄骨></p> <p>1 鉄骨製作工場</p> <p>鉄骨製作工場の加工能力 [8.1.5] ※建築基準法第77条の56に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認定を受けた(株)日本鉄骨評価センター及び(株)全国鉄骨評価機構(旧(社)全国鐵構工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」により評価を受け、国土交通大臣から認定を受けた工場、又は同等以上の能力のある工場 ・評価の区分 ※() グレード ・指定しない ・監督官の承諾する工場(標準仕様書7.1.1以外の適用範囲に限る)</p> <p>2 鉄骨製作工場における施工管理技術者</p> <p>配置する [8.1.6]</p> <p>3 鋼材</p> <table border="1"> <tr> <th>種類等</th> <th>規格</th> </tr> <tr> <td>種類の記号</td> <td>適用箇所(主要な部分)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※JIS規格による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※JIS規格による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※JIS規格による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※JIS規格による</td> </tr> </table> <p>4 高力ボルト</p> <p>ボルトの種類 [8.2.9] ・トルシア形高力ボルト ・JIS高力ボルト ・溶融亜鉛めっき高力ボルト</p> <p>ボルトのねじの呼び ・図示による() [8.13.2] ボルトの繰端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・図示による(構造関係共通図(鉄骨標準図)1-1 繰端距離及びボルト間隔)</p> <p>摩擦面の処理方法等 [8.14.2][8.2.5] 溶融亜鉛めっき以外 ※[8.14.2](1)による 溶融亜鉛めっき面 ・プラスト処理(表面粗度50μm Rz以上) ・プラスト処理以外の特別な処理方法 ・図示による()</p> <p>すべり試験 ・行う(※すべり係数試験 ・すべり耐力試験) 試験の方法等 ・図示による()</p> | 種別 | 適用箇所 | ・A種 | ※図示による() | ・B種 | ※図示による() | ・C種 | ※図示による() | 種別 | 適用箇所 | ・a種 | ※図示による() | ・b種 | ※図示による() | ・c種 | ※図示による() | 補強工事 | 工法の種類 | 適用箇所 | ・現場打ちコンクリート壁の増設工事 | ・工法指定なし (○流込み工法8.21.8(1)(7)、(2) ・全ての増設壁 ・図示による() ・圧入工法 8.21.8(1)(4)、(3) ・図示による() | ・全ての増設壁 ・図示による() ・図示による() | ・柱補強工事(溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法) | ・工法指定なし ・流込み工法8.21.8(1)(7)、(2) ・全ての柱補強部分 ・圧入工法 8.21.8(1)(4)、(3) ・全ての柱補強部分 ・図示による() ・図示による() ・図示による() | ・全ての柱補強部分 ・図示による() ・図示による() ・図示による() | ・ | ・工法指定なし ・流込み工法8.21.8(1)(7)、(2) ・全ての柱補強部分 ・圧入工法 8.21.8(1)(4)、(3) ・全ての柱補強部分 ・図示による() ・図示による() | ・全ての柱補強部分 ・図示による() ・図示による() ・図示による() | 種類等 | 規格 | 種類の記号 | 適用箇所(主要な部分) | | ※JIS規格による | | ※JIS規格による | | ※JIS規格による | | ※JIS規格による | <p>5 普通ボルト [8.2.3]</p> <p>ボルト及びナットの材料 ・標準仕様書 表7.2.3(JIS附属書品)又は次による ボルトの規格はJIS B 1180とする。 (ボルトの種類は、呼び径六角ボルト又は全ねじ六角ボルトとし、材料は鋼とする。ボルトの強度区分は、4.6又は4.8とする。なお、呼び径六角ボルトの軸径の最大寸法は、ボルトの径の4.8とする。ナットの規格は、JIS B 1181とする。ナットの種類は、六角ナット-Cとし、材料は鋼とする。)</p> <p>ボルトのねじの呼び ・図示による() 産金 ※JIS B 1256による 戻り止め ※二重ナット ボルトの繰端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・図示による(構造関係共通図(鉄骨標準図)1-1 繰端距離及びボルト間隔)</p> <p>6 アンカーボルト [8.2.4][8.10.3]</p> <p>・構造用アンカーボルト(JIS B 1220) 種類 ・ABR400 ・ABR490 ・建方用アンカーボルト(JIS G 3101) 種類 ・SS400 アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ※標準仕様書7.2.3]による ボルトの繰端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・図示による(構造関係共通図(鉄骨標準図)1-1 繰端距離及びボルト間隔)</p> <p>7 溶接材料 [8.2.10]</p> <p>・[8.2.10](1)、(2)による ・[8.2.10](1)、(2)以外の溶接材料 材料及び使用箇所 ・図示による()</p> <p>8 ターンバックル [8.2.6]</p> <p>種類 建築用ターンバックル ※羽子板ボルト 建築用ターンバックル調 ※前枠式 ねじの呼び ・図示による()</p> <p>9 スタッド [8.2.11][8.16.6]</p> <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th>呼び長さ(mm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・16</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・19</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・22</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>スタッド溶接完了後、外観試験及び打撃曲げ試験を行う。 [8.13.3]</p> <p>10 製作精度 鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則6.鉄骨精度検査基準に加えて、次による。 [8.13.3] 通しダイヤフラムの突合せ継手の食い違いの寸法 ※H12建告第1464号第二号イ(2)による アンダーカットの寸法 ※H12建告第1464号第二号イ(3)による 食い違い、仕口のずれの検査方法及び補強方法 ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による</p> <p>11 溶接作業者の技量付加試験 [8.15.3]</p> <p>試験の要領 ・図示による()</p> <p>12 溶接接合 [8.15.4]</p> <p>開先の形状 ・図示による(構造関係共通図(鉄骨標準図)1-2 溶接継手の種類別開先標準)</p> <p>エンドタブの切除する部分 切断する場所 ・図示による() [8.15.7] 切断範囲 エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジ等の端から5mm以上残して直線上に切断する。なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。 切断面の仕上げ ・[8.15.7](1)(b)(b)による スカラップの形状 ・図示による(構造関係共通図(鉄骨標準図)1-4(4)改良型スカラップ)</p> <p>13 入熱、バス間温度の管理 適用箇所 ・図示による() ・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部</p> <p>14 溶接部の試験 [8.15.12]</p> <p>H12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等 ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による抜き取り検査② ※抜き取り検査②</p> <p>JASS 6 付則6 [鉄骨精度検査基準]の付表3「溶接」に関する確認方法等 ・JASS 10.4 [受入検査]e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶け込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。</p> <p>完全溶け込み溶接部の超音波探傷試験 ・工場溶接の場合 ※全数 ・工事現場溶接の場合 ※全数</p> <p>15 錆止め塗装 [8.17.2]</p> <p>塗装の範囲 耐火被覆材の接着する面 ・図示による() 耐火被覆材の接着する面以外 ※[8.17.2](1)(7)～(7)以外の範囲 ・図示による() [8.17.2][8.17.4]</p> <p>塗料の種類 ・鉄骨部の錆止め塗料 屋外 ・[表7.3.1] A種 屋内 ・[表7.3.1] (A)種 ・垂れめっき鋼面の錆止め塗料 ・[表7.3.2] ()種 ・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面(鉄骨に溶接されたものに限る) ※[表7.3.1] A種 ・耐火被覆材の接着する面へ塗装する場合の錆止め塗料 ・[表7.3.1] ()種 ・[表7.3.2] ()種</p> <p>16 耐火被覆 [8.18.2～8]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材料・工法</th> <th>性能(耐火時間)</th> <th>適用箇所(部位・部分)</th> </tr> <tr> <td>・耐火材吹付け</td> <td>・乾式吹付けロックール ・湿式ロックール ・半乾式吹付けロックール</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・耐火板張り</td> <td>・繊維混入けい酸カルシウム板</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・耐火材巻付け</td> <td>・高断熱ロックール</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ラス張りモルタル塗り</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・耐火塗料</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>材料及び工法は、建築基準法に基づき定められたもの又は認定を受けたものとする ※JASS6 付則6[鉄骨精度検査基準]付表5[工事現場]による [8.10.2]</p> | 呼び名 | 呼び長さ(mm) | 適用箇所 | ・16 | | | ・19 | | | ・22 | | | 種類 | 材料・工法 | 性能(耐火時間) | 適用箇所(部位・部分) | ・耐火材吹付け | ・乾式吹付けロックール ・湿式ロックール ・半乾式吹付けロックール | | | ・耐火板張り | ・繊維混入けい酸カルシウム板 | | | ・耐火材巻付け | ・高断熱ロックール | | | ・ラス張りモルタル塗り | — | | | ・耐火塗料 | — | | | <p>18 アンカーボルト等の設置 [8.10.3]</p> <p>構造用アンカーボルトの形状及び寸法 ・図示による() 構造用アンカープレームの形状及び寸法 ・図示による() 建方(及び付属鉄骨)用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 [表7.10.1] 種別 ・A種 ・B種 柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別 [表7.10.2] 種別 ※A種 ・B種</p> <p>19 溶融亜鉛めっき(基礎、主要構造部及びその他構造耐力上主要な部分に限る。) [8.20.4][表8.20.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>種別等</th> <th>亜鉛めっきの種別</th> <th>材料</th> <th>適用部位</th> </tr> <tr> <td>・A種</td> <td>最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>外観検査 ※行う ・行わない</p> <p>(あと施工アンカー) ①あと施工アンカー [8.14]</p> <p>仕様等 [8.14] ◎金属系アンカー(耐震補強用) 引張耐力 ※図示による() せん断耐力 ※図示による() アンカー本体の径及び埋込み長さ ・図示による() セット方式 ※本体打込み式改良型 接合筋の種類、径 ・図示による() ◎接着系アンカー 引張耐力 ※図示による() せん断耐力 ※図示による() アンカーの種類 ※カプセル方式回転・打撃式 ・カプセル方式打込み型 接着剤の品質 ※有機系 ・無機系 アンカー筋の径及び埋込み深さ ・図示による(「耐震改修共通事項」アンカー関係共通事項) アンカー筋の種類 ・[表8.2.1]の異形棒鋼 ・全ねじボルト アンカー筋の新設室内への定着の長さ ・図示による(「耐震改修共通事項」アンカー関係共通事項)</p> <p>性能確認試験 試験方法及び試験数 ・図示による() ◎各施工向き、径ごとに1本 ◎引張試験(D13=18.7kN/本、D10=10.5kN/本) 穿孔機械(金属検知により電源供給が停止出来る付属装置等を使用する) [8.12.4.7] ※ハンマードリル ・コアドリル 穿孔前の埋込み配管等の探査方法 ・鉄筋探知器(金属探知器)により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出を行う ・電磁波レーザ法(3D表示対応型) ・電磁波レーザ法又は電磁波誘導法 ・はつり出しによる</p> <p>施工確認試験 試験方法 ※引張試験機による引張試験 確認強度 ・図示による()</p> <p>(グラウト工事) [8.2.11]</p> <p>1 柱底均しモルタル及びグラウト材</p> <p>・柱底均しモルタル ※無収縮モルタル 無収縮モルタルの材料及び割合 ※[8.2.12](1)(7)から(9)による</p> <p>・グラウト材 無収縮グラウト材の材質等 混和材 セメント系(酸化カルシウム及びカルシウム・サルフォ・アルミネート等によって膨張する性質を利用するもの)とする。 JIS R 5210「ポルトランドセメント」に適合した普通または早強ポルトランドセメントとする。 砂 土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。ただし、現場詰合形に使用される砂の乾燥状態については、規定しない。 無収縮グラウト材の品質及び試験方法 コンシステンシー(フロー)による落下時間 練混ぜ完了から3分以内の値 ・8±2秒 プリーディング 練り混ぜ2時間後のプリーディング率 ・2.0%以下 凝結時間 凝結開始時間 ・1時間以上 終結時間 ・10時間以内 無収縮性 材齢 7日 収縮しない 圧縮強度 材齢 3日 20.0N/mm²以上 材齢 28日 40.0N/mm²以上 塩化物質 [8.20.5] 以下 試験方法 1) NEXCO試験方法 試験法312-1999「無収縮モルタル品質管理試験方法」による。 プレミックス形と現場詰合形で混和材が同一の場合の試験はプレミックス形のみとする。 2) 塩化物質の試験は、JIS A 1144「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。</p> <p>(連続繊維補強工事) [8.2.11]</p> <p>1 連続繊維シート巻き</p> <p>連続繊維シート 材料 ・図示による() 工法 ※(一財)日本建築防災協会の評価を受けた工法 引張強度(含浸硬化後) ・3000N/mm²以上 ヤング係数(含浸硬化後) ・2.35×10⁹ N/mm²程度 ・2.00×10⁹ N/mm²以上</p> <p>下地調整 [8.24.6] ひび割れ部の改修工法の種類 ・樹脂注入工法 ・Uカットシール材充填工法 ・シール工法 柱及びの隅角部の面取りの寸法 ※工法の評価内容による 連続繊維補強材の強度試験 引張強度試験 ※JIS A 1191(コンクリート用連続繊維シートの引張試験方法)による 試験数量 ・図示による() 付着強度試験 ※JIS A 6909(建築用仕上塗材)による 試験数量 ・図示による()</p> <p>(耐震スリット新設工事) 1 施工前埋込み配管等の探査 [8.12.4]</p> <p>既存撤去部の埋込み配管等の探査方法 ・鉄筋探知器(金属探知器)により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出を行う 探査方式 ・電磁波レーザ法(3D表示対応型) ・電磁波レーザ法又は電磁波誘導法 ・はつり出しによる</p> <p>2 耐震スリット [8.25.1]</p> <p>幅及び深さ ・図示による() 設置箇所 ・図示による()</p> <p>3 充填材の挿入及び周囲補修等 [8.25.1]</p> <p>・耐火材 使用箇所及び仕様 ・図示による() ・造骨材 使用箇所及び仕様 ・図示による() 撤去部の補修 ※撤去材と同一材で補修</p> <p>(免震改修工事) ・別添の免震工事特記仕様書による</p> <p>(制振改修工事) ・別添の制振工事特記仕様書による</p> | 種別等 | 亜鉛めっきの種別 | 材料 | 適用部位 | ・A種 | 最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板 | | | ・B種 | 最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板 | | | ・C種 | 普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板 | | |
|---|--|---|-------------|----|---------|--------|--|--------|--------|--|---|--|--|---|--|--|---|--|--|---|--|--|----|-------|-------------------|------|-------|--|--|--|-------|--|--|--|----|-------|---------|---------|--------------|--------|--------|-------|--|--------------|-------------|--|------|-------|--|----------------------------|-----------------------------|-----|------|-----|-------|-------------|--|---|--|--|--|---|--|--|--|---|--|--|--|---|--|--|--|---|--|--|--|--|----|------|-----|-----------|-----|-----------|-----|-----------|----|------|-----|-----------|-----|-----------|-----|-----------|------|-------|------|-------------------|--|--------------------------------|-----------------------------|--|---|---|---|---|-----|----|-------|-------------|--|-----------|--|-----------|--|-----------|--|-----------|---|-----|----------|------|-----|--|--|-----|--|--|-----|--|--|----|-------|----------|-------------|---------|---|--|--|--------|----------------|--|--|---------|-----------|--|--|-------------|---|--|--|-------|---|--|--|--|-----|----------|----|------|-----|-------------------|--|--|-----|---------------------------|--|--|-----|--|--|--|
| 種類の記号 | 呼び径(mm) | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・SD295A | ※D16以下 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・SD345 | ※D19以上 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 種類 | 種類の記号 | 網目の形状、寸法、鉄線の径(mm) | 使用部位 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・溶接金網 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・鉄筋格子 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 部位 | 継手の方法 | 呼び径(mm) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・柱、梁の主筋 | ・ガス圧接 ・機械式継手 | ※D19以上 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 耐力壁の鉄筋 | ・重ね継手 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 基礎、耐力スラブ、土圧壁 | ・ガス圧接 ・重ね継手 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 上記以外 | ・重ね継手 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 設計基準強度(N/mm ²) | 気乾単位容積質量(t/m ³) | スラブ | 適用箇所 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・24 | 2.3程度 | ・15又は18 ・18 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 種別 | 適用箇所 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・A種 | ※図示による() | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・B種 | ※図示による() | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・C種 | ※図示による() | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 種別 | 適用箇所 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・a種 | ※図示による() | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・b種 | ※図示による() | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・c種 | ※図示による() | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 補強工事 | 工法の種類 | 適用箇所 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・現場打ちコンクリート壁の増設工事 | ・工法指定なし (○流込み工法8.21.8(1)(7)、(2) ・全ての増設壁 ・図示による() ・圧入工法 8.21.8(1)(4)、(3) ・図示による() | ・全ての増設壁 ・図示による() ・図示による() | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・柱補強工事(溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法) | ・工法指定なし ・流込み工法8.21.8(1)(7)、(2) ・全ての柱補強部分 ・圧入工法 8.21.8(1)(4)、(3) ・全ての柱補強部分 ・図示による() ・図示による() ・図示による() | ・全ての柱補強部分 ・図示による() ・図示による() ・図示による() | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ | ・工法指定なし ・流込み工法8.21.8(1)(7)、(2) ・全ての柱補強部分 ・圧入工法 8.21.8(1)(4)、(3) ・全ての柱補強部分 ・図示による() ・図示による() | ・全ての柱補強部分 ・図示による() ・図示による() ・図示による() | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 種類等 | 規格 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 種類の記号 | 適用箇所(主要な部分) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ※JIS規格による | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ※JIS規格による | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ※JIS規格による | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ※JIS規格による | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 呼び名 | 呼び長さ(mm) | 適用箇所 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・16 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・19 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・22 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 種類 | 材料・工法 | 性能(耐火時間) | 適用箇所(部位・部分) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・耐火材吹付け | ・乾式吹付けロックール ・湿式ロックール ・半乾式吹付けロックール | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・耐火板張り | ・繊維混入けい酸カルシウム板 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・耐火材巻付け | ・高断熱ロックール | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ラス張りモルタル塗り | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・耐火塗料 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 種別等 | 亜鉛めっきの種別 | 材料 | 適用部位 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・A種 | 最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・B種 | 最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・C種 | 普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |



工事場所 狭山市狭山台4丁目2番地



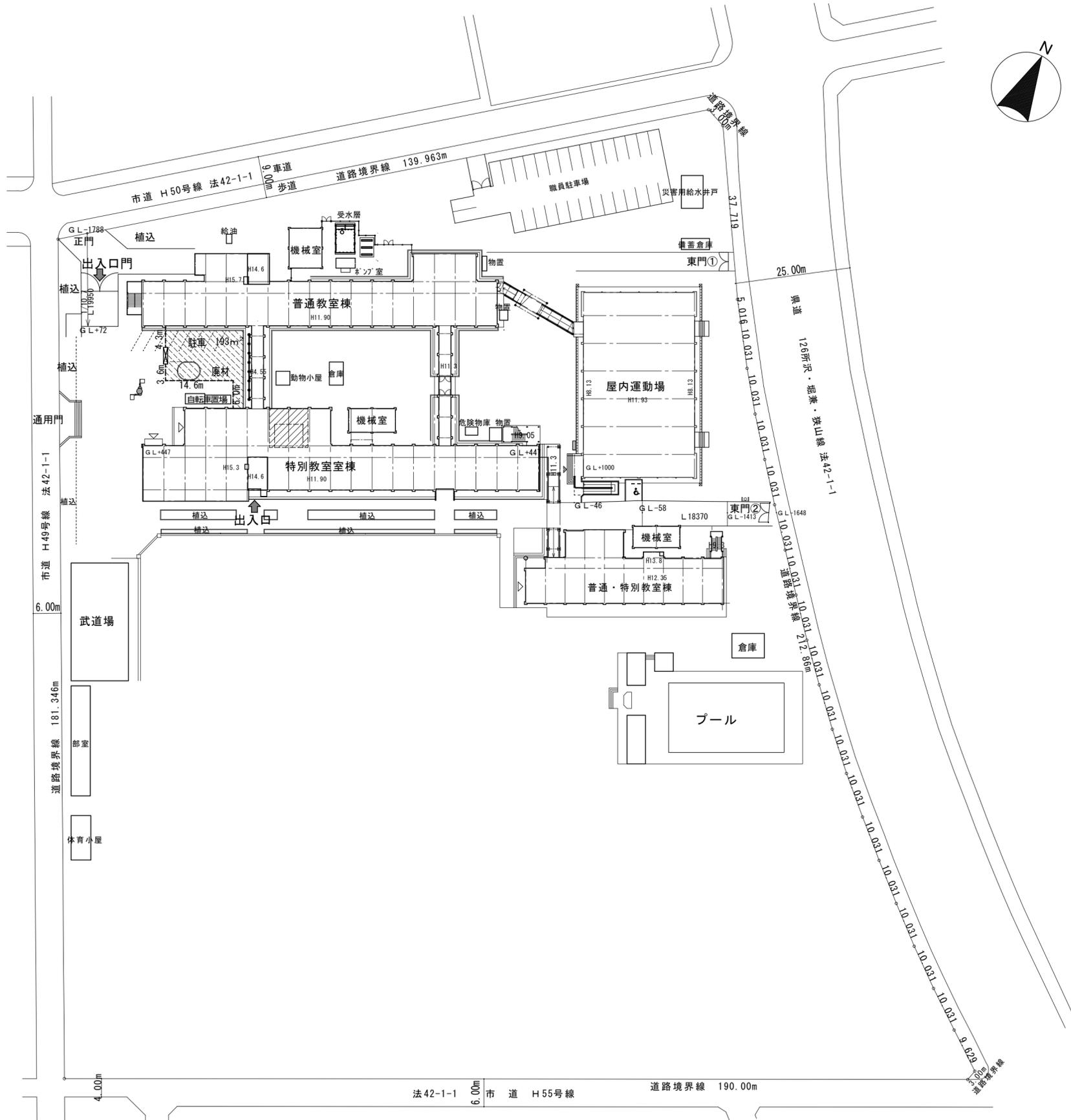
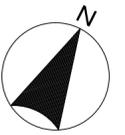
案内図



ガードフェンス詳細図 S=1/50

仮設計画 凡例

- 交通誘導員 (適所に移動)
- キャスターゲート W3600×H2000
- ガードフェンスH1800 (転倒防止単管組) L=28.5m
- カラーコーン (コーンパー共) L=14.0m
- 工事部分 (1F)
- 工事中スペース



配置図 S=1/700

狭山台中学校

図面番号

A-08



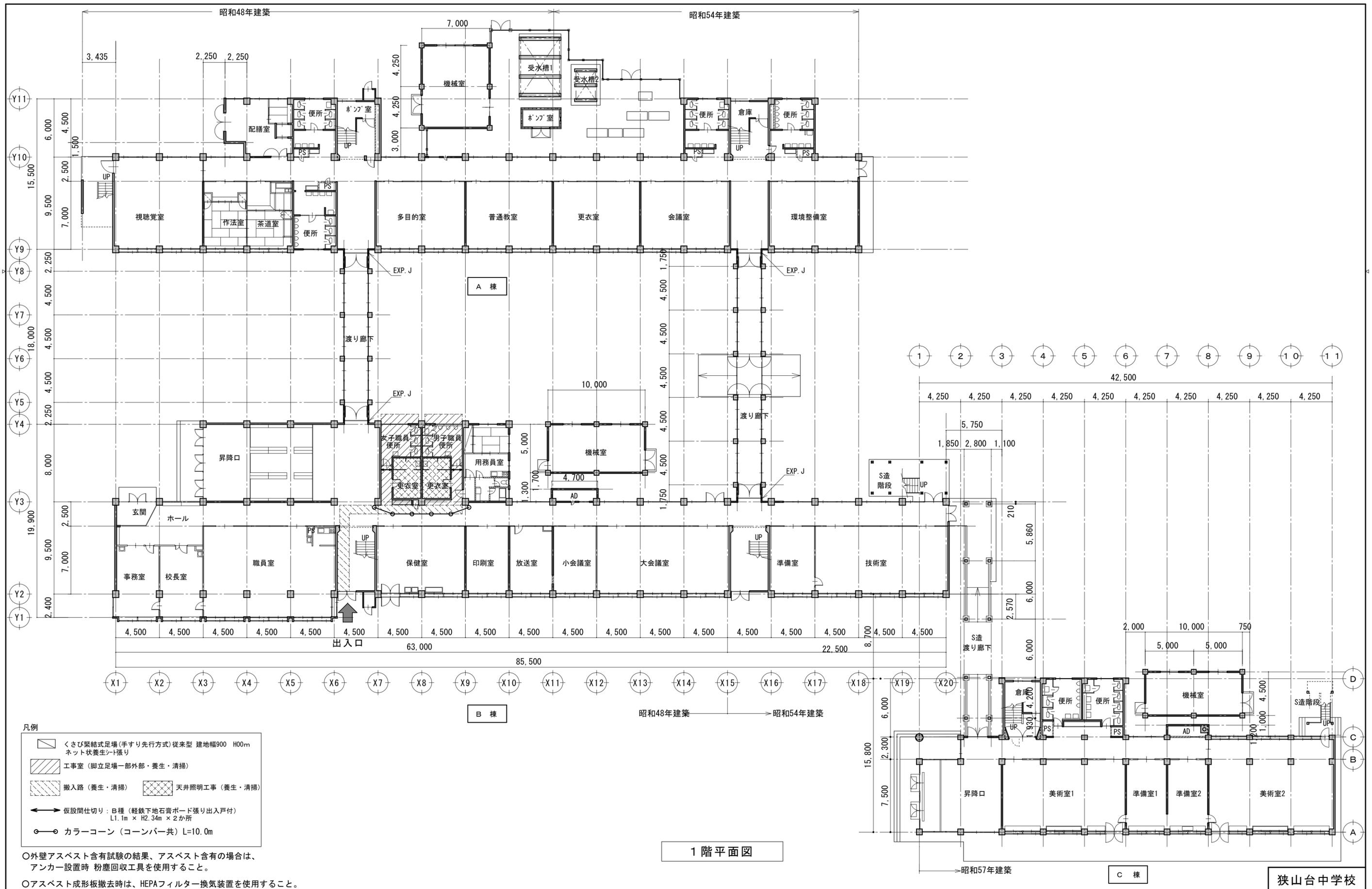
一級建築士事務所
高橋設計
 一級建築士 第124805号 高橋卓司
 埼玉県狭山市堀兼764-4

設計年月日 2020.9

工事名 狭山市立狭山台中学校外1校職員トイレ改修工事

図面名 案内図、配置図

縮尺 A2=1/700 ・ A3=1/990



1階平面図

- 凡例
- くさび形結式足場(手すり先行方式)従来型 建地幅900 H00m ネット状養生シート張り
 - 工事室(脚立足場一部外部・養生・清掃)
 - 搬入路(養生・清掃)
 - 天井照明工事(養生・清掃)
 - 仮設間仕切り: B種(軽鉄下地石膏ボード張り出入口付) L1.1m x H2.34m x 2か所
 - カラーコーン(コーンパー共) L=10.0m

○外壁アスベスト含有試験の結果、アスベスト含有の場合は、アンカー設置時 粉塵回収工具を使用すること。
 ○アスベスト成形板撤去時は、HEPAフィルター換気装置を使用すること。

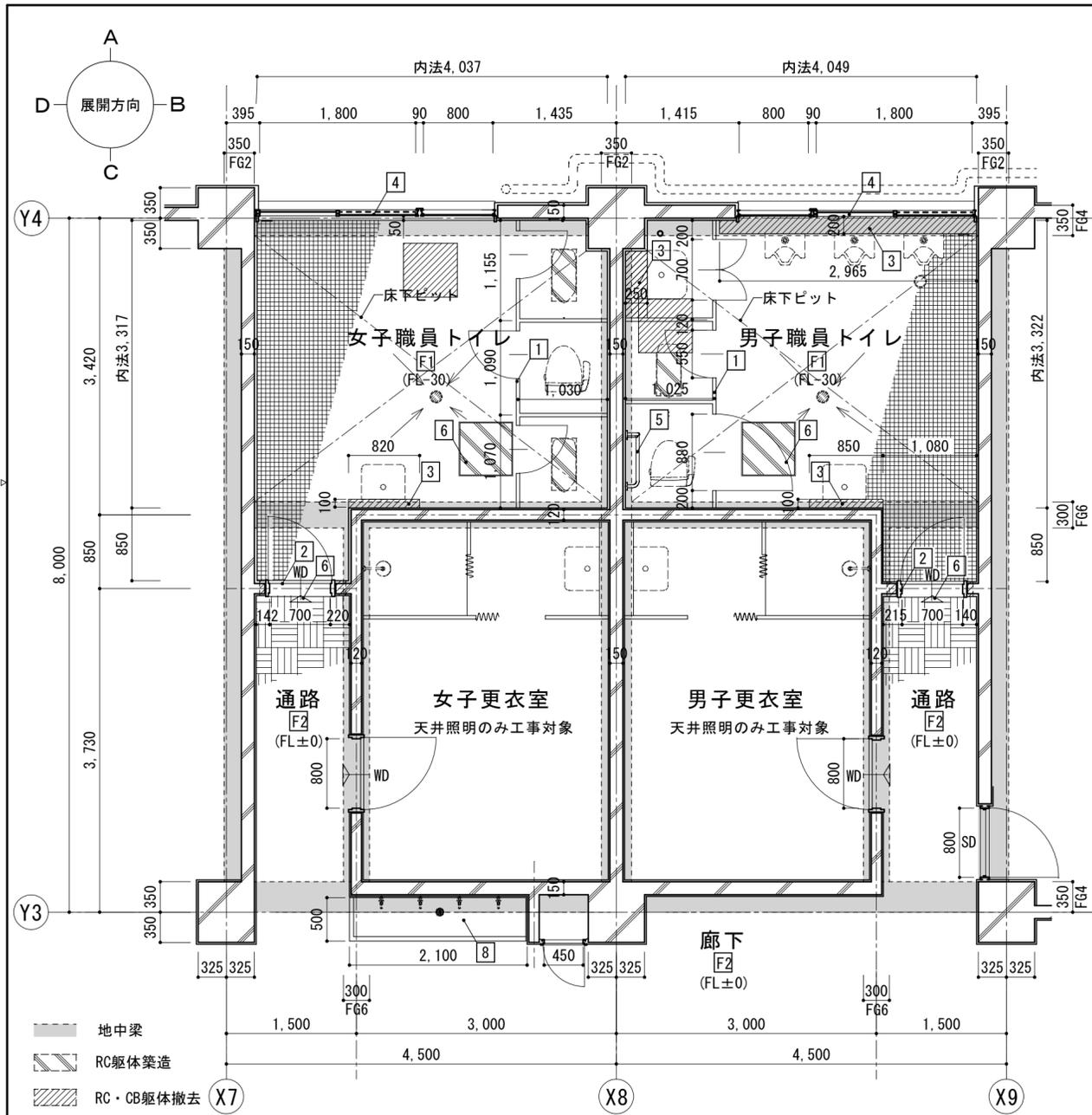


一級建築士事務所
高橋設計
 一級建築士 第124805号 高橋卓司
 埼玉県狭山市堀兼764-4

設計年月日
 2022.9

工事名 狭山市立狭山台中学校外1校職員トイレ改修工事
 図面名 1階平面図
 縮尺 A2=1/250 ・ A3=1/354

狭山台中学校
 図面番号
A-09



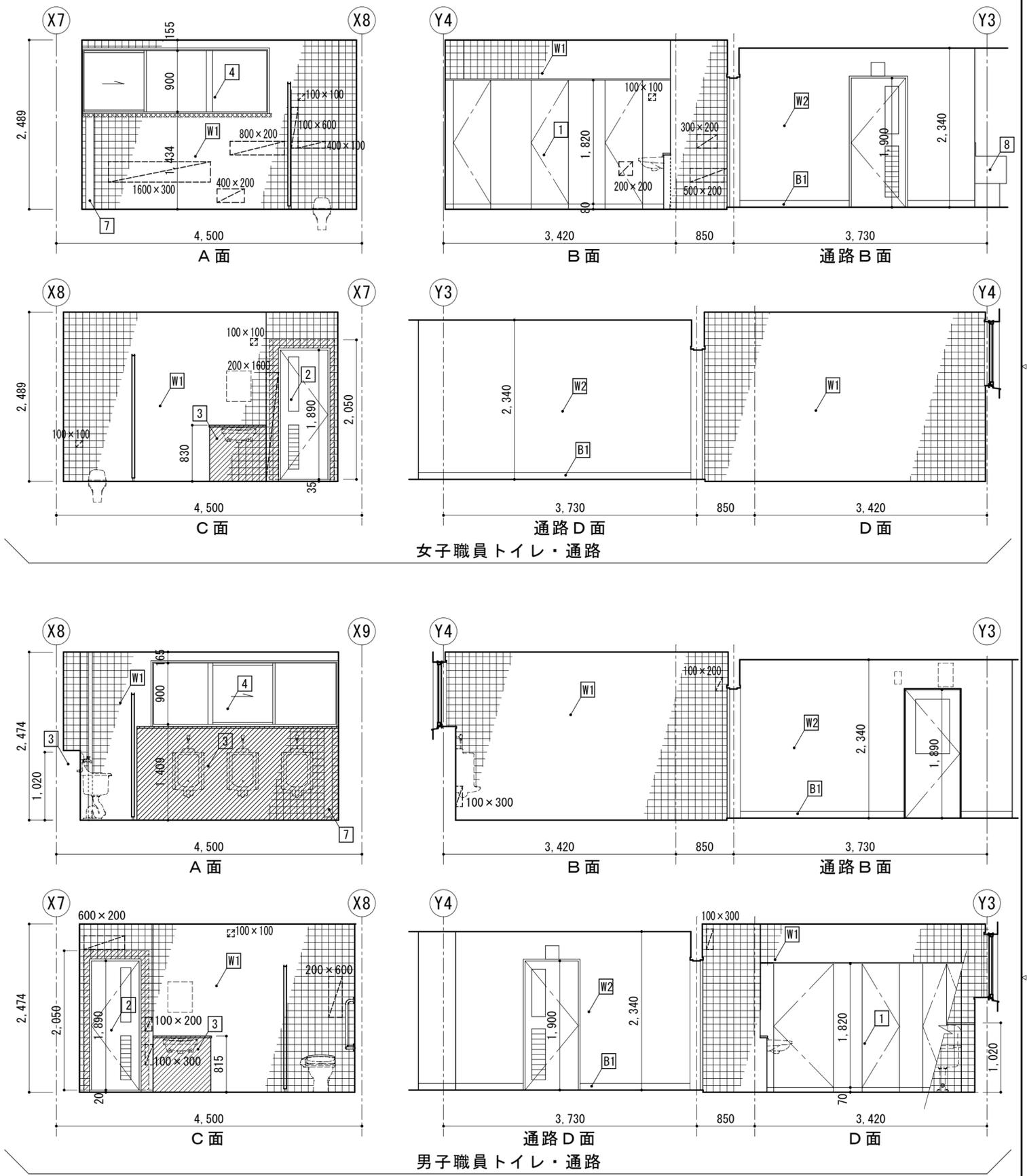
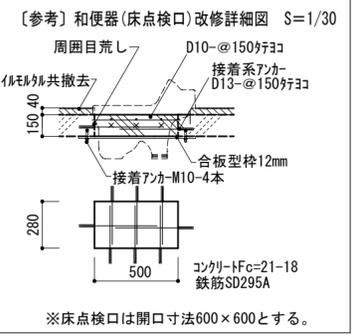
改修前 1階職員トイレ平面詳細図

- 地中梁
- RC躯体築造
- RC・CB躯体撤去 X7
- タイル下地モルタル共撤去
- タイル浮きタイル撤去モルタル補修 (壁タイル全面浮き調査のこと。)

○破線の設備機器は設備図による ※アスベスト含有材

| 記号 | 仕上げ(処理) |
|----|-------------------------------------|
| F1 | 床 磁器モザイクタイル貼り (モルタル共撤去) |
| F2 | 床 ブナフローリングブロック15mmUC (既設のまま) |
| B1 | 巾木 木製H100 OP (一部撤去) |
| W1 | 壁 半磁器タイル100角貼り (一部及び浮き部のみ撤去) |
| W2 | 壁 モルタル金鍍VP(躯体撤去部撤去) |
| C1 | 天井 石綿平板5mm目透かしVP (木下地共撤去) ※ |
| C2 | 天井 ロックウール吸音板9mm 下張石膏ボード9.5mm(既設のまま) |
| C3 | 天井 化粧石膏ボード9.5mm(既設のまま) |
| M1 | 廻縁 目透し |
| M2 | 廻縁 塩ビ(撤去) |

| | | | |
|---|------------------|----|--------------------|
| 1 | 木製トイレブース(撤去) | 2 | 出入ドア枠拵り共(撤去) |
| 3 | 配管ライニングCB(撤去) | 4 | アルミ窓・木額縁(既設のまま) |
| 5 | L型SUS手摺600×700撤去 | 6 | 床点検口600角(撤去) |
| 7 | 構造スリットSUSカバー(撤去) | 8 | 更衣室木製ドア・点検口(既設のまま) |
| 9 | 既設廊下人研ぎ流し(既設のまま) | 10 | 化粧鏡(撤去) |
| | | 11 | 室名札(撤去) |



改修前 1階職員トイレ展開図

狭山台中学校

図面番号

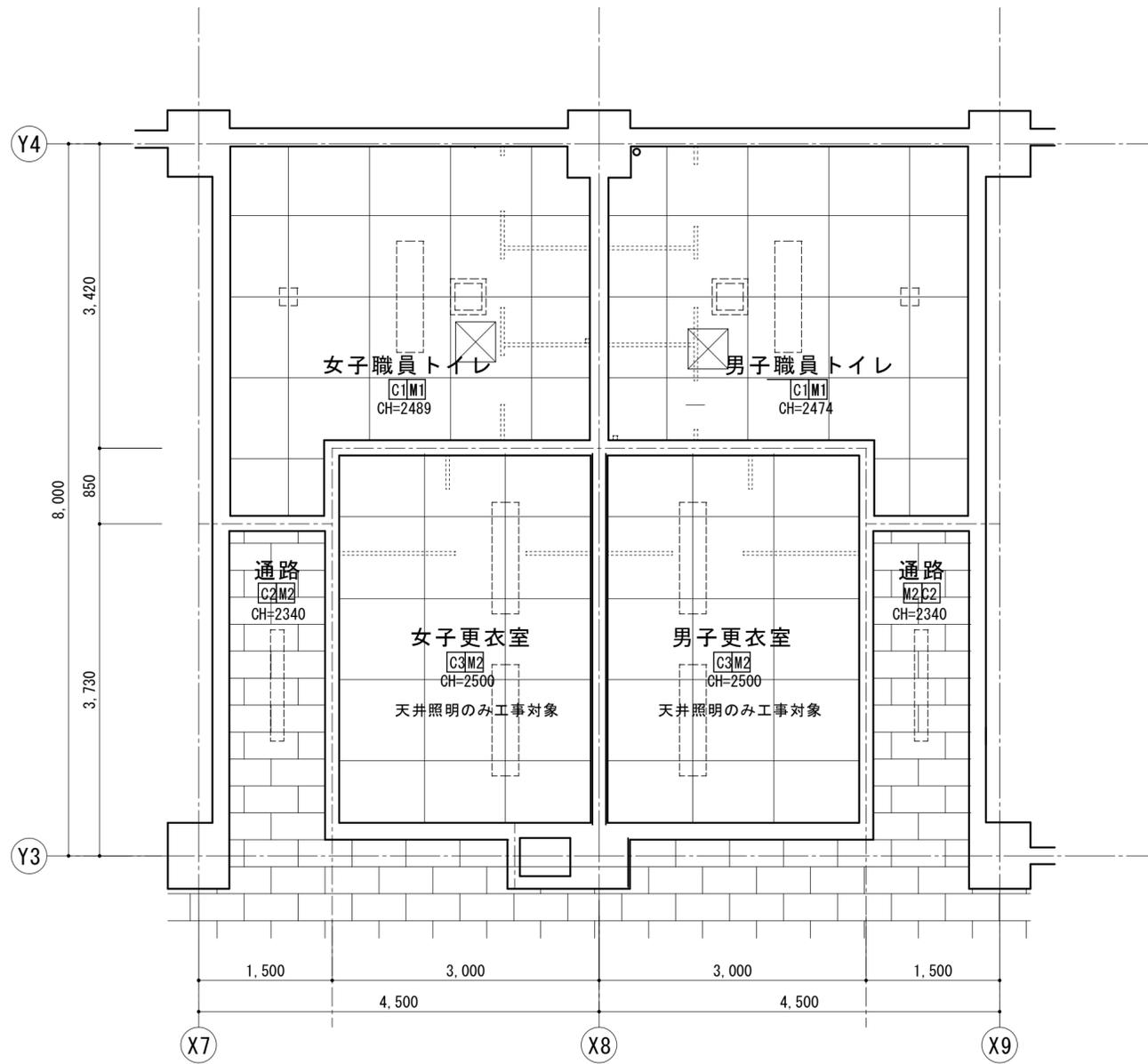
A-10



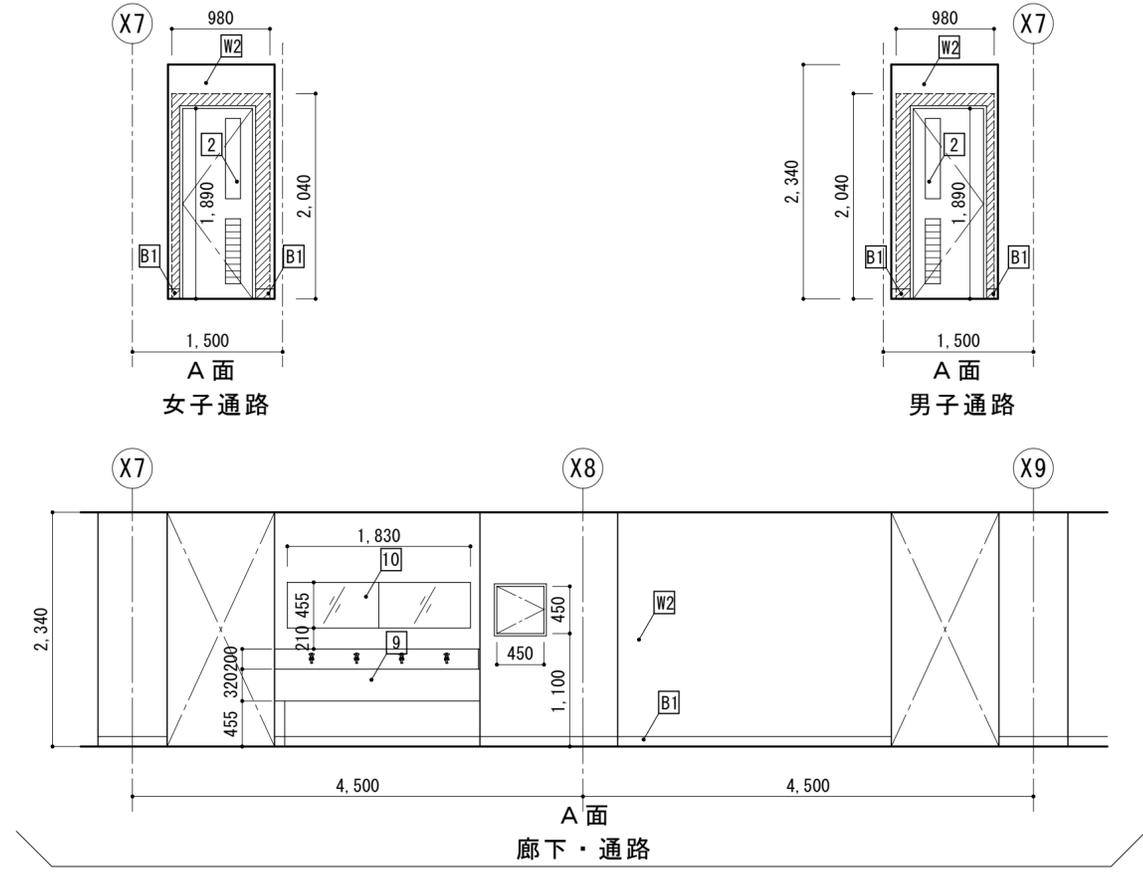
一級建築士事務所
高橋設計
一級建築士 第124805号 高橋卓司
埼玉県狭山市堀兼764-4

設計年月日
2022.9

工事名 狭山市立狭山台中学校外1校職員トイレ改修工事
図面名 改修前 1階職員トイレ平面詳細図・展開図
縮尺 A2=1/50 ・ A3=1/71



改修前 1階職員トイレ平面詳細図

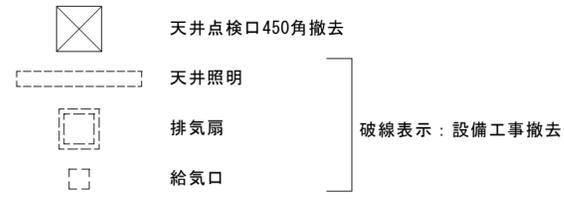


改修前 1階廊下通路展開図

RC・CB躯体撤去 ※アスベスト含有材

| 記号 | 仕上げ(処理) |
|----|-------------------------------------|
| F1 | 床 磁器モザイクタイル貼り (モルタル共撤去) |
| F2 | 床 ブナフローリングブロック15mmUC (既設のまま) |
| B1 | 巾木 木製H100 OP (一部撤去) |
| W1 | 壁 半磁器タイル100角貼り (一部及び浮き部のみ撤去) |
| W2 | 壁 モルタル金鍍VP(躯体撤去部撤去) |
| C1 | 天井 石綿平板5mm目透かしVP (木下地共撤去) ※ |
| C2 | 天井 ロックウール吸音板9mm 下張石膏ボード9.5mm(既設のまま) |
| C3 | 天井 化粧石膏ボード9.5mm(既設のまま) |
| M1 | 廻縁 目透し |
| M2 | 廻縁 塩ビ(撤去) |

| | | | |
|---|------------------|----|--------------------|
| 1 | 木製トイレブース(撤去) | 2 | 出入ドア枠柵摺り共(撤去) |
| 3 | 配管ライニングCB(撤去) | 4 | アルミ窓・木額縁(既設のまま) |
| 5 | L型SUS手摺600×700撤去 | 6 | 床点検口600角(撤去) |
| 7 | 構造スリットSUSカバー(撤去) | 8 | 更衣室木製ドア・点検口(既設のまま) |
| 9 | 既設廊下人研ぎ流し(既設のまま) | 10 | 化粧鏡(撤去) |
| | | 11 | 室名札(撤去) |



狭山台中学校

図面番号

A-12

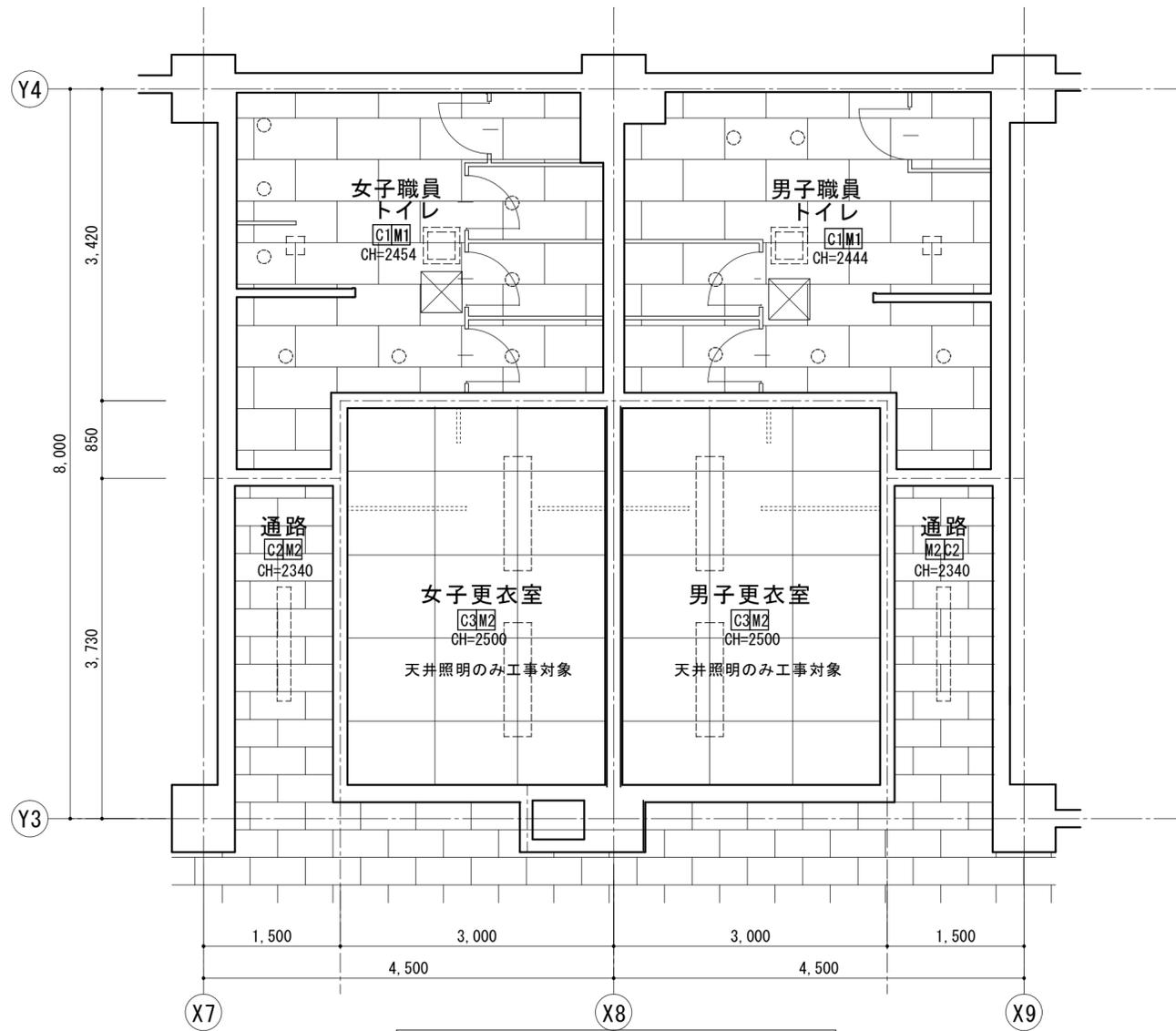
一級建築士事務所
高橋設計
 一級建築士 第124805号 高橋卓司
 埼玉県狭山市堀兼764-4

設計年月日
 2022.9

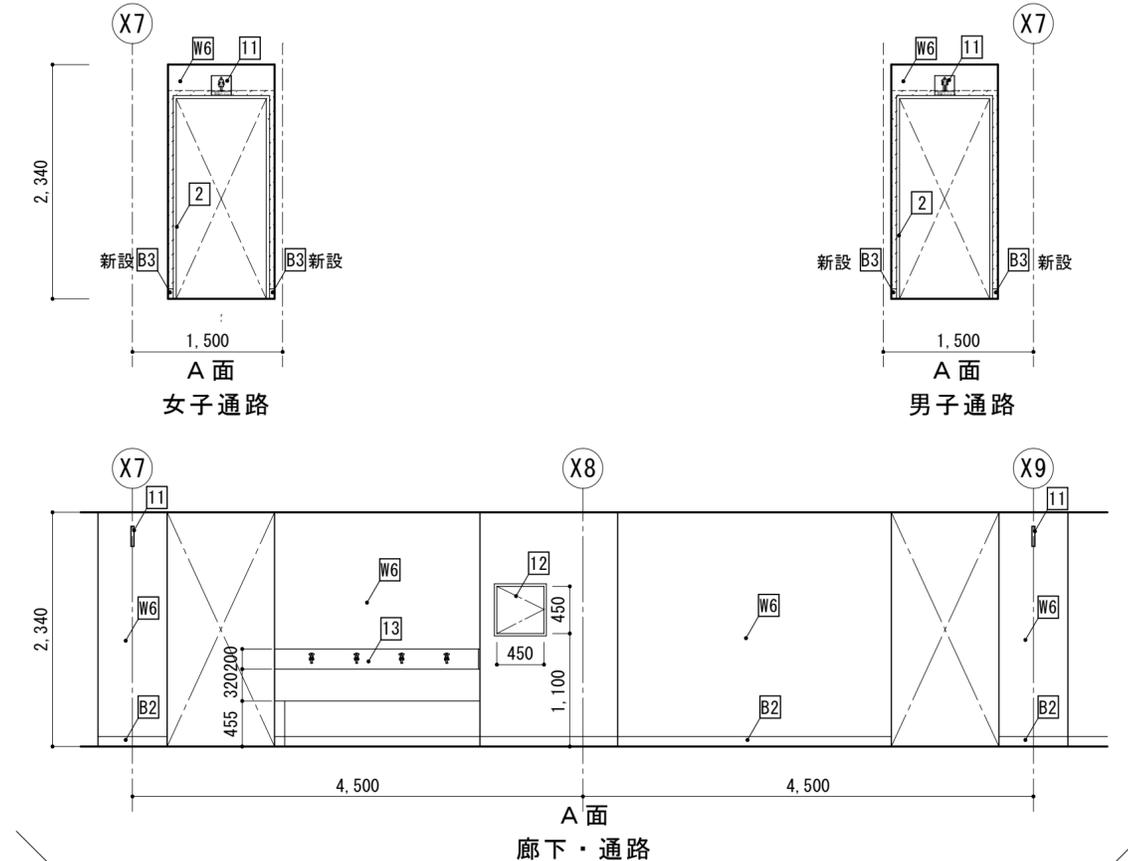
工事名 狭山市立狭山台中学校外1校職員トイレ改修工事

図面名 改修前 1階廊下通路展開図・1階天井伏図

縮尺 A2=1/50 ・ A3=1/71



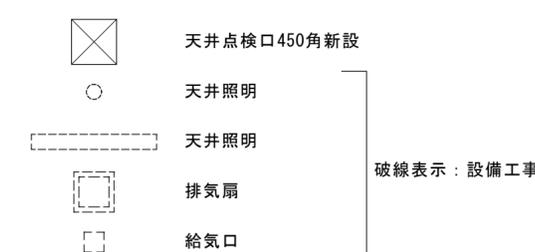
改修後 1階職員トイレ平面詳細図

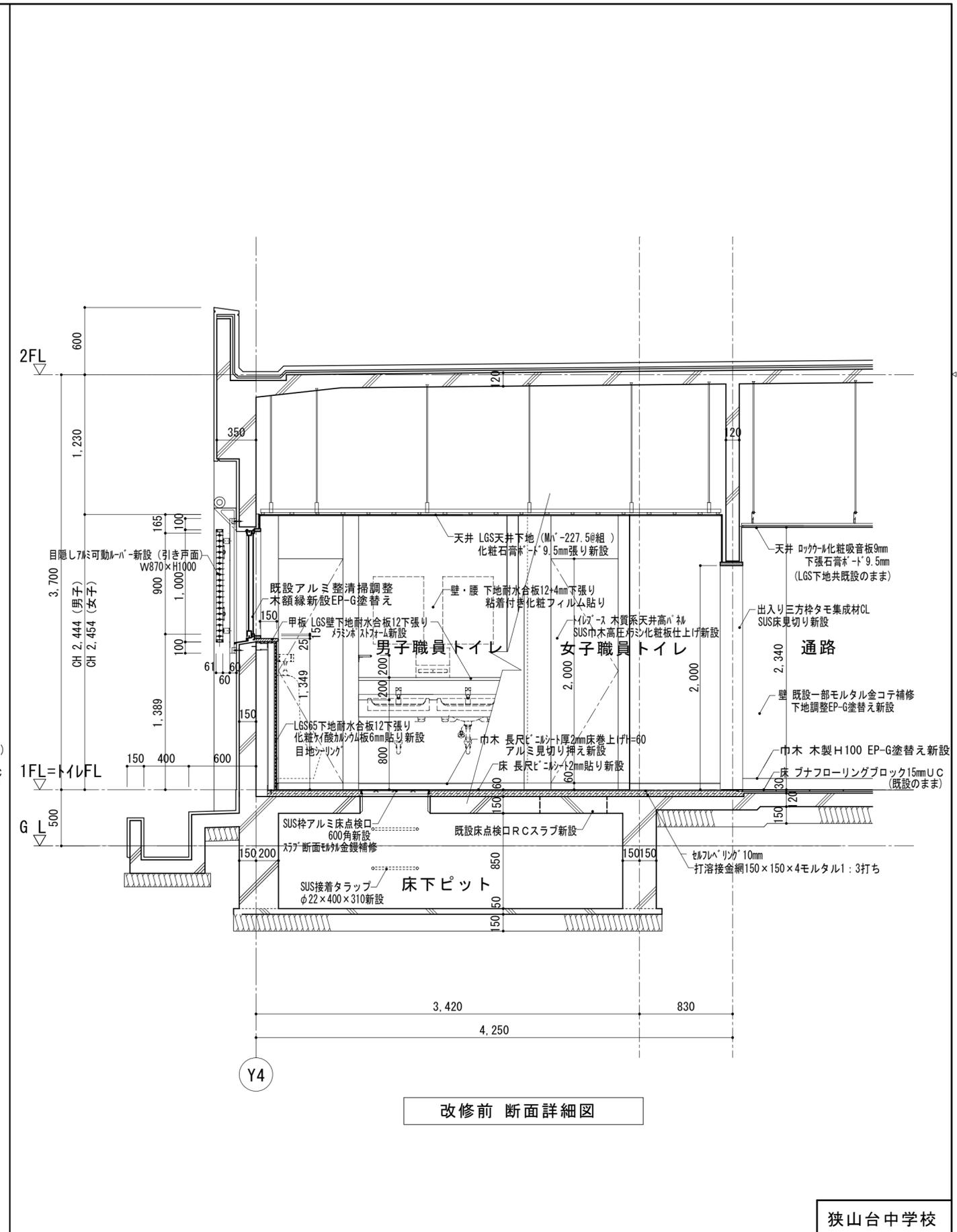
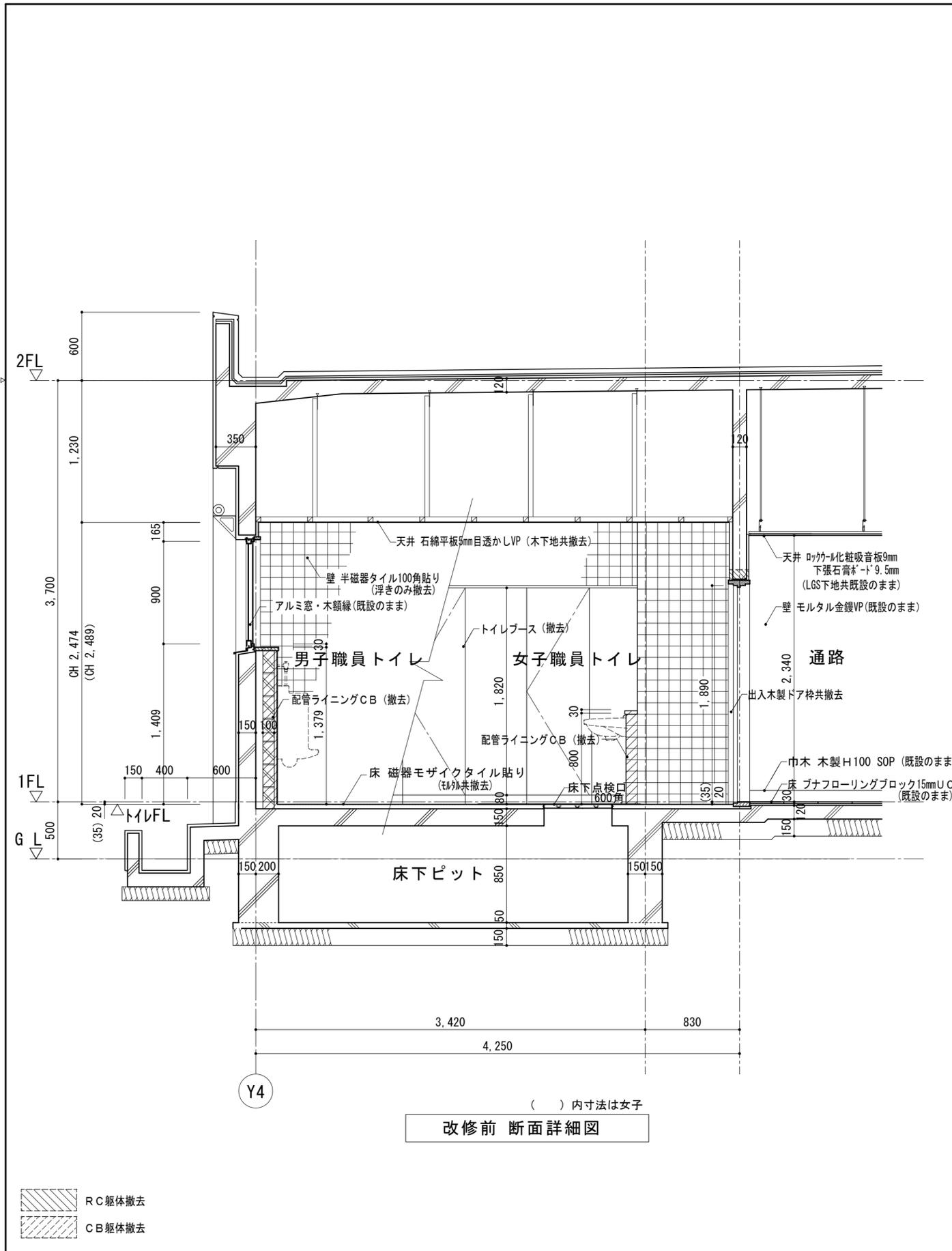


改修後 1階廊下通路展開図

| 記号 | 仕上げ |
|----|---|
| F1 | 床 モルタル打セルフレベリング10mm下地長尺ビニルシート2mm貼り新設 |
| F2 | 床 モルタル打セルフレベリング10mm下地防汚抗菌抗ウイルス型長尺ビニルシート2mm貼り新設 |
| F3 | 床 プナフローリングブロック15mmUC (既設のまま) |
| B1 | 巾木 長尺塩ビシート厚2mm床巻上げ貼りH=60・アルミ見切り押え新設 |
| B2 | 巾木 防汚抗菌抗ウイルス型長尺ビニルシート2mm床巻上げ貼りH=60・塩ビ見切り押え新設 |
| B3 | 巾木 木製H100 一部新設EP-G塗替え新設 |
| W1 | 壁 下地不陸部がけ系モルタル薄塗りの上 化粧ケイ酸カルシウム板6mm貼り新設 目地シーリング 入隅7Rミコーナ |
| W2 | 壁 シーリング石膏ボード12.5mm下張 化粧ケイ酸カルシウム板6mm貼り新設 目地シーリング |
| W3 | 壁 耐水合板12mm下張 化粧ケイ酸カルシウム板6mm貼り新設 目地シーリング |
| W4 | 壁 耐水合板12+4mm下張り粘着付き化粧フィルム貼り |
| W5 | 壁 耐水合板12+4mm下張りインテリアモザイクタイル貼り ガラスブロックはめ込み 端部成材枠付 |
| W6 | 壁 既設モルタル金コテ一部補修 (ハッチ部) 下地調整EP-G塗替え新設 |
| C1 | 天井 LGS天井下地 化粧石膏ボード9.5mm張り新設 |
| C2 | 天井 LGS天井下地 ロックウール吸音板貼り9mm 下張石膏ボード9.5mm (既設のまま) |
| M1 | 廻縁 塩ビ新設 |

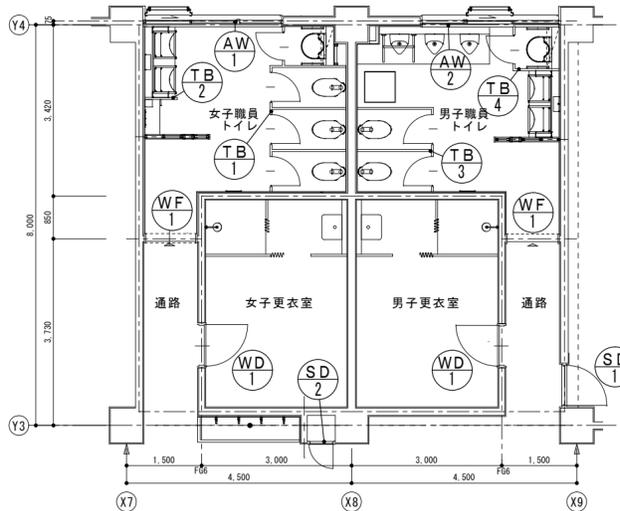
| | | | |
|----|-----------------------------|--|--------------------------------|
| 備考 | 1 トイレブース及び隔て板新設 | 2 出入り三方枠SUS床見切り新設 | 3 配管ラインが 甲板 LGS壁下地マシボ ストフォーム新設 |
| | 4 既設アルミ窓清掃調整・木額縁一部新設EP-G塗替え | 5 掃除具入新設 (ツバハンガ-L450×1・雑巾ハンガ-L450×2・棚付)1か所 | |
| | 6 洗面かたがた新設 (人工大理石・手荷物棚各洗面付) | 7 ハッチコナ新設 (人工大理石かたがた・化粧鏡・化粧棚2段付・手荷物フック付) | |
| | 8 小便器手摺 (SUS樹脂被覆) | 9 アルミ床点検口600角新設 (位置は設備と協議) | 10 姿見鏡新設 (2) |
| | 11 鏡枠枠200×200新設 (4) | 12 更衣室木製扉・用務員室 点検口鋼製扉EP-G塗替え新設 | 13 既設廊下入研ぎ流し再研ぎ |
| | | 14 目隠し7Rミ可動扉新設 (2) | |





RC躯体撤去
CB躯体撤去

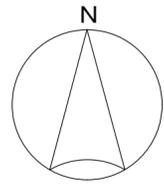
建具キープラン



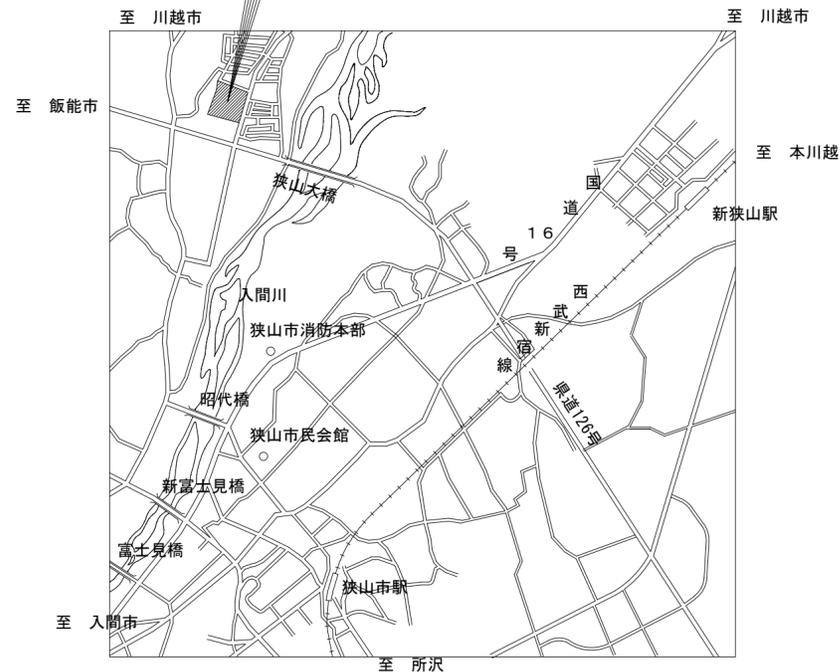
※トイレブース標準色：建材メーカー常備色柄材
※ブース高については、協議決定のこと。

| 記号・数量 | TB1 × 1か所 新設 | | TB2 × 1か所 新設 | | TB3 × 1か所 新設 | | TB4 × 1か所 新設 | | | | | |
|-------|---|--|-------------------------------------|--|---|--|--|--|---|--|---|--|
| 形状 | | | | | | | | | | | | |
| 場所 | 女子職員トイレ | | 女子職員トイレ | | 男子職員トイレ | | 男子職員トイレ | | | | | |
| 形式 | トイレブース (天井高パネル型) | | トイレブース (天井高パネル型) | | トイレブース (天井高パネル型) | | トイレブース (天井高パネル型) | | | | | |
| 見込 | 40 | | 40 | | 40 | | 40 | | | | | |
| 材質・仕上 | 高圧ミラメン化粧合板 (木目) アルミエッジ | | 高圧ミラメン化粧合板 (木目) アルミエッジ | | 高圧ミラメン化粧合板 (木目) アルミエッジ | | 高圧ミラメン化粧合板 (木目) アルミエッジ 出隅R付き | | | | | |
| 備考 | 中心吊り「レ」タイプ、表示付き「S」タイプ、外開き非常解除付き、S/K取手、スリム巾木、戸当り、出隅Rコーナ、付属金物一式 | | スリム巾木、出隅Rコーナ、付属金物一式 | | 中心吊り「レ」タイプ、表示付き「S」タイプ、外開き非常解除付き、スリム巾木、戸当り、出隅Rコーナ、付属金物一式 | | 中心吊り「レ」タイプ、S/K取手、スリム巾木、戸当り、出隅Rコーナ、付属金物一式 | | | | | |
| 記号・数量 | WF1 × 2か所 新設 | | WD1 × 2か所 改修 | | SD1 × 1か所 改修 | | SD2 × 1か所 改修 | | AW1 × 1か所 改修 | | AW2 × 1か所 改修 | |
| 形状 | | | | | | | | | | | | |
| 場所 | 女子・男子職員トイレ | | 男子・女子更衣室 | | 用務員室 | | 廊下 | | 女子職員トイレ | | 男子職員トイレ | |
| 形式 | 木製三方枠 | | 既存 木製片開きドア (既設のまま) | | 既存 鋼製入りフラッシュ防音ドア片開き (既設のまま) | | 既存 鋼製片面フラッシュ片開き点検口 (既設のまま) | | 既存 アルミ製殺め殺し付片引き防音窓 (既設のまま) | | 既存 アルミ製殺め殺し付片引き防音窓 (既設のまま) | |
| 見込 | 205 | | 36 | | 120 | | 60 | | 70 | | 70 | |
| 材質・仕上 | タモ集成材CL | | ポリ合板 (既設のまま) | | OPの上EP-G塗り替え | | OPの上EP-G塗り替え | | 型板ガラス (既設のまま) | | 型板ガラス (既設のまま) | |
| 備考 | ステンレス床見切りW40 | | 既設のまま調整 (丁番、ドアチェック、握り玉) 木製枠EP-G塗り替え | | 既設のまま調整 (D.C、シリンドー錠、グレモン絞まり、丁番、付属金物一式) | | 既設のまま調整 (点検錠、丁番、付属金物一式) | | 下枠アルミアングル新設 既設のまま調整清掃 (戸車、ATハンドル、開き戸丁番締め) | | 下枠アルミアングル新設 既設のまま調整清掃 (戸車、ATハンドル、開き戸丁番締め) | |

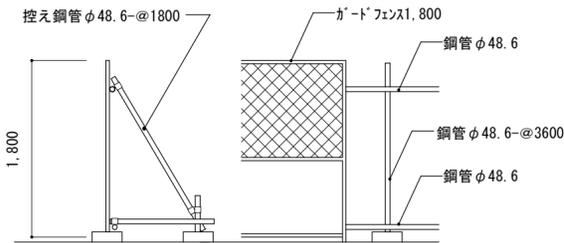
狭山台中学校



工事場所：狭山市柏原2520-11



案内図

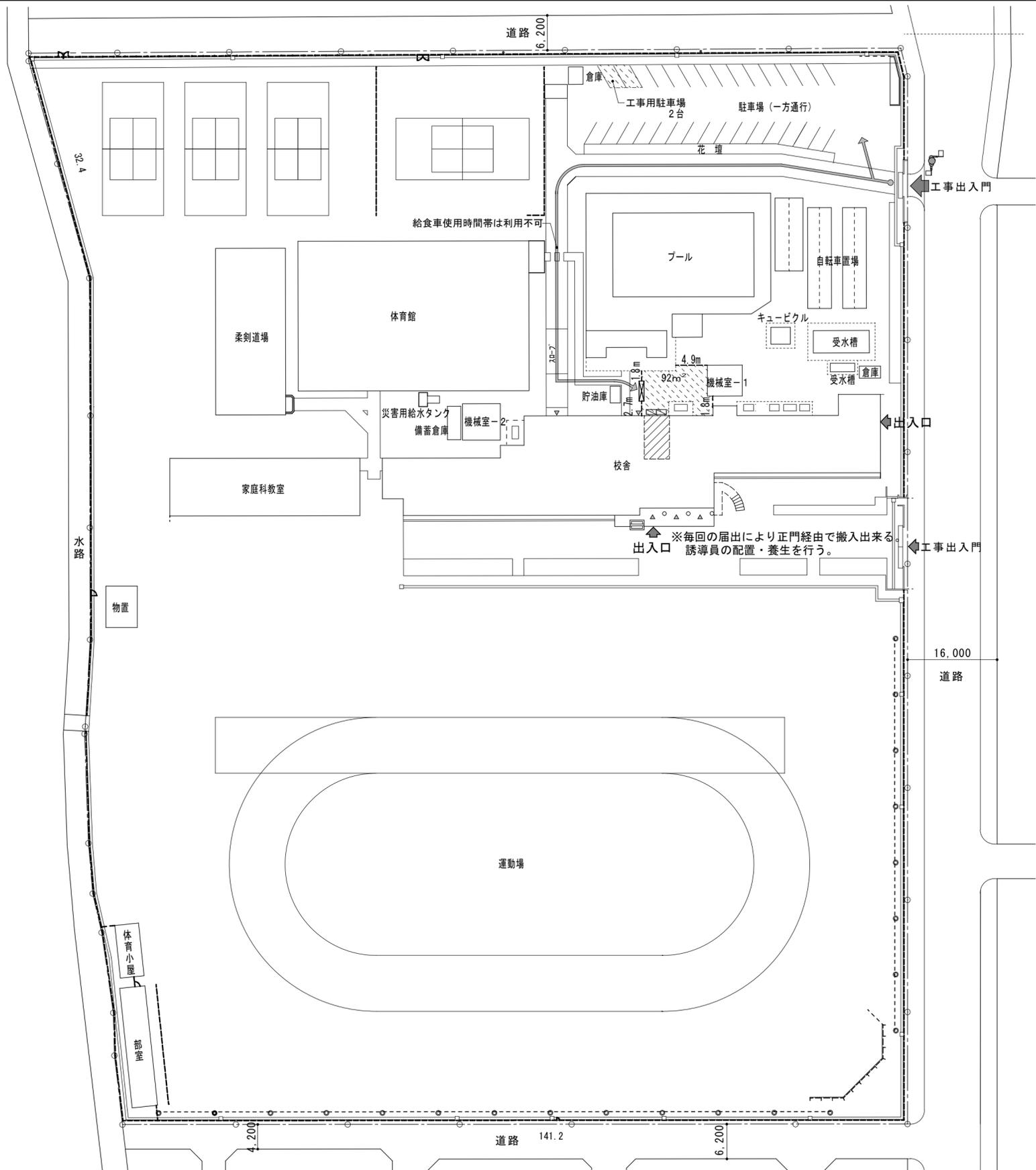


ガードフェンス詳細図 S=1/50

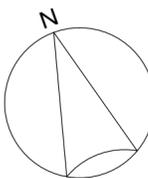
仮設計画 凡例

-  交通誘導員 (適所に移動)
-  キャスターゲート W3600×H2000
-  ガードフェンスH1800 (転倒防止単管組)
-  くさび緊結式足場(手すり先行方式)従来型 建地幅900 ネット状養生シート張り
-  工事部分 (1F, 2F)
-  工事用利用スペース

※敷地外の市管理地に駐車可能



配置図 S=1/600



柏原中学校
図面番号

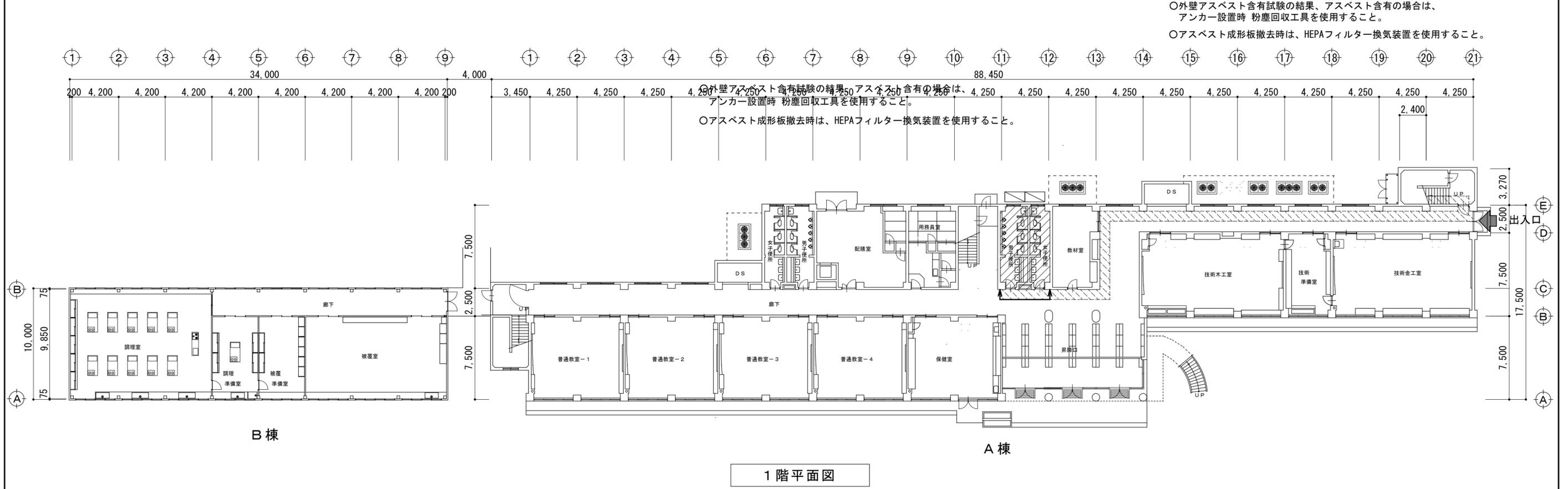
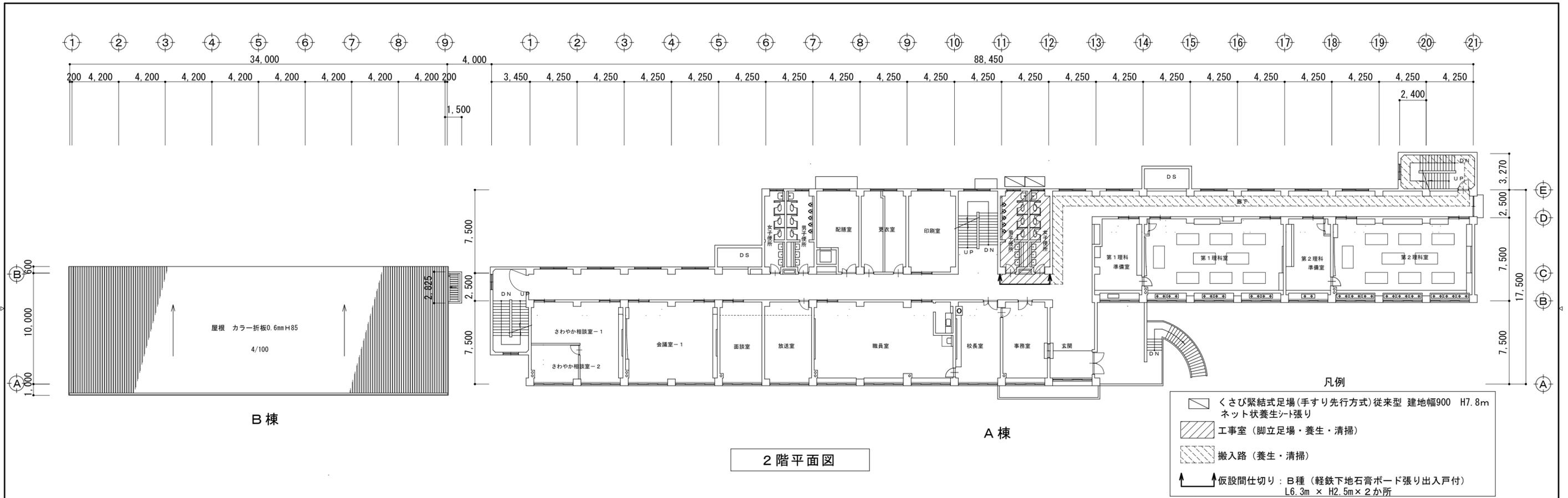
A-18



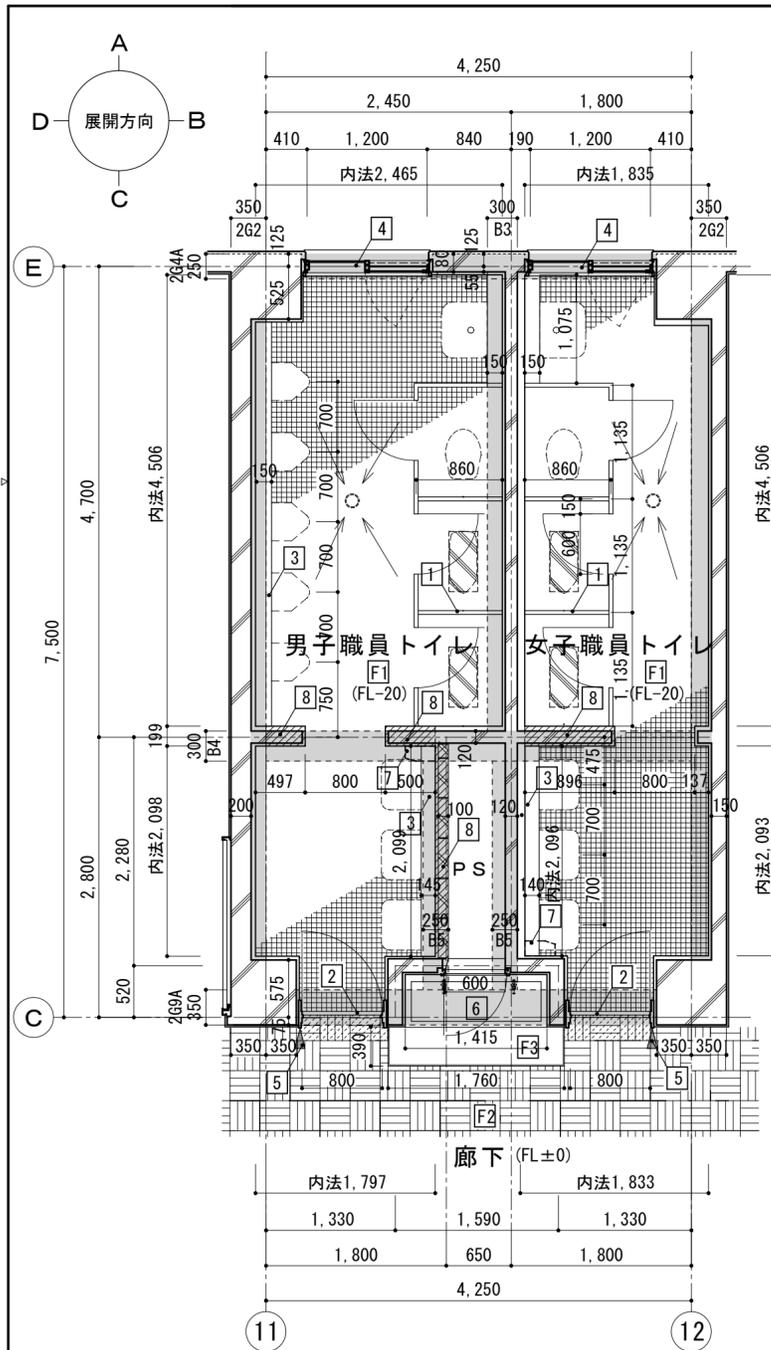
一級建築士事務所
高橋設計
一級建築士 第124805号 高橋卓司
埼玉県狭山市堀兼764-4

設計年月日
2022.9

工事名 狭山市立狭山台中学校外1校職員トイレ改修工事
図面名 案内図、配置図
縮尺 A2=1/600, 1/50 ・ A3=1/848, 1/71



| | | | | | | |
|---|--|-------|-------------|-----|------------------------|------------------------------|
|  一級建築士事務所 高橋設計 一級建築士 第124805号 高橋卓司 埼玉県狭山市堀兼764-4 | | 設計年月日 | 2022.9 | 工事名 | 狭山市立狭山台中学校外1校職員トイレ改修工事 | 柏原中学校 図面番号 A-19 |
| | | 図面名 | 1階平面図、2階平面図 | | 縮尺 | |

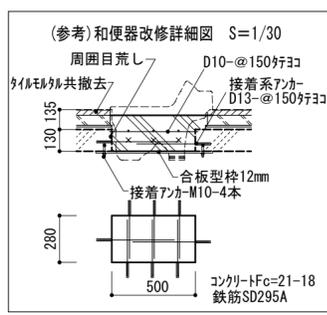


改修前 2階職員トイレ平面詳細図

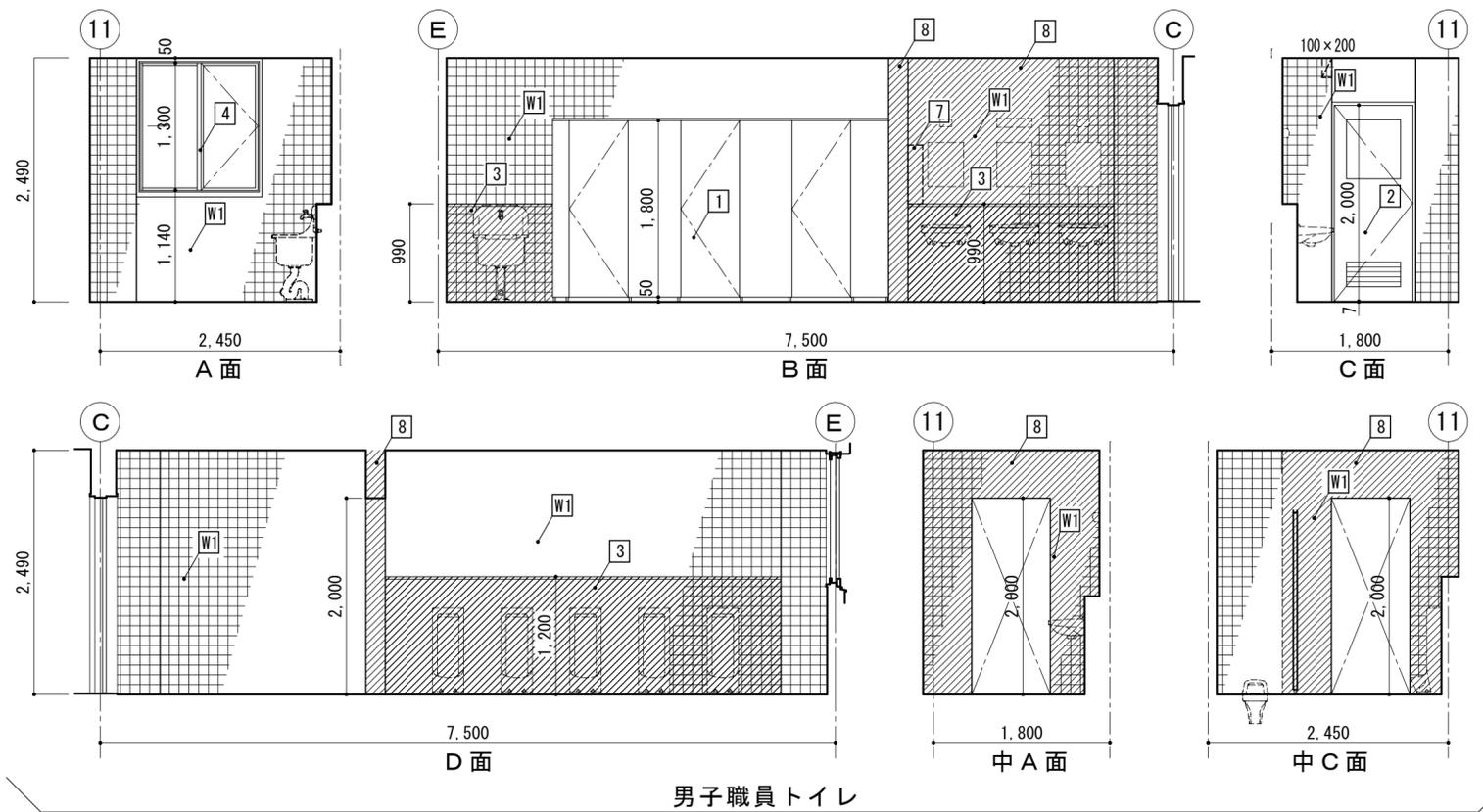
※アスベスト含有材

| 記号 | 仕上げ(処理) |
|----|-----------------------------------|
| F1 | 床 磁器モザイクタイル貼り (モルタル共撤去) |
| F2 | 床 ブナフローリングブロック15mmUC (ハッチ部撤去) |
| F3 | 床 エポキシ系塗床 (既設のまま) |
| B1 | 巾木 木製H100 OP (既設のまま) |
| B2 | 巾木 ソフト巾木H100 (撤去) |
| W1 | 壁 半磁器タイル100角貼り (躯体撤去部・浮き部のみ撤去) |
| W2 | 壁 モルタル金銀VP (一部撤去) |
| C1 | 天井 フレキシブルボード6mm目透かしVP (LGS下地共撤去)※ |
| M1 | 廻縁 塩ビ(撤去) |

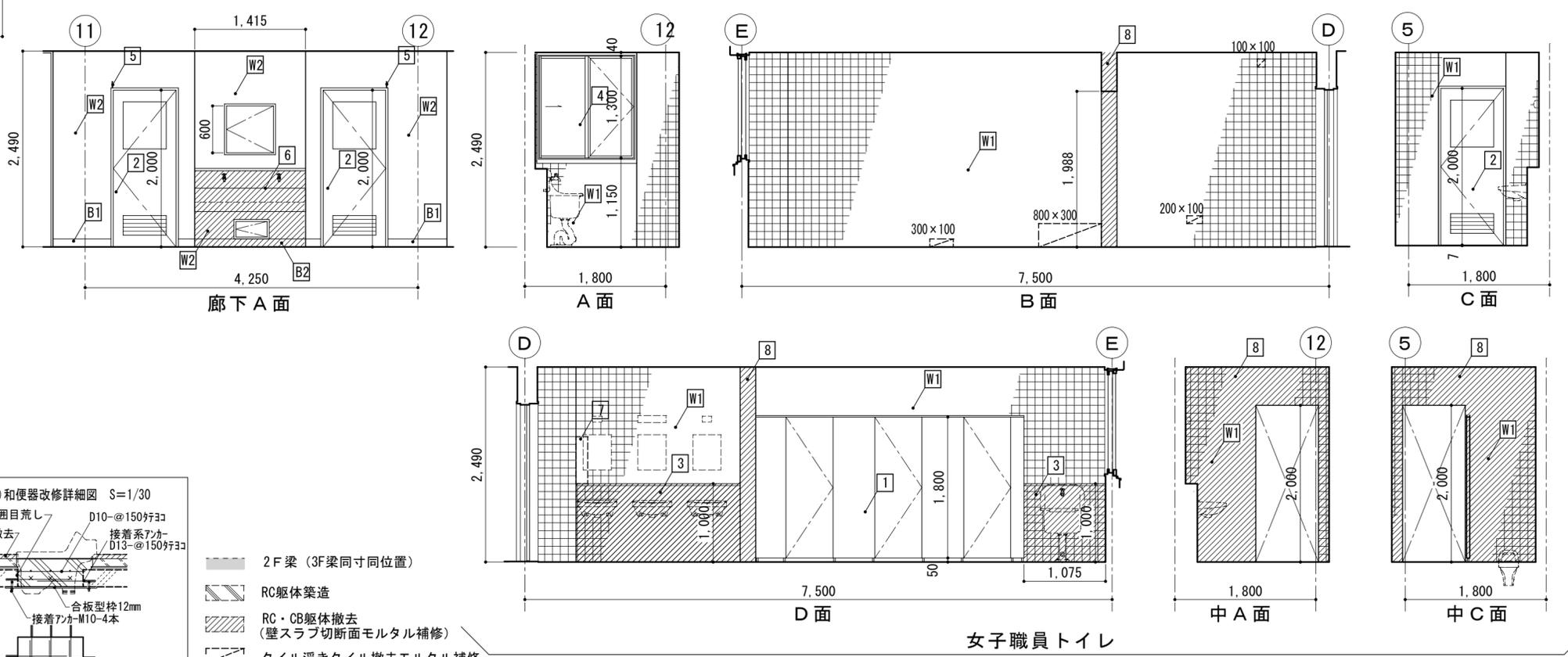
| | | | |
|---|--------------------|---|------------------------|
| 1 | 木製トイレブース撤去 | 2 | 出入ドア枠共撤去 |
| 3 | 配管ラインングCB撤去 | 4 | アルミ窓・木額縁(既設のまま) |
| 5 | 室名札撤去 | 6 | 廊下流し撤去L1415×D525×H1000 |
| 7 | ドアー・枠・取外し(学校へ引き渡し) | 8 | PS*ロック壁・RC手洗いトイレ仕切り壁撤去 |



- 2F梁 (3F梁同寸同位置)
- RC躯体築造
- RC・CB躯体撤去 (壁スラブ切断面モルタル補修)
- タイル浮きタイル撤去モルタル補修 (壁タイル全面浮き調査のこと。)
- 破線の設備機器は設備図による

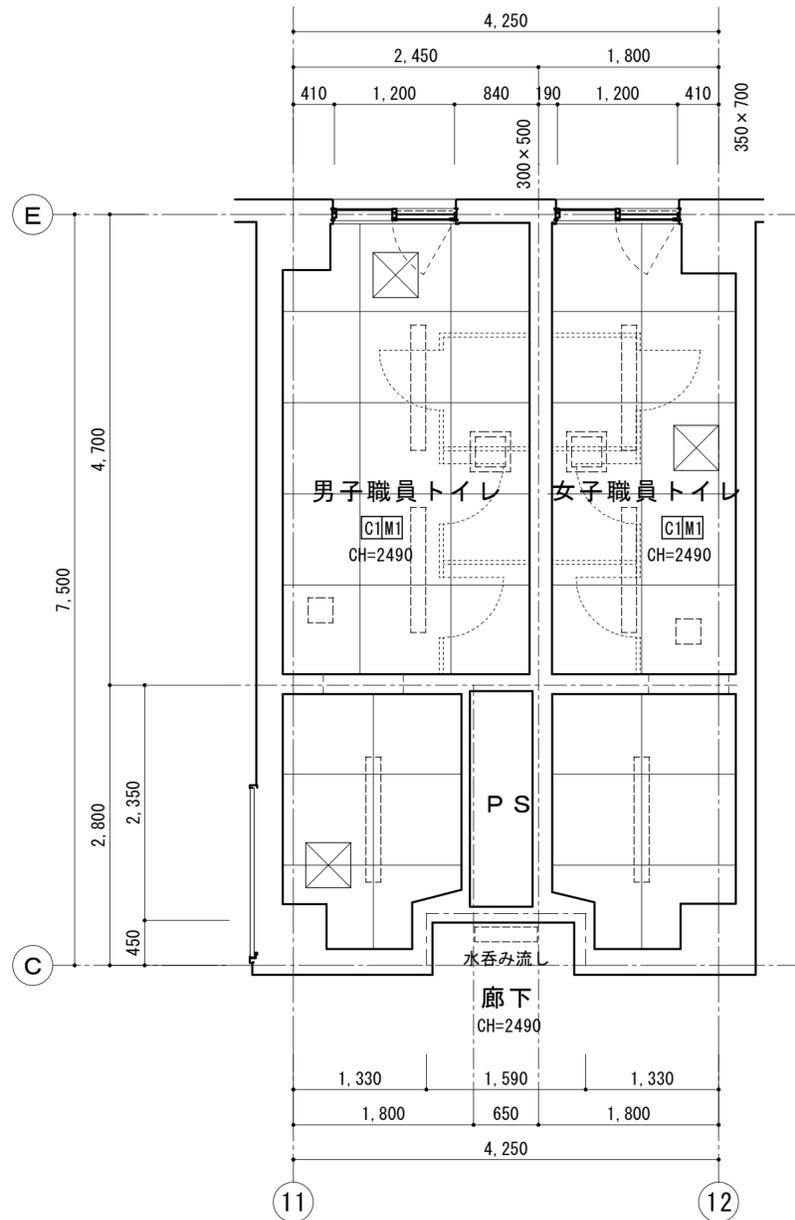


男子職員トイレ

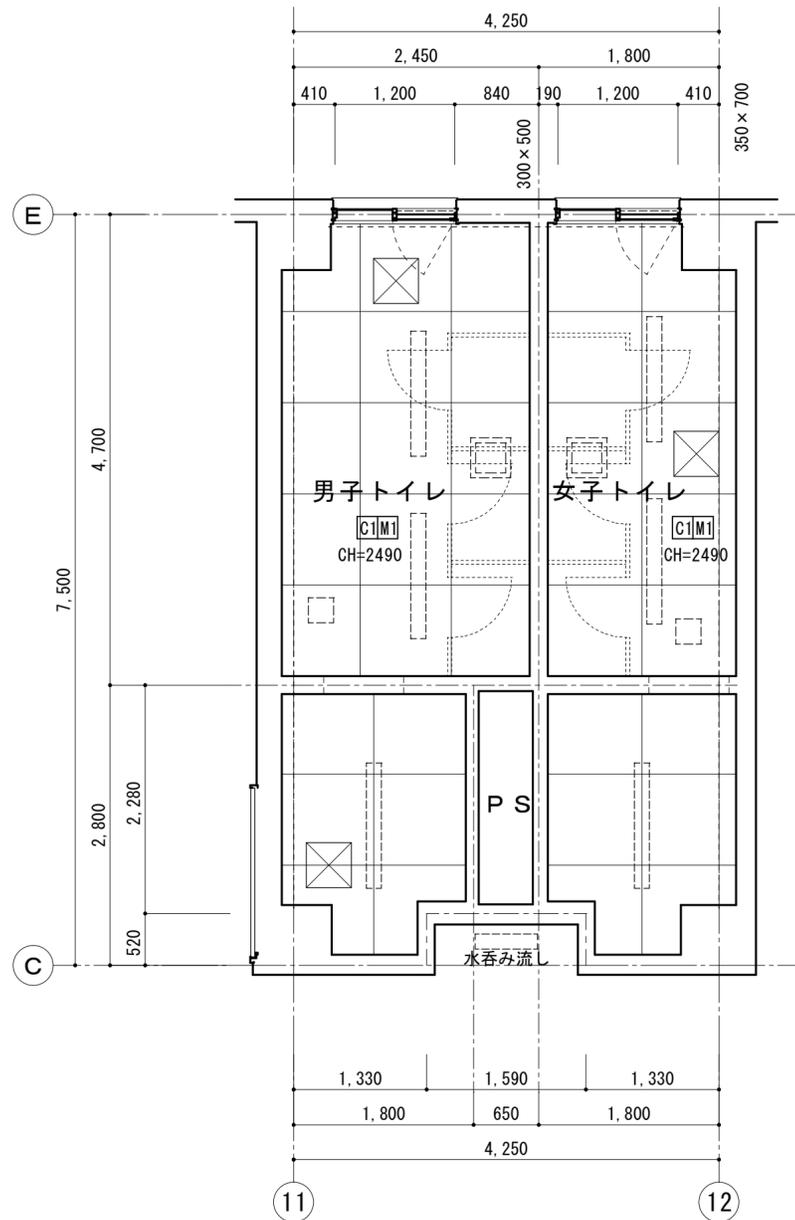


女子職員トイレ

改修前 2階職員トイレ展開図



改修前 2階職員トイレ天井伏図



改修前 1階生徒トイレ天井伏図

○破線の設備機器は設備図による

※アスベスト含有材

| 記号 | 仕上げ(処理) |
|----|-----------------------------------|
| C1 | 天井 フレキシブルボード6mm目透かしVP (LGS下地共撤去)※ |
| M1 | 廻縁 塩ビ(撤去) |



破線表示：設備工事撤去

柏原中学校

図面番号

A-22

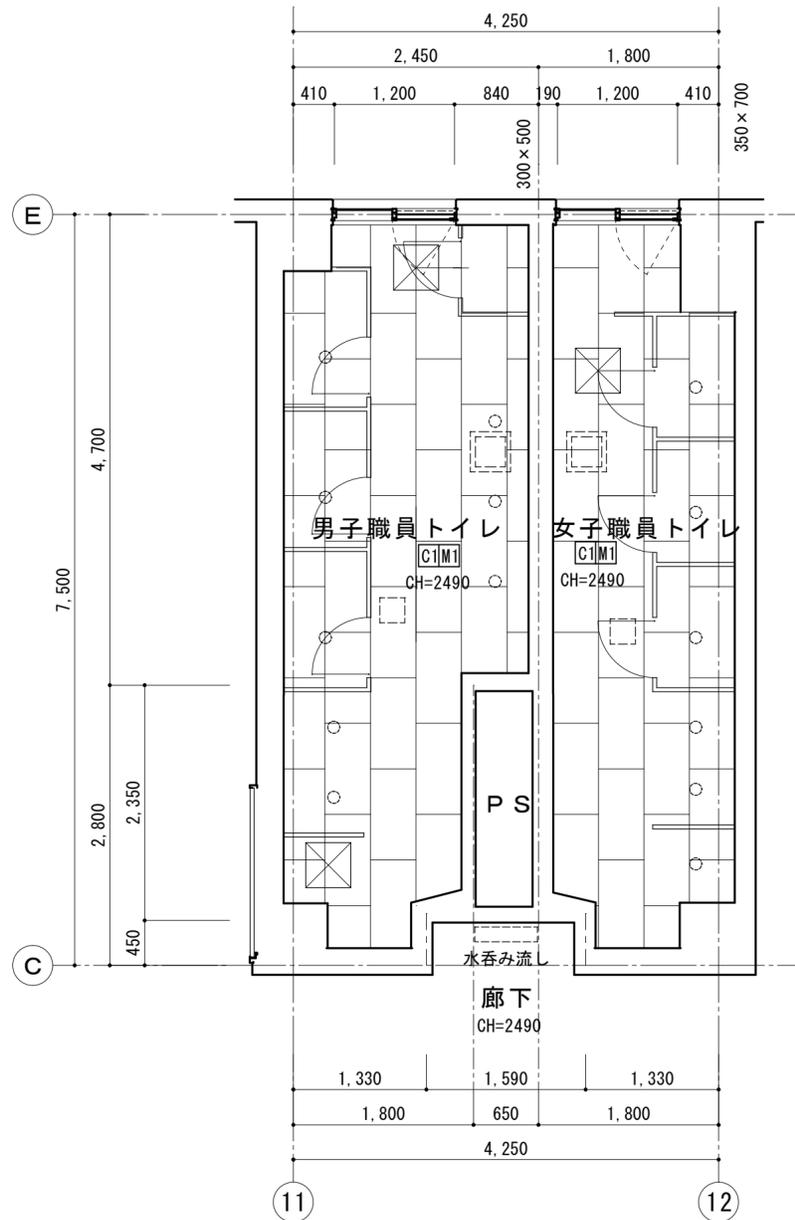


Takahashi Architecture Design

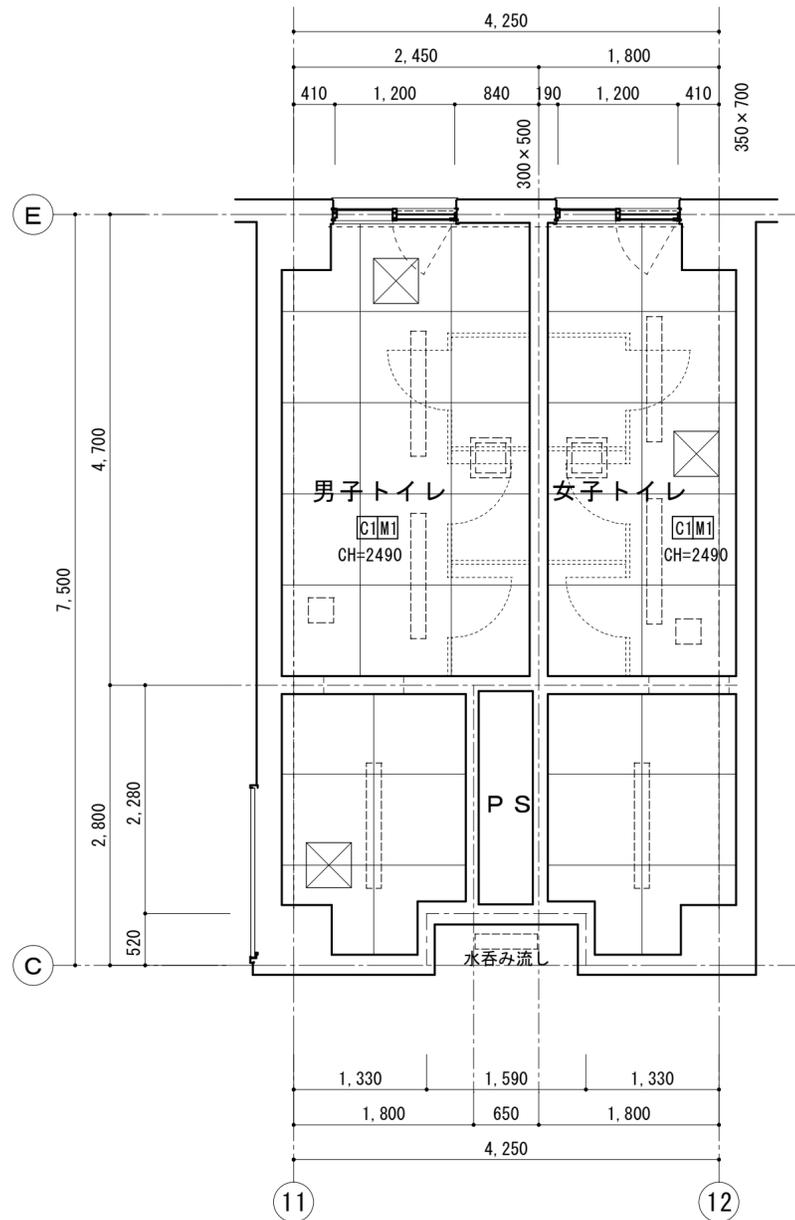
一級建築士事務所
高橋設計
一級建築士 第124805号 高橋卓司
埼玉県狭山市堀兼764-4

設計年月日
2022.9

工事名 狭山市立狭山台中学校外1校職員トイレ改修工事
図面名 改修前 1階2階トイレ天井伏図
縮尺 A2=1/50 ・ A3=1/71



改修後 2階職員トイレ天井伏図



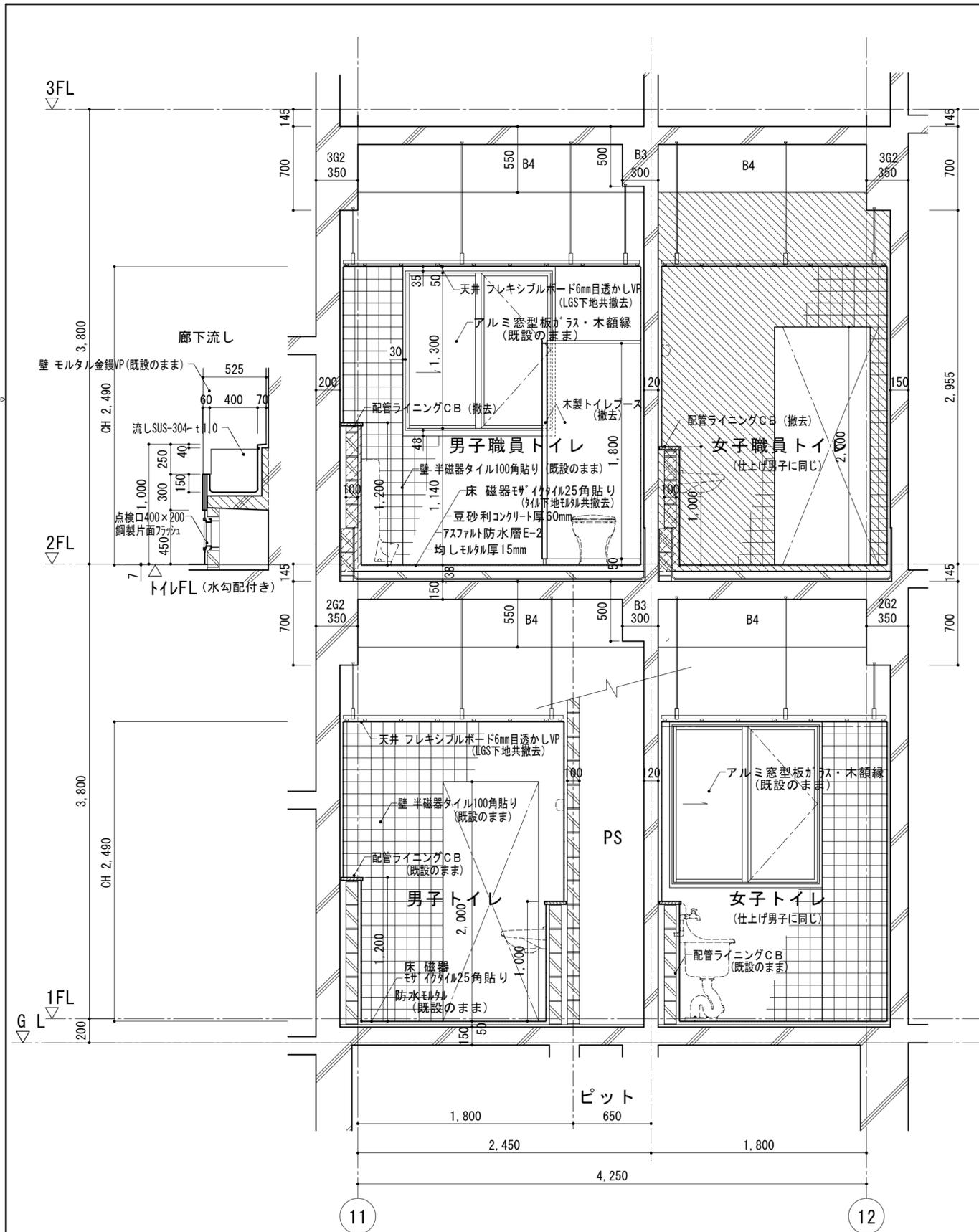
改修後 1階生徒トイレ天井伏図

○破線の設備機器は設備図による

| 記号 | 仕上げ(処理) |
|----|------------------------------|
| C1 | 天井 LGS天井下地 化粧石膏ボード 9.5mm張り新設 |
| M1 | 廻縁 塩ビ新設 |

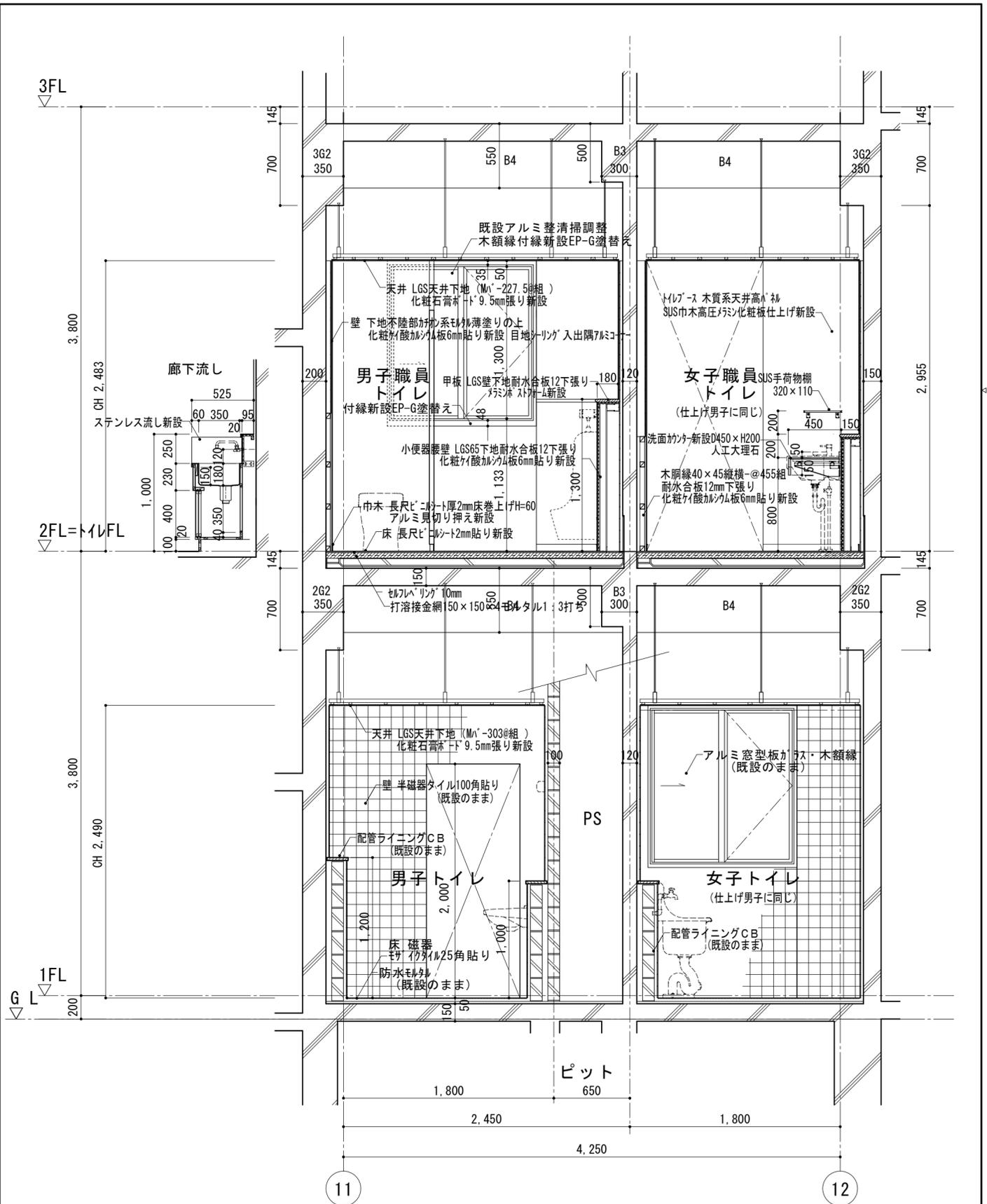
- 天井点検口450角新設
- 天井照明
- 天井照明
- 排気扇
- 給気口

破線表示：設備工事



RC躯体撤去
 CB躯体撤去

改修前 断面詳細図



改修後 断面詳細図

柏原中学校

図面番号

A-24

一級建築士事務所
高橋設計
 一級建築士 第124805号 高橋卓司
 埼玉県狭山市堀兼764-4

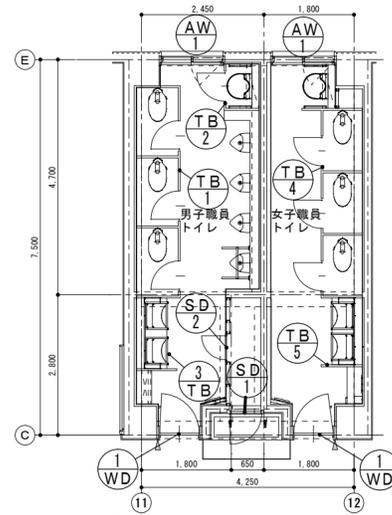
設計年月日 2022.9

工事名 狭山市立狭山台中学校外1校職員トイレ改修工事

図面名 断面詳細図

縮尺 A2=1/30 ・ A3=1/42

建具キープラン



※トイレブース標準色：建材メーカー常備色柄材
※ブース高については、協議決定のこと。

| 記号・数量 | ⊙TB1 × 1か所 新設 | ⊙TB2 × 1か所 新設 | ⊙TB3 × 1か所 新設 | ⊙SD1 × 1か所 改修 |
|-------|--|---|---|-----------------------------------|
| 形状 | | | | |
| 場所 | 男子職員トイレ | 男子職員トイレ | 男子職員トイレ | P S |
| 形式 | トイレブース (天井高パネル型) | トイレブース (天井高パネル型) | トイレブース (天井高パネル型) | 既存 鋼製片面フラッシュ片開き点検口 (既設のまま) |
| 見込 | 40 | 40 | 40 | 60 |
| 材質・仕上 | 高圧メラミン化粧合板 (木目) アルミエッジ | 高圧メラミン化粧合板 (木目) アルミエッジ | 高圧メラミン化粧合板 (木目) アルミエッジ | OPの上EP-G塗り替え |
| 備考 | 中心吊り「レ」タイプ、表示付き「スト」付、外開き非常解除付き、ステンレス巾木、戸当り、出隅Rコーナ、付属金物一式 手荷物棚下地補強 | 中心吊り「レ」タイプ、表示付き「スト」付、外開き非常解除付き、SK取手、ステンレス巾木、戸当り、出隅Rコーナ、付属金物一式 棚板・ハンガ下地補強、配管用開口 | ステンレス巾木、出隅Rコーナ、付属金物一式 手荷物棚下地補強、配管用開口 | 既設のまま調整清掃 (本締め錠、ケスハンドル、丁番、付属金物一式) |

| 記号・数量 | ⊙TB4 × 1か所 新設 | ⊙TB5 × 2か所 改修 | ⊙WD1 × 2か所 新設 | ⊙AW1 × 2か所 改修 | ⊙SD2 × 1か所 新設 |
|-------|---|---|--|--|---------------------------|
| 形状 | | | | | |
| 場所 | 女子職員トイレ | 女子職員トイレ | 男子・女子職員トイレ | 男子・女子職員トイレ | P S |
| 形式 | トイレブース (天井高パネル型) | トイレブース (天井高パネル型) | 木製額付きフラッシュドア片開き (7kgカット) | 既存 アルミ付片引き防音窓 (既設のまま) | 鋼製フラッシュ片開き点検口 |
| 見込 | 40 | 40 | 40 | 120 | 30 |
| 材質・仕上 | 高圧メラミン化粧合板 (木目) アルミエッジ | 高圧メラミン化粧合板 (木目) アルミエッジ | メラミン化粧合板 (木目) | 型板ガラス (既設のまま) | 溶融亜鉛メッキ鋼板1.6mm 防錆塗装EP-G塗り |
| 備考 | 中心吊り「レ」タイプ、表示付き「スト」付、外開き非常解除付き、ステンレス巾木、戸当り、出隅Rコーナ、付属金物一式 手荷物棚下地補 | ステンレス巾木、出隅Rコーナ、付属金物一式 手荷物棚下地補強、配管用開口 | 型板強化ガラス4mm ステンレス丁番 102×70×1.9 (3)、 ドアクローザー、ストッパー 7kg7kg製トイレ押し板・握り手、SUS床見切りW40 タモ集成材三方枠 35×290 C.L塗り 新設 | 型板ガラス (既設のまま) 既設のまま調整清掃 (戸車、AIハンドル、開き戸丁番締め) | 点検錠、軸吊り丁番 |

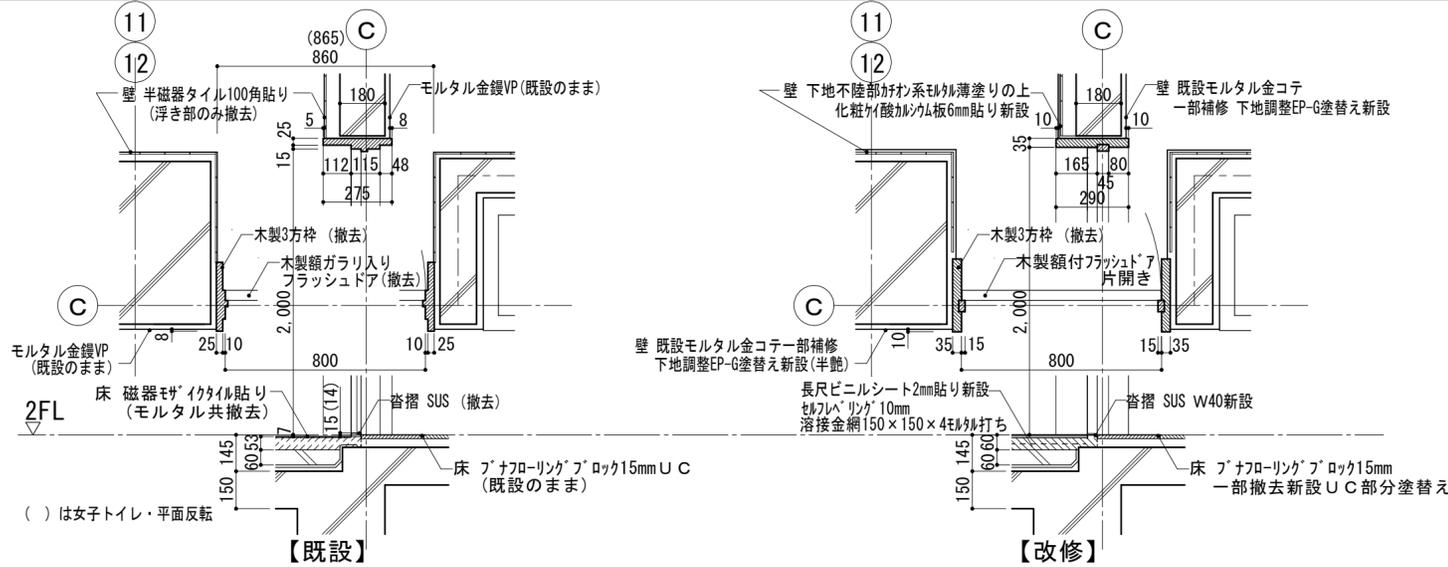
柏原中学校

| | | | | | |
|-------|---------------------|-----|------------------------|------|------|
| 設計年月日 | 2021.9 | 工事名 | 狭山市立狭山台中学校外1校職員トイレ改修工事 | 図面番号 | A-25 |
| 縮尺 | A2: 1/50 (A3: 1/71) | 図面名 | 建具キープラン、建具表 | | |
| | | | | | |

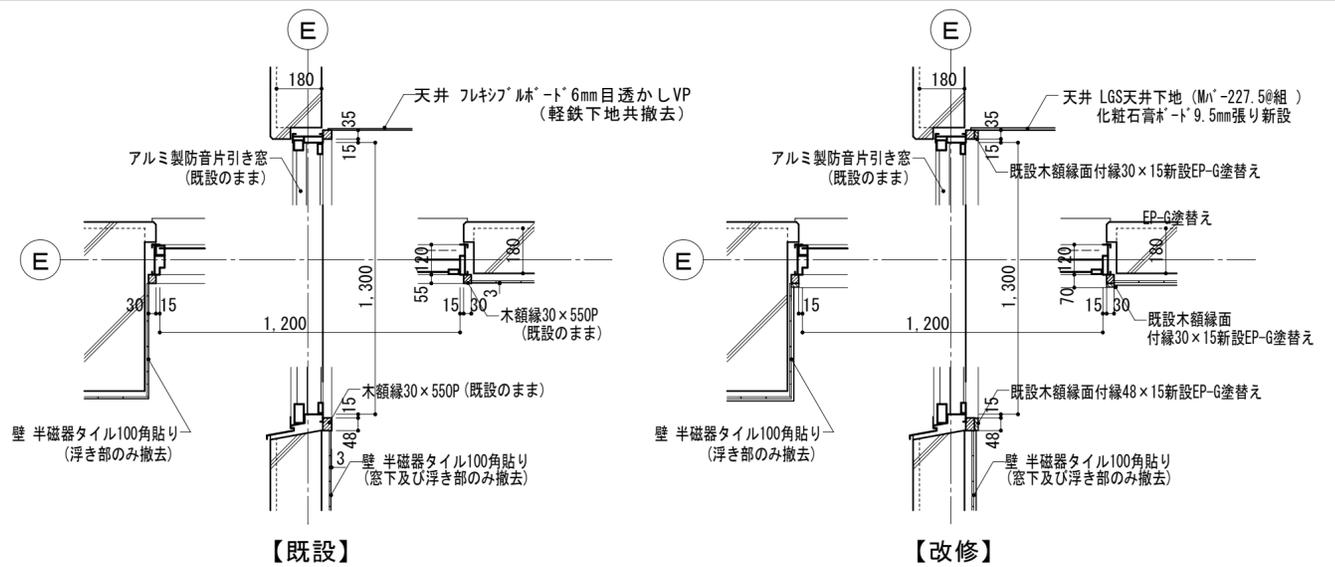


一級建築士事務所
高橋設計
一級建築士 第124805号 高橋卓司
埼玉県狭山市堀兼764-4

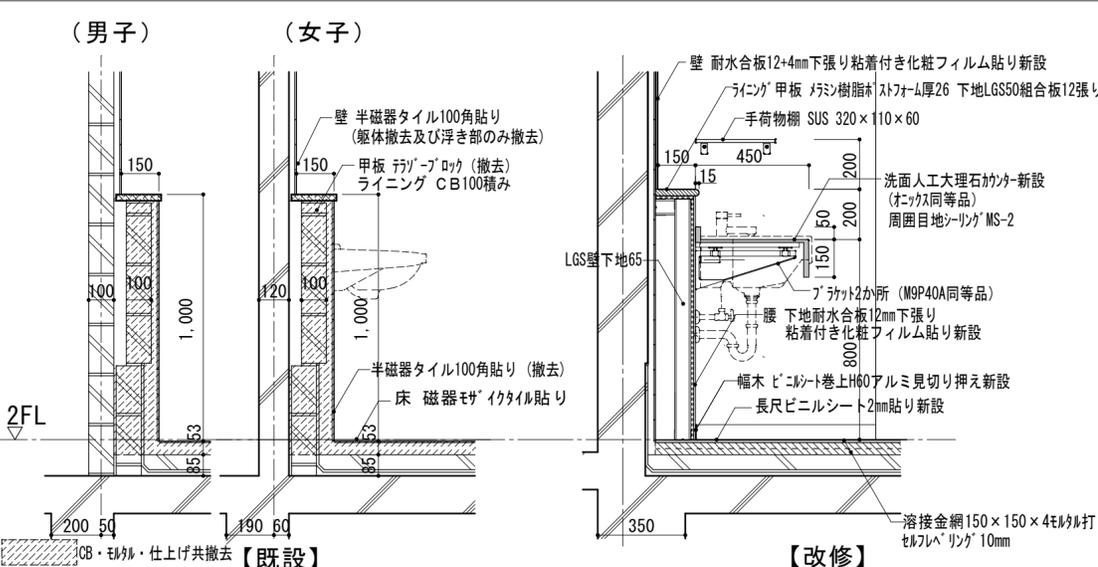
出入口 廻り詳細図 S=1/20



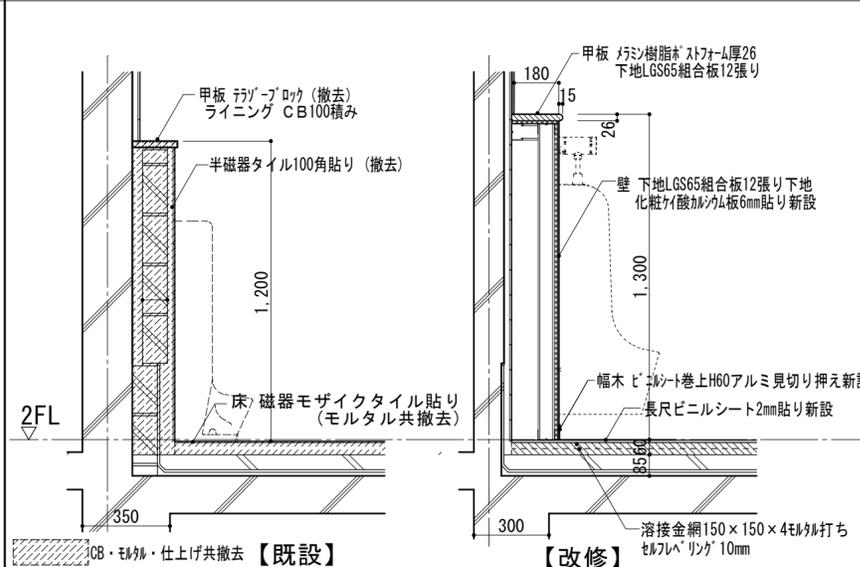
アルミサッシ廻り詳細図 S=1/20



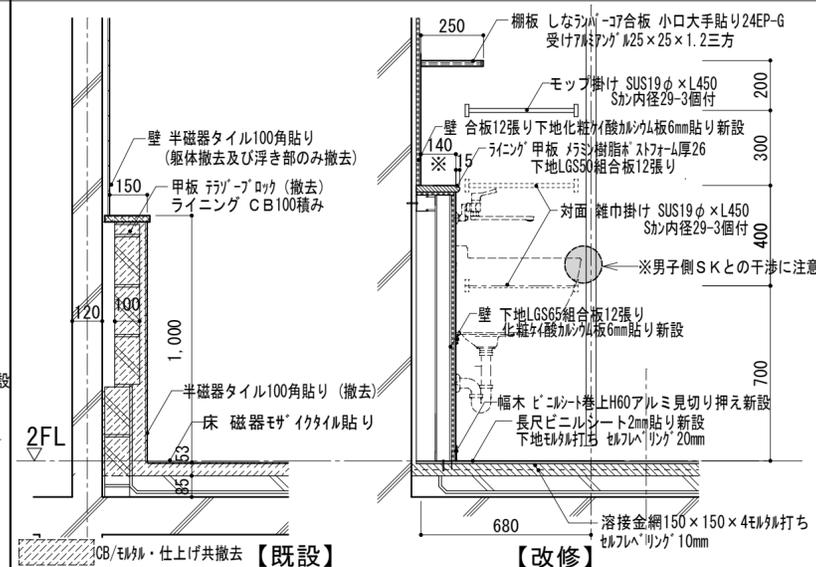
洗面カウンター廻り詳細図 S=1/20



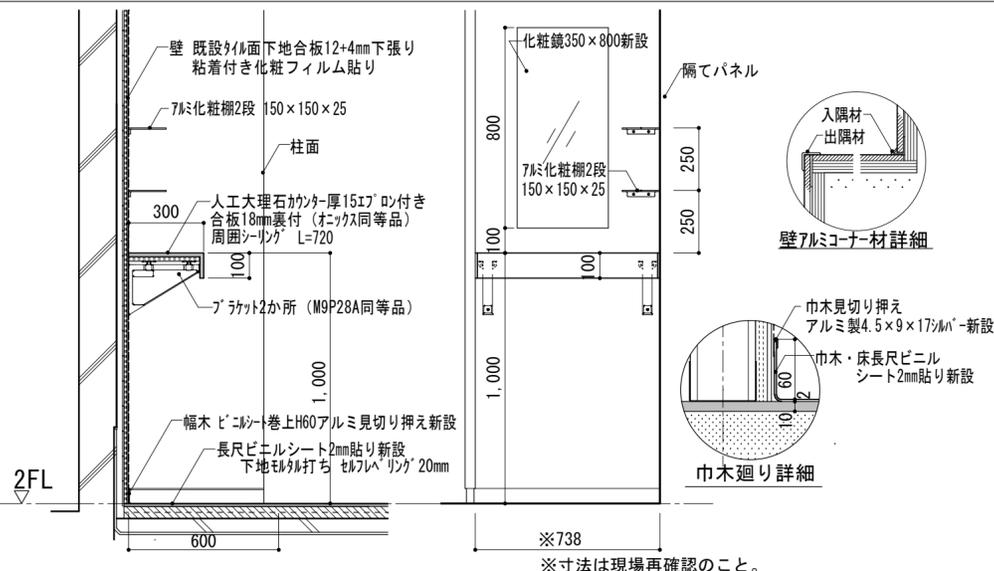
小便器廻り詳細図 S=1/20



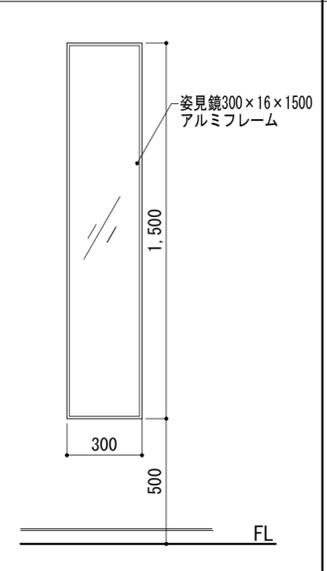
S K 掃除道具入詳細図 S=1/20



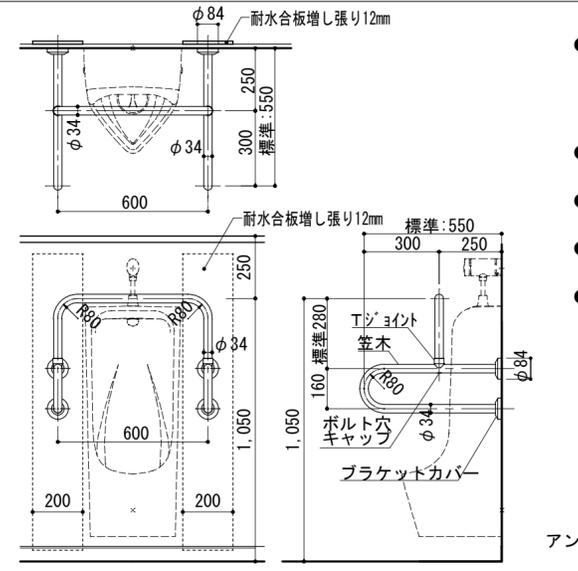
パウダーコーナー詳細図 S=1/20



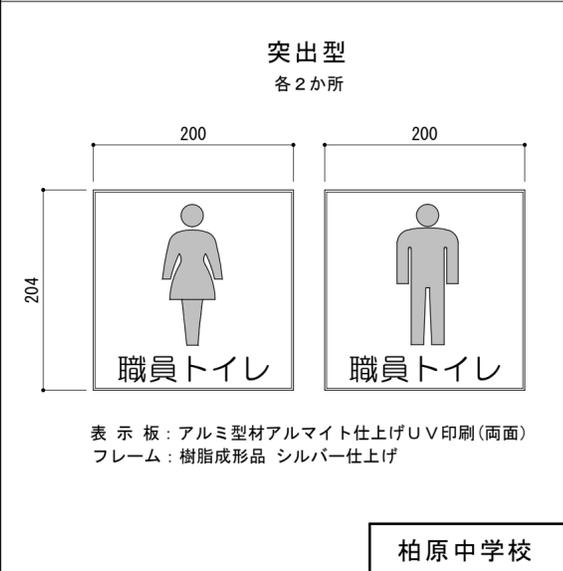
姿見鏡詳細図 S=1/20



小便器手摺詳細図 S=1/20



ピクトサイン詳細図 S=1/5



※特記無き造作材は桐材とする。

※寸法は現場再確認のこと。



高橋設計
一級建築士事務所
一級建築士 第124805号 高橋卓司
埼玉県狭山市堀兼764-4

設計年月日

2021.9

工事名 狭山市立狭山台中学校外1校職員トイレ改修工事

図面名 部分詳細図(1)

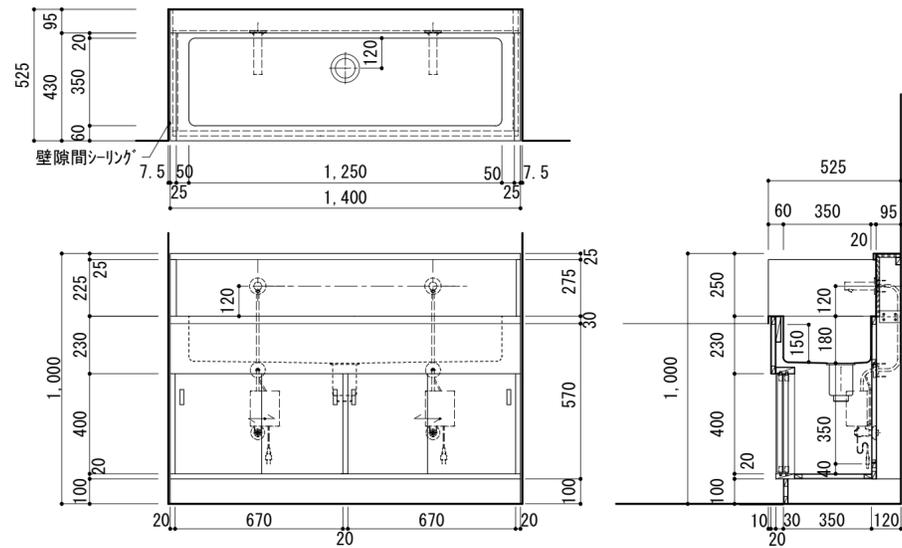
縮尺 A2: 1/20,5 · A3: 1/28,7

柏原中学校

図面番号

A-26

廊下流し詳細図 S=1/20

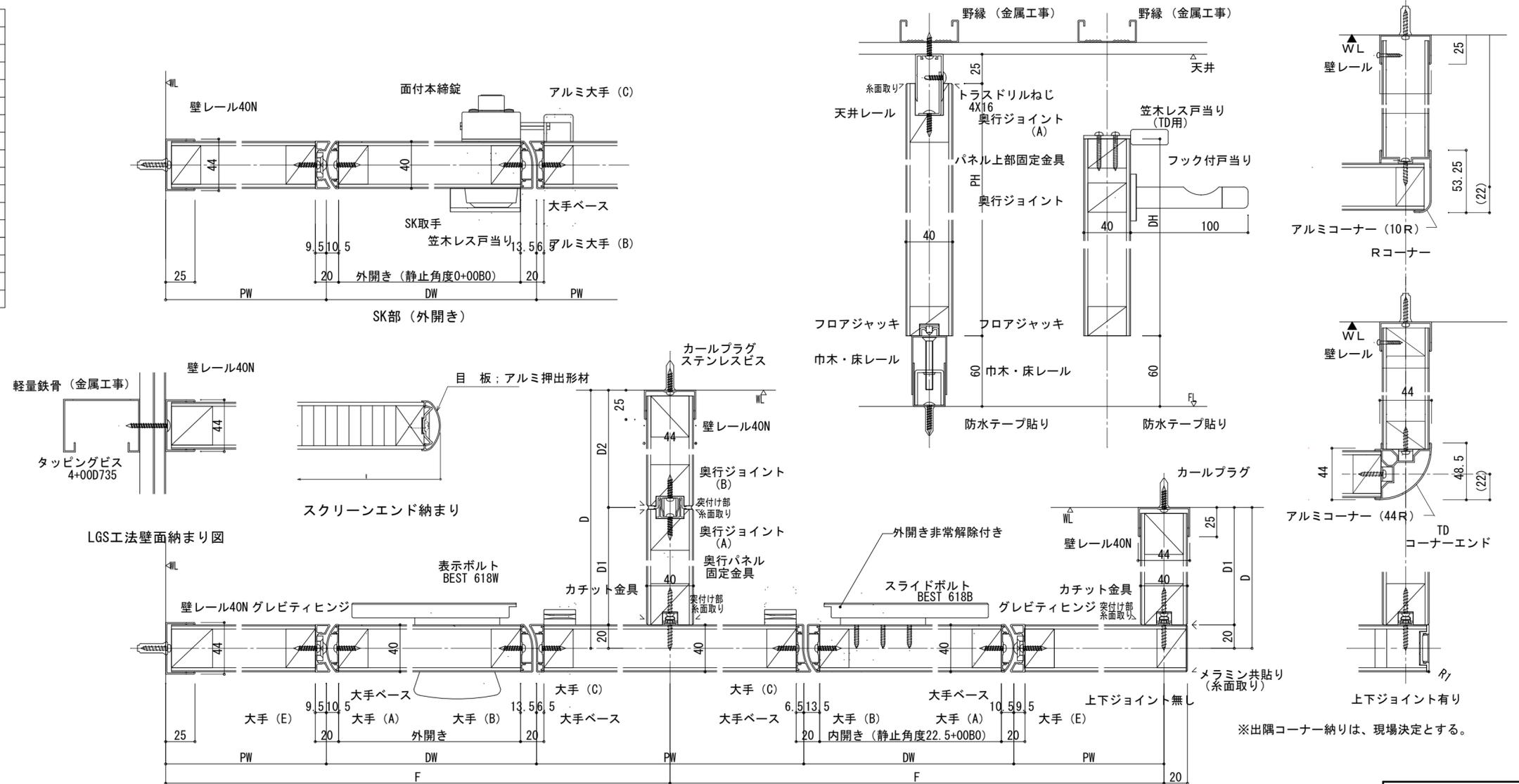


仕様

| | |
|------|---|
| 品番 | CRN-R1.B.ZZ |
| 天板 | ステンレスSUS304 t1.0mm 表面仕上げ#400 水切りロール加工、下地合板9mm |
| シンク | ステンレスSUS304 t1.0mm 表面仕上げ#400 |
| 本体主材 | ポリ合板フラッシュ、木口：樹脂シート t1.0mm貼り 工事蓋（背板、底板）：ポリ合板 t4mm |
| 引違戸 | ポリ合板フラッシュ、木口：シート貼り 樹脂成型レール、調節式戸車、樹脂製空気孔付船底引手 |
| 台輪 | ポリ合板貼り |
| トラップ | 樹脂製排水トラップ M-14AP |
| 別途品 | 水栓金具、配管 周囲シーリング |

トイレブース詳細参考図 S=1/3

| 仕様 | |
|-----------------|-------------------------------|
| 表面材・色番号 | 高圧メラミン樹脂化粧合板（標準色：建材メカ常備品） |
| 枠材 | LVL（単板積層材） |
| 芯材 | ペーパーコア |
| エッジ | 7mm押出形材 A6063S-T5 陽極酸化皮膜 CL仕上 |
| 巾木・床レール | SUS304ヘアライン仕上げ |
| 天井レール | 7mm押出形材 A6063S-T5 陽極酸化皮膜 CL仕上 |
| ヒンジ | グレビティヒンジ SUS304（中心吊グレビティヒンジ） |
| スライドボルト（内） | 亜鉛ダイキャスト（シルバー塗装）他 |
| 表示付スライドボルト（外） | 亜鉛ダイキャスト（シルバー塗装）他 |
| スライドボルト | 黄銅（サンテローム）他 |
| 笠木レス戸当たり | SUS304ホーニング仕上げ |
| 非常解笠木レス戸当たり | SUS304ホーニング仕上げ |
| フック付き戸当たり | 黄銅（サンテローム）他 |
| SK取手 | 黄銅（サンテローム）他 |
| 面付本締り錠 | SUS304ホーニング仕上げ |
| 非常解付表示なしスライドラッチ | アルミダイキャスト（シルバー塗装）他 |



柏原中学校

図面番号

A-27



一級建築士事務所
高橋設計
一級建築士 第124805号 高橋卓司
埼玉県狭山市堀兼764-4

設計年月日

2021.9

工事名 狭山市立狭山台中学校外1校職員トイレ改修工事

図面名 部分詳細図(2)

縮尺 A2: 1/20, 3 · A3: 1/28, 4

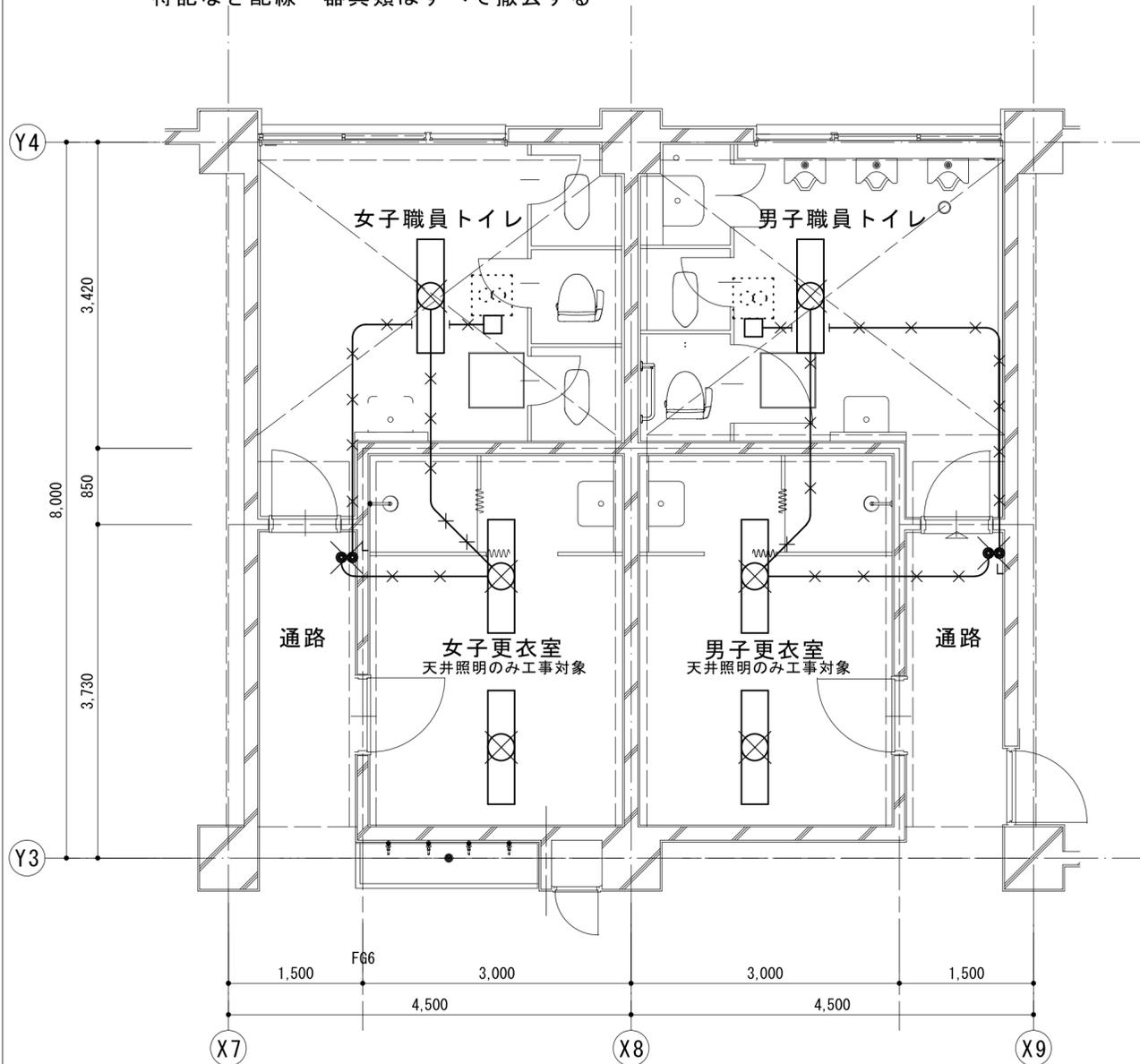
特記なき配管配線は下記による

| | |
|--|----------------------------|
| | IV1.6×2 (E19) |
| | IV1.6×4 (E25) |
| | 撤去を示す (配線は管内引抜・打込み配管残置) |

凡例

| | |
|--|------------------------------|
| | 照明器具：蛍光灯 |
| | スイッチ（金属プレート）1P15A×1+1PL15A×1 |
| | 換気扇 |

特記なき配線・器具類はすべて撤去する



改修前 1階職員トイレ平面詳細図

| |
|-------------------|
| 女子職員トイレ |
| FL40W×2 露出型 1台 撤去 |
| 女子更衣室 |
| FL40W×2 露出型 2台 撤去 |

| |
|-------------------|
| 男子職員トイレ |
| FL40W×2 露出型 1台 撤去 |
| 男子更衣室 |
| FL40W×2 露出型 2台 撤去 |

狭山台中学校

図面番号

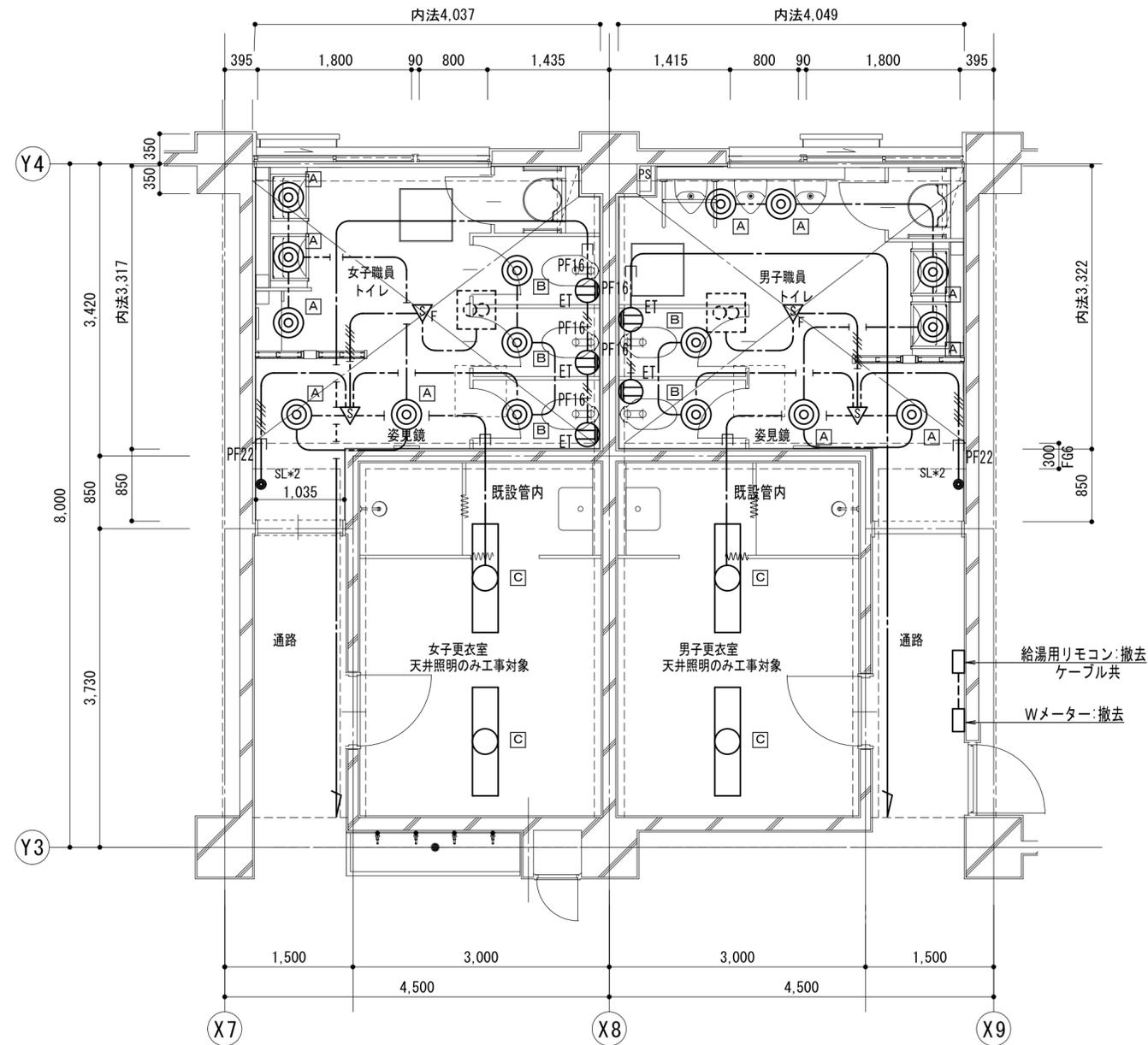
E-02



一級建築士事務所
高橋設計
一級建築士 第124805号 高橋卓司
埼玉県狭山市堀兼764-4

設計年月日
2022.9

工事名 狭山市立狭山台中学校外1校職員トイレ改修工事
図面名 改修前 電灯設備 1階職員トイレ平面図
縮尺 A2=1/50 ・ A3=1/71



改修後 1階職員トイレ平面詳細図

凡例

| 記号 | 名称 | 仕様 |
|----|--------------------|-------------------------|
| | 照明器具 | |
| | 照明器具 (ダウンライト) | |
| | 人感センサー操作スイッチ (2回路) | (OFF・自動・連続) カバー付 H=2.0m |
| | 人感センサ | 親機 |
| | 人感センサ | 子機、換気扇接続端子付 |
| | コンセント | 2P15A×1ET (ボックス共) |
| | 換気扇 | |

凡例

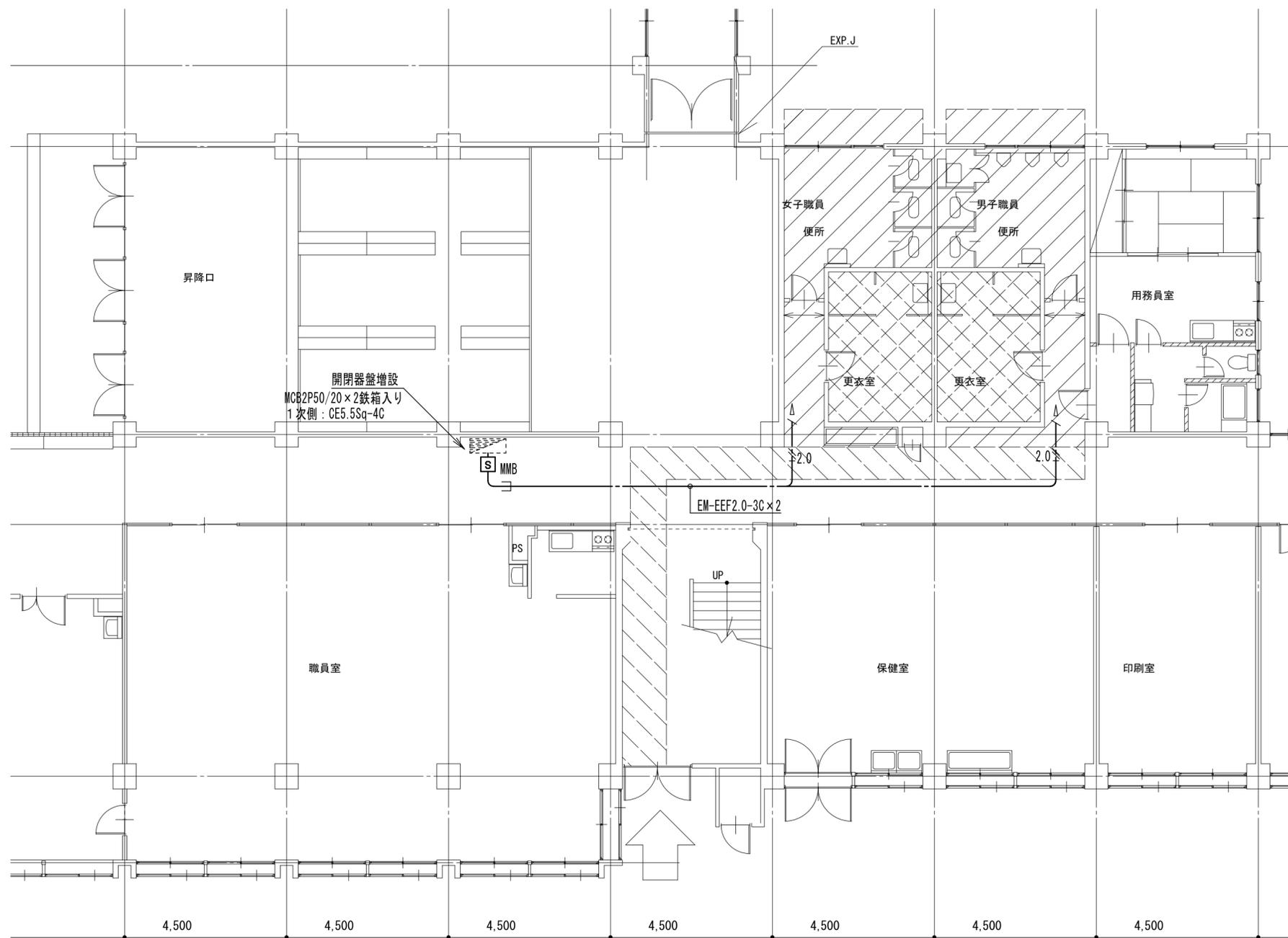
| 記号 | 配線 |
|----|-------------------------------|
| | EM-EEF1.6-3C (天井内コガシ) |
| | EM-EEF1.6-3C×2 (天井内コガシ) |
| | EM-EEF2.0-3C (天井内コガシ) |
| | EM-EEF1.6-3C×2 1Cアース (天井内コガシ) |
| | 壁立下りケーブル保護管PF16 |

【特記事項(共通)】

- 1) 特記なき太線の配線配管・機器を新設とする。
- 2) ----- 破線細線は既存を示す。

照明器具姿図

| A | LRS1-08 | B | LDS2-LRS1-08 | C | LSS9-4-65 |
|--------------------------|---------|--------------------------|--------------|-------------------------|-----------|
| 消費電力: 7.6W 光束: 1065lm | | 消費電力: 7.4W 光束: 1015lm | | 消費電力: 43W 光束: 6900lm | |
| | | | | | |



狭山台中学校
 図面番号
E - 0 4

| |
|--|
| |
| |
| |
| |

一級建築士事務所
高橋設計
 一級建築士 第124805号 高橋卓司
 埼玉県狭山市堀兼764-4

設計年月日
 2022.9

工事名 狭山市立山王中学校外3校職員トイレ改修工事
 図面名 改修後 電灯設備 1階平面図
 縮尺 A2=1/50 ・ A3=1/71

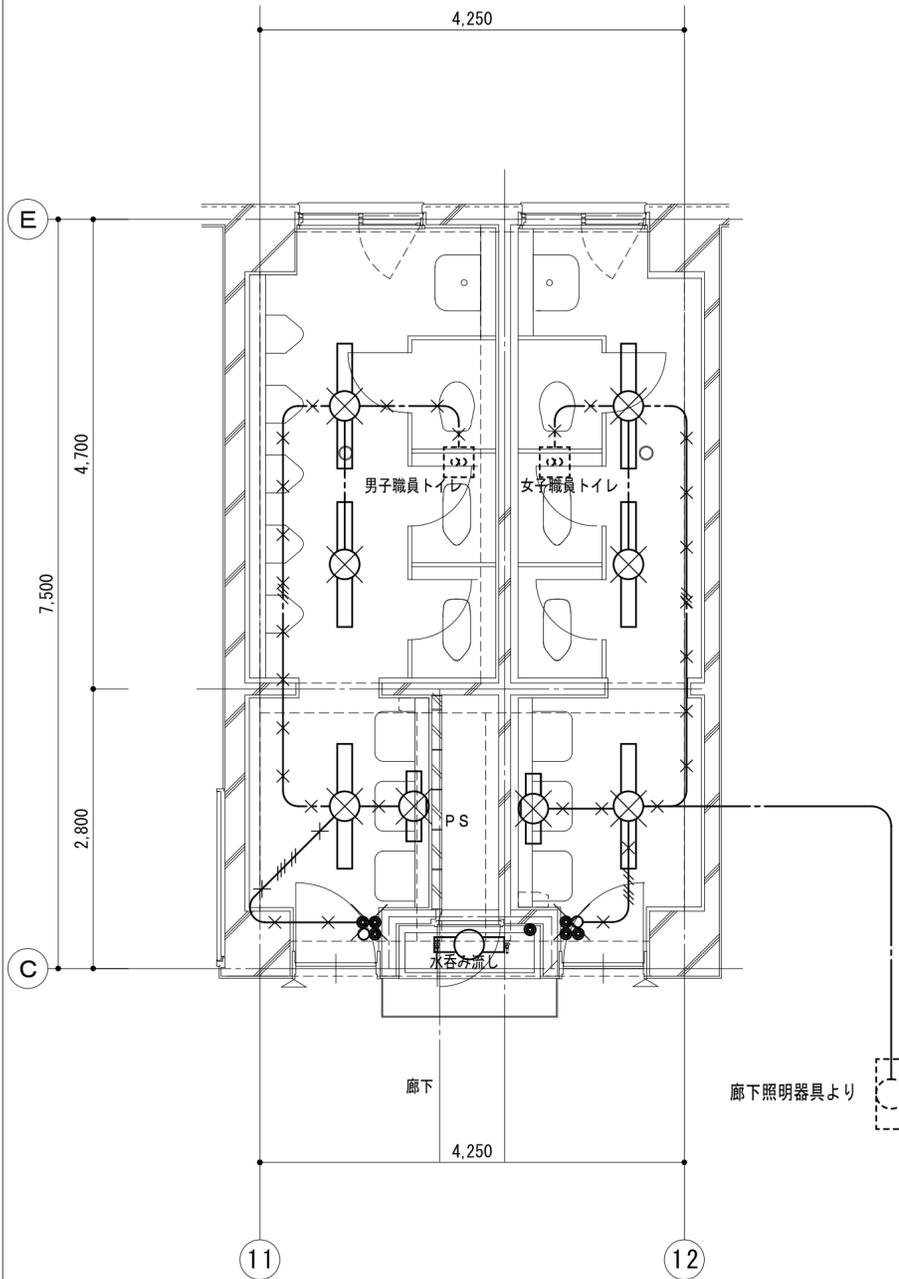
特記なき配管配線は下記による

| | |
|--|---------------------|
| | EM-E E F 1.6-2 C |
| | EM-E E F 1.6-3 C |
| | I V 1.6 x 2 (E 1 9) |
| | I V 1.6 x 5 (E 2 5) |
| | 撤去を示す |

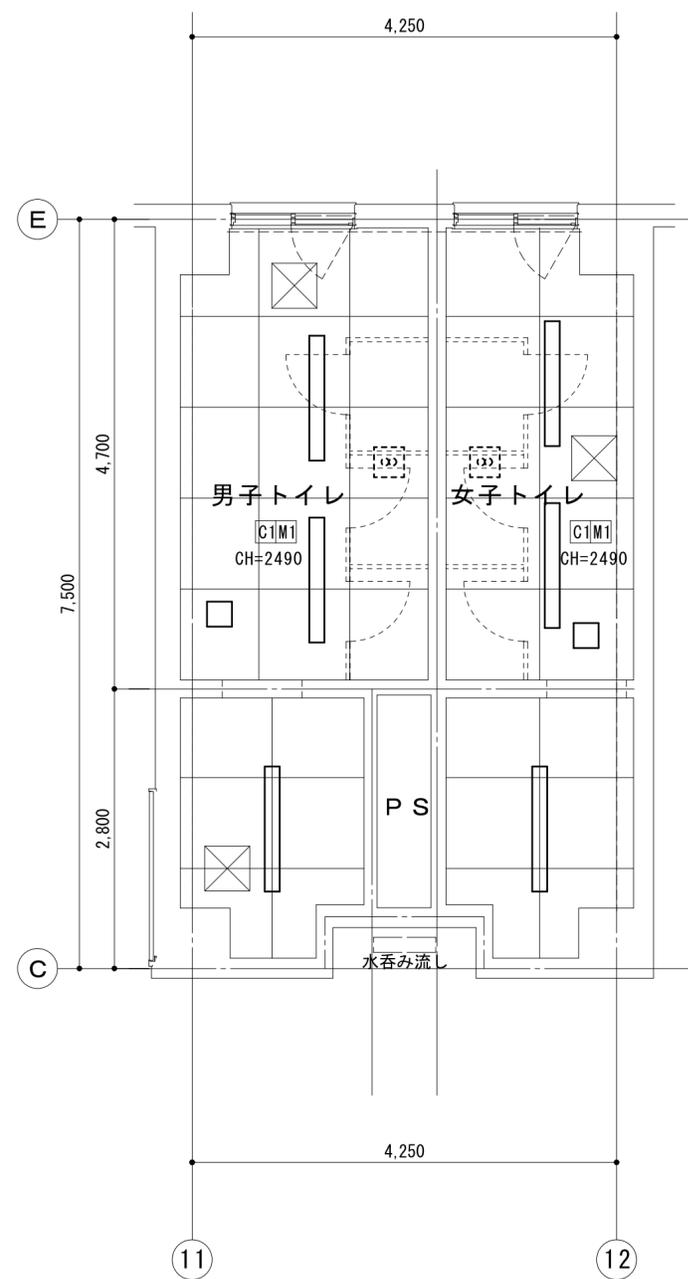
凡例

| | |
|--|--------------------------------|
| | 照明器具：蛍光灯 |
| | スイッチ（金属プレート）1P15A x 3 + PL x 1 |
| | 換気扇 |

特記なき配線・器具類はすべて撤去する



改修前 2階職員トイレ平面詳細図



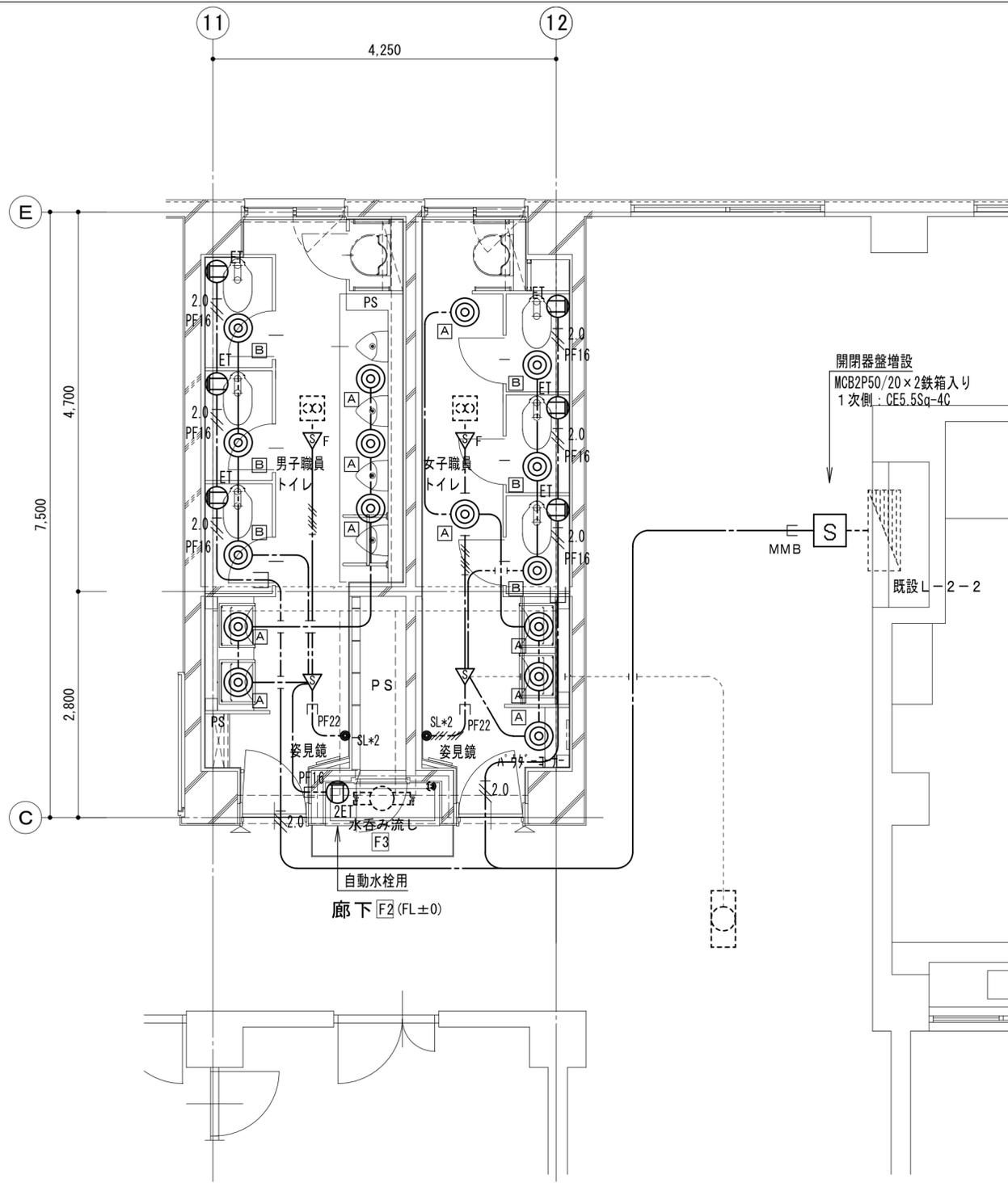
改修前 1階トイレ平面図

| |
|----------------------|
| 男子職員トイレ |
| FL 40W x 1 露出型 3台 撤去 |
| FL 20W x 1 露出型 1台 撤去 |

| |
|----------------------|
| 女子職員トイレ |
| FL 40W x 1 露出型 3台 撤去 |
| FL 20W x 1 露出型 1台 撤去 |

| |
|------------------------|
| 男子職員トイレ |
| FL 40W x 1 露出型 3台取外再取付 |

| |
|------------------------|
| 女子職員トイレ |
| FL 40W x 1 露出型 3台取外再取付 |



改修後 2階職員トイレ平面詳細図

凡例

| 記号 | 名称 | 仕様 |
|--------|--------------------|-------------------------|
| ○ | 照明器具 | |
| ◎ | 照明器具 (ダウンライト) | |
| ● SL*2 | 人感センサー操作スイッチ (2回路) | (OFF・自動・連続) カバー付 H=2.0m |
| ▽ | 人感センサー | 親機 |
| ▽F | 人感センサー | 子機、換気扇接続端子付 |
| ⊖ ET | コンセント | 2P15A×1ET (ボックス共) |
| ⊖ | 換気扇 | |

凡例

| 記号 | 配線 |
|-----------------|-------------------------------|
| --- | EM-EEF1.6-3C (天井内コガシ) |
| ---//--- | EM-EEF1.6-3C×2 (天井内コガシ) |
| ---F2.0--- | EM-EEF2.0-3C (天井内コガシ) |
| ---//---F2.0--- | EM-EEF1.6-3C×2 1Cアース (天井内コガシ) |
| --- --- | 壁立下りケーブル保護管PF16 |

【特記事項(共通)】

- 1) 特記なき太線の配線配管・機器を新設とする。
- 2) ----- 破線細線は既存を示す。

照明器具姿図

| | | | |
|---|---------|---|--------------|
| A | LRS1-08 | B | LDS2-LRS1-08 |
| 消費電力:7.6W 光束 :1065lm | | 消費電力:7.4W 光束 :1015lm | |
|  | |  | |

| | <p>(3) 特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。</p> <p>(4) F F式温風暖房機の撤去・再取得、新規設置について F F式温風暖房機の一時取外し、再取得、新規設置及び動作確認は、製造者又は製造者認定の代理店等に所属する「石油機器技術管理士」の登録を受けたもの（一財）日本石油燃焼機器保守協会」が行い、記録を整備すること。なお、動作確認は、一時取外し前、再取得付け後の双方で行うこと。新規設置の場合は設置後行うこと。</p> | <p>18 空気熱源ヒートポンプ空調機</p> <p>標準仕様書によるほか下記による。 (1) 圧縮機原動機の制御方式 ※回転数制御 ・オンオフ制御 (2) 冷媒 HFC (R 410A、R 32又はR 407C) (注1) R 410Aを採用した場合、冷媒配管は機器の設計圧力を満足するものを使用すること。 (注2) R 32を採用した場合、冷媒配管の断熱材被覆銅管は難燃性のものを使用すること。 (3) 埼玉県グリーン調達推進方針で掲げる成績係数を満たす機器とする。</p> | <p>⑫ 擬音装置</p> <p>女子用トイレブースに設置する。(※本工事 ・別途工事) 男子用トイレブースに設置する。(※本工事 ・別途工事) 多目的トイレブースに設置する。(※本工事 ・別途工事) 衛生設備器具の適用等の必要などは別途衛生設備器具表による。</p> | <p>② 洗面器等の排水管</p> <p>洗面器等に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップする。</p> <p>3 満水試験継手</p> <p>3階以上にわたる排水立管には、各階毎に次の継手を設ける。 ※掃除口付きソケット ・満水試験用掃除口ソケット</p> <p>4 樹の適用</p> <p>別紙表による。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|---|--|---|---------|-----------------------------------|---------|----------------|--|--|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-----|-------|-------|-----|---|---|---|---|---|-----|------|-------|-----|---|---|---|---|---|--|---|---------|-------|--|------------------------|----------------------|------------------------|--|---------|-------------|--|--------------|----------------|--|---|--------------|--|---|----------|--|---------------------|------------------|--|---------------------|-------|--|-------------------|------------------|--|---------|--------|--|-------------------------------|------------------------|--|-------------------------------|------------|--|-------------------------------|-------------|--|--------------|--------------|--|---|------------------|--|---------------------|-------|--|-------------------|------------------|--|---------|--------|--|-------------------------------|--|---------------|
| <p>○ 空気調和設備</p> <p>1 設計温湿度</p> <table border="1" data-bbox="270 266 774 359"> <tr> <td></td> <th colspan="4">外 気</th> <th colspan="4">屋 内</th> </tr> <tr> <td></td> <th>温度 [DB]</th> <th>湿度 [RH]</th> <th>温度 [DB]</th> <th>湿度 [RH]</th> <th>温度 [DB]</th> <th>湿度 [RH]</th> <th>温度 [DB]</th> <th>湿度 [RH]</th> </tr> <tr> <td>夏 期</td> <td>36.9℃</td> <td>46.1%</td> <td>28℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>冬 期</td> <td>0.6℃</td> <td>50.7%</td> <td>20℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> </table> <p>※外気処理用エアコンの屋内設定値は、夏期湿度50%とする。</p> <p>2 総合試運転調整</p> <p>※本工事 ・別途</p> <p>風量調整 ※する ・しない 水量調整 ※する ・しない 騒音の測定 ※する ・しない 室内外空気の温湿度の測定 ※する ・しない 室内気流及びじんあいの測定 ・する ※しない 初期運転状態の記録 ※する ・しない 工事対象範囲の既設機器運転状態の記録 ※する ・しない</p> <p>3 煙 道</p> <p>(1) 鉄板厚 ※3.2mm ・4.5mm) (2) ばい煙濃度計 ※設ける ・設けない (3) ばいじん量測定口 ※設ける (測定口は80φとする) ・設けない</p> <p>4 煙 突</p> <p>※別途 ・本工事</p> <p>5 長方形ダクト</p> <p>※低圧ダクト (亜鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共振工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト (亜鉛鉄板製) ・高圧2ダクト (亜鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト (・A区分 ※B区分) ・塩ビ製ダクト (・A区分 ※B区分)</p> <p>6 円形ダクト</p> <p>※スパイラルダクト (※亜鉛鉄板製 ・ステンレス製) ・硬質塩化ビニル管 (VU) ・換気用耐火二層管 (大臣認定品) ※フレキシブルダクト (・保温付 ・保温無) (注1) 使用区分は図示による。</p> <p>7 風量測定口</p> <p>取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト、空調機出口チャンパーの分岐ダクト</p> <p>8 チャンパー</p> <p>(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) ダクト接続形の空気調和機等に取り付けるサブライチャンパー、レタンチャンパー及びダクト系で消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。</p> <p>9 吹出口及び吸込口ボックス</p> <p>※亜鉛鉄板製 ・ガラスウール製</p> <p>10 ダンパー</p> <p>(1) 防煙ダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・) 定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ピストンダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・)</p> <p>11 配管材料</p> <p>(1) 冷温水管 ※配管用炭素鋼鋼管 (白) ・ (2) 冷却水管 ※配管用炭素鋼鋼管 (白) ・ (3) プライン管 ※配管用炭素鋼鋼管 (黒) ・ (4) 冷媒管 ※断熱材被覆銅管 (保温厚mm ガス管 ※20以上 ・10以上 液管 ・20以上 ※10以上) ただし、液管の呼び径が9.52mm以下の断熱厚さは、8mmとしてもよい。 (5) ドレン管 (屋外) ※配管用炭素鋼鋼管 (白) ・硬質塩化ビニル管VP ドレン管 (屋内) ※保温機能付空調用ドレン管 (110φAGD「ハイイ」相当品) ・耐火二層管VP (FDPS-1) ・配管用炭素鋼鋼管 (白) ・硬質塩化ビニル管VP (消防協議事項： ただし、保温機能付空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。 (6) 油管 ※配管用炭素鋼鋼管 (黒) ・ (7) 蒸気管 給気管 ※配管用炭素鋼鋼管 (黒) ・ 還 管 ※圧力配管用炭素鋼鋼管 (黒) Sch40 ・ステンレス鋼管 (8) 膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管 ※配管用炭素鋼鋼管 (白) ・</p> <p>また、鋼管用伸縮管継手の種類は図示による。</p> <p>13 温 度 計</p> <p>規格はJIS又はVとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び共通仕様書による。 ※熱源機器の冷温水管 (出入口共)、冷却水管 (出入口共) ※空気調和機の冷温水管 (出入口共) ※ダクト接続形空気調和機のサブライチャンパー、レタンダクト、 外気取入ダクト及びレタンチャンパー ※冷温水ヘッダー (往) 及び各還り管 ※熱交換器の温水管 (出入口) ・</p> <p>14 圧 力 計</p> <p>取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管 (出入口共)、冷却水管 (出入口共) ※空気調和機の冷温水管 (出入口共) ※冷温水ヘッダー (往) 及び各還り管 ※熱交換器の温水管 (出入口) ・</p> <p>15 瞬間流量計</p> <p>瞬間流量計はピトー管方式によるもので止水コック付とし、型式及び取付部は下記による。なお、着脱部の指示部は (※1個 ・個) 付属とする。 ・熱源機器の冷温水管、冷却水管の出入口どちらかに (※固定形 ・着脱形) を設ける。 ・空気調和機の冷温水管の出入口どちらかに (※固定形 ・着脱形) を設ける。</p> <p>16 油面制御装置</p> <p>※往又は還どちらかの冷温水ヘッダーの各接続管へ (※固定形 ・着脱形) を設ける。 制御部には (※給油ポンプ制御 ※減速油警報 ・遠隔警報 ・電磁弁制御 ・返油ポンプ制御) の端子を設ける。 なお、フロートスイッチ部と制御装置の配管・配線は製造者標準仕様とする。</p> <p>17 冷却塔</p> <p>※直交流式 ・向流型 ※レジオネラ属菌殺菌剤等の自動薬剤注入装置 ※自動ブロー装置 ・ 補給水は、水道水とし、補給水接続管部分に清掃用の水栓を分岐して設ける。</p> | | 外 気 | | | | 屋 内 | | | | | 温度 [DB] | 湿度 [RH] | 夏 期 | 36.9℃ | 46.1% | 28℃ | % | ℃ | % | ℃ | % | 冬 期 | 0.6℃ | 50.7% | 20℃ | % | ℃ | % | ℃ | % | <p>○ 換気設備</p> <p>2 円形ダクト</p> <p>※スパイラルダクト (※亜鉛鉄板製 ・ステンレス製) ・硬質塩化ビニル管 (VU) ・耐火二層換気管又は耐火VP ※フレキシブルダクト (・保温付 ・保温無) (注1) 使用区分は図示による。</p> <p>3 風量測定口</p> <p>取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト</p> <p>4 チャンパー</p> <p>(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) 消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし、点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。</p> <p>5 ダンパー</p> <p>(1) 防煙ダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・) 定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ピストンダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・)</p> <p>6 多温箇所排気ダクト</p> <p>(1) 排気ダクトのうち下記箇所は硬質塩化ビニル管 (VU) (防火区画貫通箇所は換気用耐火二層管又は耐火VP) を使用できる。 ※浴室 (シャワー室、脱衣室を含む) ・ (2) 水抜き管は (※厨房、浴室 ※結露水が滞留する部分 ・) の排気ダクトには設ける</p> <p>7 保 温</p> <p>下記のダクトの保温を行う。 ※全熱交換器用の暖かいダクト 仕様はN・(ロ) ・X1とする。 保温施工範囲は、給気用OAダクトは全て、また、排気用EAダクトは外壁より1mの部分とする。 ※ (※厨房 ・湯沸室 ・) 用の隠蔽部ダクト (仕様はh・(イ) ・IXとし範囲は図示による)</p> <p>8 試運転調整</p> <p>風量調整 ※する ・しない 風量測定 ※する ・しない 騒音の測定 ※する ・しない</p> <p>○ 排煙設備</p> <p>1 ダクト ※亜鉛鉄板 ・ 2 排煙口の形式 ※天井取付 (・スリット形 ※スイング形) ・壁取付 (・スリット形 ・スイング形) 3 排煙口手動開放装置 開放及び復帰方式 ※ワイヤー式 ・電気式 (遠隔操作 ・不要 ・要) 4 排煙風量測定 建築設備定期検査業務基準書 (一財) 日本建築設備・昇降機センター) の排煙風量の検査方法に準ずる。</p> <p>○ 自動制御</p> <p>1 中央監視制御装置 ・有り ※無し 2 構成・機能 図示による 3 電気計装用機材 使用する電線及びケーブルは、原則としてEM電線またはEMケーブルとする。 屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 天井内隠ぺい電線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。</p> <p>○ 衛生器具設備</p> <p>① 小便器用節水装置 JIS B 2026 (自動水栓) による電気開閉式とし、小便器 (※一体形・分離形) とする。 ② バリアフリー対応 ・小便器 ※全部ストール形 ・一部ストール形 手すり (・本工事 ※別途工事) ・洗面器 ※自動水栓 (・全部 ※一部) ・レバー式水栓 (一部) ・シャワー ※サーモスタット式 ・ミキシング式 ※スライドバー ・フック ※止水機能付節水形シャワーヘッド ・鏡 ※600×800 (耐食鏡) ・傾斜鏡 (・照明無 ・照明付)</p> <p>③ 衛生器具付属水栓 (1) 器具付属止水水栓は ※ドライバー式 ・ハンドル式 (2) 水抜き栓を使用する場合は、水栓は固定コマ式とする。</p> <p>④ 自動水栓類の電源 ※AC100V ・乾電池等 ・自己発電</p> <p>⑤ 暖房便座 (1) JIS A 4422 (温水洗浄便座) とする。 (2) 機能種別 ※温水洗浄 ※脱臭 ・温風乾燥 ・トイレ室内暖房 (3) 温水洗浄加熱方式 ※瞬間式 ・貯湯式 (4) 使用流体は、飲料用水道水とする。 (5) リモコン ・AC100V ・乾電池等 ※自己発電</p> <p>⑥ 大便器洗浄弁・洗浄用タンク 器具表又は下記の場合を除き、※節水Ⅰ型・節水Ⅱ型とする。 ・洗浄弁操作方式は、※手動式・電気開閉式 (※センサー式・タッチスイッチ式) ・上層階で使用する大便器洗浄弁は、現地給水管の流動圧を確認し、必要に応じ低圧形とする。</p> <p>7 大便器耐火カバー ※設ける (ピット内は除く) ・設けない</p> <p>⑧ 掃除流し ※共栓なしとする。 ・共栓付とする。</p> <p>⑨ 排水器具用「」継手 ※使用できる ・使用できない</p> <p>⑩ 標 記 板 大便器、小便器の洗浄用水に雨水等の利用をしている場合は、その旨をわかりやすく各トイレ毎に表示する。 せつけん供給栓等がない場合は、監督員と協議のうえ洗面器、手洗いに設ける。</p> <p>11 水せっけん入れ</p> | <p>● 給水設備</p> <p>① 配管材料</p> <table border="1" data-bbox="1653 266 2157 758"> <tr> <th rowspan="2">施 工 箇 所</th> <th colspan="2">管 種 別</th> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む))</td> <td>※SUS ・SGP-PD ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>ウエット厨房、浴室等の湿潤シnder内配管)</td> <td></td> <td>※ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>保温をしない屋外露出部</td> <td></td> <td>※SUS ・SGP-PD</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部 (水道直結部分)</td> <td></td> <td>・H I V P ・水道用ステンレス鋼管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部 (一般部分)</td> <td></td> <td>※H I V P ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE)</td> </tr> <tr> <td>県営住宅 住戸内</td> <td></td> <td>※ポリブテン管 (さや管ヘッダー工法)</td> </tr> <tr> <td>便所天井内、P S 内 (注5)</td> <td></td> <td>※高密度ポリエチレン管 (32A以上)</td> </tr> <tr> <td>便所天井内</td> <td></td> <td>※ポリブテン管 (10mm保温付)</td> </tr> <tr> <td>便所空間壁内又は衛生器具等接続管</td> <td></td> <td>※ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td></td> <td>※SUS ・SGP-PD ・H I V P ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む))</td> <td></td> <td>※SUS ・SGP-PD ・H I V P ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>湿潤シnder内配管</td> <td></td> <td>※SUS ・SGP-PD ・H I V P ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>保温をしない屋外露出部</td> <td></td> <td>※SUS ・SGP-PD</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部 (一般部分)</td> <td></td> <td>※H I V P ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・</td> </tr> <tr> <td>便所天井内、P S 内 (注5)</td> <td></td> <td>※高密度ポリエチレン管 (32A以上)</td> </tr> <tr> <td>便所天井内</td> <td></td> <td>※ポリブテン管 (10mm保温付)</td> </tr> <tr> <td>便所空間壁内又は衛生器具等接続管</td> <td></td> <td>※ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td></td> <td>※SUS ・SGP-PD ・H I V P ・ポリブテン管</td> </tr> </table> <p>(注1) S USとは、JIS G 3448 またはJWMA G 115 に規定するステンレス鋼管とし、継手は一般部 (・圧縮 ※がブローシ ・拡管) 便所・廊下流し廻り露出配管 (※拡管) とする。 2. ステンレス管に取り付ける弁は、JV8-IIによる。 3. 飲料水以外の給水管は、系統別に管外部に配管識別テープを巻く。また、該接続がないことを確認するため衛生器具の取付完了後、系統毎に着色水を用いた通水試験を行う。 4. 建物導入部において、ポリエチレン管と異種管を接合する場合は、接合部が容易に点検できるように点検用柵を設ける。 5. 口径25Aにて大便器等に接続する場合は、施工状況に応じて高密度ポリエチレン管の使用も可とする。 6. 高密度ポリエチレン管とは、主材料に高密度ポリエチレン樹脂 (PE100) を採用し、管と継手を電気融着にて接合するものをいう。</p> <p>2 一体形タンク</p> <p>一体形タンクについての標準図は一般的な形状及び数値を示すものであって、図面及び特記仕様書に記載された耐震強度、容量、寸法を満たすものであればよい。</p> <p>③ 水 栓</p> <p>※給湯水栓を除き大きさの呼び13の水栓は、節水コマとする。 ・水抜き栓を使用する場合は、屋外に設ける水栓は耐寒水栓とする。ただし屋内は固定コマ式とする。 ※親メーター (※買付品 ・) ・子メーター (※買取り ・) ※水道事業者指定品 ・標準図MC形</p> <p>4 量 水 器</p> <p>規格はJIS又はJ Vとし、水道直結部分は10Kとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び標準仕様書による。</p> <p>⑥ 弁 類</p> <p>・防寒コンクリート水栓柱 (1200L) ※不凍給水栓</p> <p>7 水 栓 柱</p> <p>図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・標準図施4 (・(a) ・(b) ・(c))</p> <p>8 建物導入部配管</p> <p>水道事業者の集合住宅に関する戸別検針規程に適合するように関連工事業者と調整のうえ施工すること。</p> <p>9 検針方法</p> <p>水道利用加入金は、別途とする。ただし、水道事業者との調整は本工事を含む。</p> <p>10 水道利用加入金</p> <p>水道本管からの給水取出し工事は、本工事範囲とする。また、取出し部における舗装の復旧も含む。</p> <p>11 本管取出し</p> | 施 工 箇 所 | 管 種 別 | | 床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む)) | ※SUS ・SGP-PD ・ポリブテン管 | ウエット厨房、浴室等の湿潤シnder内配管) | | ※ポリブテン管 | 保温をしない屋外露出部 | | ※SUS ・SGP-PD | 地中埋設部 (水道直結部分) | | ・H I V P ・水道用ステンレス鋼管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・ | 地中埋設部 (一般部分) | | ※H I V P ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE) | 県営住宅 住戸内 | | ※ポリブテン管 (さや管ヘッダー工法) | 便所天井内、P S 内 (注5) | | ※高密度ポリエチレン管 (32A以上) | 便所天井内 | | ※ポリブテン管 (10mm保温付) | 便所空間壁内又は衛生器具等接続管 | | ※ポリブテン管 | その他の部分 | | ※SUS ・SGP-PD ・H I V P ・ポリブテン管 | 床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む)) | | ※SUS ・SGP-PD ・H I V P ・ポリブテン管 | 湿潤シnder内配管 | | ※SUS ・SGP-PD ・H I V P ・ポリブテン管 | 保温をしない屋外露出部 | | ※SUS ・SGP-PD | 地中埋設部 (一般部分) | | ※H I V P ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・ | 便所天井内、P S 内 (注5) | | ※高密度ポリエチレン管 (32A以上) | 便所天井内 | | ※ポリブテン管 (10mm保温付) | 便所空間壁内又は衛生器具等接続管 | | ※ポリブテン管 | その他の部分 | | ※SUS ・SGP-PD ・H I V P ・ポリブテン管 | <p>○ 給湯設備</p> <p>1 配管材料</p> <p>・露出部 M鋼管 その他 保温付被覆鋼管 (M鋼管) ・一般配管用ステンレス鋼管 ・ポリブテン管 (さや管ヘッダー工法)</p> <p>2 絶縁フランジ</p> <p>取付部は下記による。 ※鋼管と鋼管及びこれに類する部分 ※鋼管とステンレス管及びこれに類する部分</p> <p>3 弁 類</p> <p>(1) 規格はJIS又はJVとし、指定なきものは5K、それ以外は図示による。 (2) ステンレス管に取り付ける弁は、JV8-IIによる。</p> <p>4 ガス瞬間湯沸器</p> <p>※屋外設置の潜熱回収型 ・PS扉内設置の潜熱回収型</p> <p>5 電気給湯器</p> <p>飲用の場合は、80℃以上で使用可能なものとし、「熱湯注意」の表示をする。</p> <p>○ 消火設備</p> <p>1 配管材料</p> <p>屋内消火栓用 一般配管※SGP (白) ・STPG370 (白) Sch40 地中埋設※SGP-VS ・H I V P 消火用 一般配管※SGP (白) ・STPG370 (白) Sch40 地中埋設※SGP-VS ・H I V P 不活性ガス消火用 ※STPG370 (白) Sch40 ・STPG370 (白) Sch80</p> <p>2 建物導入部配管</p> <p>図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・標準図施4 (・(a) ・(b) ・(c))</p> <p>○ ガス設備</p> <p>1 配管材料</p> <p>・都市ガス ガス事業者の供給規定による。埋設配管はPE管を原則とする。 ・液化石油ガス 一般配管 ※合成樹脂被覆鋼管 ・SGP (白) 地中埋設 ※PE管</p> <p>2 ガス漏れ警報遮断装置</p> <p>漏洩検知装置は、流量検知式圧力監視型とする。</p> <p>3 液化石油ガスの供給権</p> <p>ガス設備工事の施工者にガスの供給権は付帯しない。</p> <p>○ 厨房設備</p> <p>1 厨房機器の固定</p> <p>原則として、移動を前提とする厨房機器を除き地震時に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。</p> <p>2 シンク用水栓</p> <p>※レバー式泡沫水栓 ・自動水栓</p> <p>3 安全装置の機能の適用</p> <p>標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。</p> <p>舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書</p> <p>第1条 この特記仕様書は、埼玉県機械設備工事特別共通仕様書に定めるもののほか、アスファルト舗装版切断時に発生する濁水 (以下「濁水」という。) の処理に関し必要な事項を定めるものである。</p> <p>第2条 受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。 ・種類及び処理量 汚泥 (油分を含む汚泥) m3 ・中間処理施設 市 地内、(株) ・処理方法 ・中間処理後、最終処分場に搬入 (処理に焼却又は溶解含まず) ・中間処理後、最終処分場又は再資源化 (処理に焼却又は溶解を含む)</p> <p>第3条 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合には、事前に監督員と協議するものとする。</p> <p>第4条 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票 (以下「マニフェスト」という。) により管理するものとする。</p> <p>第5条 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と第3条第3項及び第4項に基づき締結した委託契約書の写しを添付すること。</p> <p>第6条 受注者は、工事検査時にマニフェスト原本を提示する。</p> <p>第7条 濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。</p> <p>第8条 受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合には、事前に監督員と協議するものとする。</p> <p>第9条 この特記仕様書に疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。</p> | <p>2022.4</p> |
| | 外 気 | | | | 屋 内 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 温度 [DB] | 湿度 [RH] | 温度 [DB] | 湿度 [RH] | 温度 [DB] | 湿度 [RH] | 温度 [DB] | 湿度 [RH] | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 夏 期 | 36.9℃ | 46.1% | 28℃ | % | ℃ | % | ℃ | % | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 冬 期 | 0.6℃ | 50.7% | 20℃ | % | ℃ | % | ℃ | % | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 施 工 箇 所 | 管 種 別 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む)) | ※SUS ・SGP-PD ・ポリブテン管 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ウエット厨房、浴室等の湿潤シnder内配管) | | ※ポリブテン管 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 保温をしない屋外露出部 | | ※SUS ・SGP-PD | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 地中埋設部 (水道直結部分) | | ・H I V P ・水道用ステンレス鋼管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 地中埋設部 (一般部分) | | ※H I V P ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 県営住宅 住戸内 | | ※ポリブテン管 (さや管ヘッダー工法) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 便所天井内、P S 内 (注5) | | ※高密度ポリエチレン管 (32A以上) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 便所天井内 | | ※ポリブテン管 (10mm保温付) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 便所空間壁内又は衛生器具等接続管 | | ※ポリブテン管 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他の部分 | | ※SUS ・SGP-PD ・H I V P ・ポリブテン管 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む)) | | ※SUS ・SGP-PD ・H I V P ・ポリブテン管 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 湿潤シnder内配管 | | ※SUS ・SGP-PD ・H I V P ・ポリブテン管 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 保温をしない屋外露出部 | | ※SUS ・SGP-PD | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 地中埋設部 (一般部分) | | ※H I V P ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 便所天井内、P S 内 (注5) | | ※高密度ポリエチレン管 (32A以上) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 便所天井内 | | ※ポリブテン管 (10mm保温付) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 便所空間壁内又は衛生器具等接続管 | | ※ポリブテン管 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他の部分 | | ※SUS ・SGP-PD ・H I V P ・ポリブテン管 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | <p>一級建築士事務所 高 橋 設 計 Takahashi Architecture Design</p> | | <p>設計年月日 2022.9</p> | | <p>工事名 狭山市立狭山台中学校外1校職員トイレ改修工事</p> | | <p>図面番号</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | <p>一級建築士 第124805号 高橋 卓司 埼玉県狭山市堀巻764-4</p> | | <p>図面名 機械設備工事特記仕様書 (2)</p> | | <p>縮 尺 A2=N, S ・ A3=N, S</p> | | <p>M - 0 2</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

新設衛生設備器具表

| 記号 | 名称 | 仕様（参考型番） | 狭山台中学校 | | | 柏原中学校 | | |
|------|-------------|---|---------|---------|----|---------|---------|----|
| | | | 女子職員トイレ | 男子職員トイレ | 合計 | 女子職員トイレ | 男子職員トイレ | 合計 |
| C-1 | 洋風大便器 | 床置大便器(掃除口付) フラッシュバルブ式 温水洗浄便座(擬音装置共) 棚付二連紙巻器 他付属品一式共 【TOTO】CFS494CHNS TCF5524 TH343R HP4307 YH600FM T56PH 【LIXIL】C-P25SM CF-T7114A CW-PA11FL-NE CF-103BB K-T001A CF-AA64KUT | 3 | 2 | 5 | 3 | 3 | 6 |
| U-1 | 小便器 | 壁掛型小便器FV 他付属品一式共 【TOTO】UFH500 TG600PN T9R 【LIXIL】U-406RU UF-3JT UF-506BWP SF-10E | | 3 | 3 | | 4 | 4 |
| L-1 | 洗面器 | カウンター（建築工事）・洗面器自動単水栓(自己発電式) Pトラップ 他付属品一式共 【TOTO】L350 TENA40AW 【LIXIL】L-2260 AM-300C | 2 | 2 | 4 | 2 | 2 | 4 |
| M-1 | 化粧鏡 | 350×16×800 【TOTO】YM3580AC 【LIXIL】KF-D3083AS | 3 | 2 | 5 | 3 | 2 | 5 |
| M-2 | 全身鏡 | 300×16×1500 【TOTO】YMK50K 【LIXIL】KF-W300H1500R | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 |
| SK-1 | 多目的流し | 掃除流し 横水栓 Pトラップ 他付属品一式共 【TOTO】SK507 T131SUN13C TK40P T9R T8C 【LIXIL】S-21S LF-16F-13 SF-21PAM SF-10E LF-6L | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 |
| PH-1 | ペーパータオルホルダー | ステンレス製 鍵付き ペーパータオル収納枚数(目安300枚) 【TOTO】YKT300MN 【LIXIL】該当品なし | 1 | 1 | 2 | | | |

※下地及び補強板は建築工事とし、固定金具は機械設備工事とする。

狭山台・柏原

図面番号

M-03



一級建築士事務所
高橋設計
一級建築士 第124805号 高橋卓司
埼玉県狭山市堀兼764-4

設計年月日
2022.9

工事名 狭山市立狭山台中学校外1校職員トイレ改修工事

図面名 衛生器具表

縮尺

■凡例

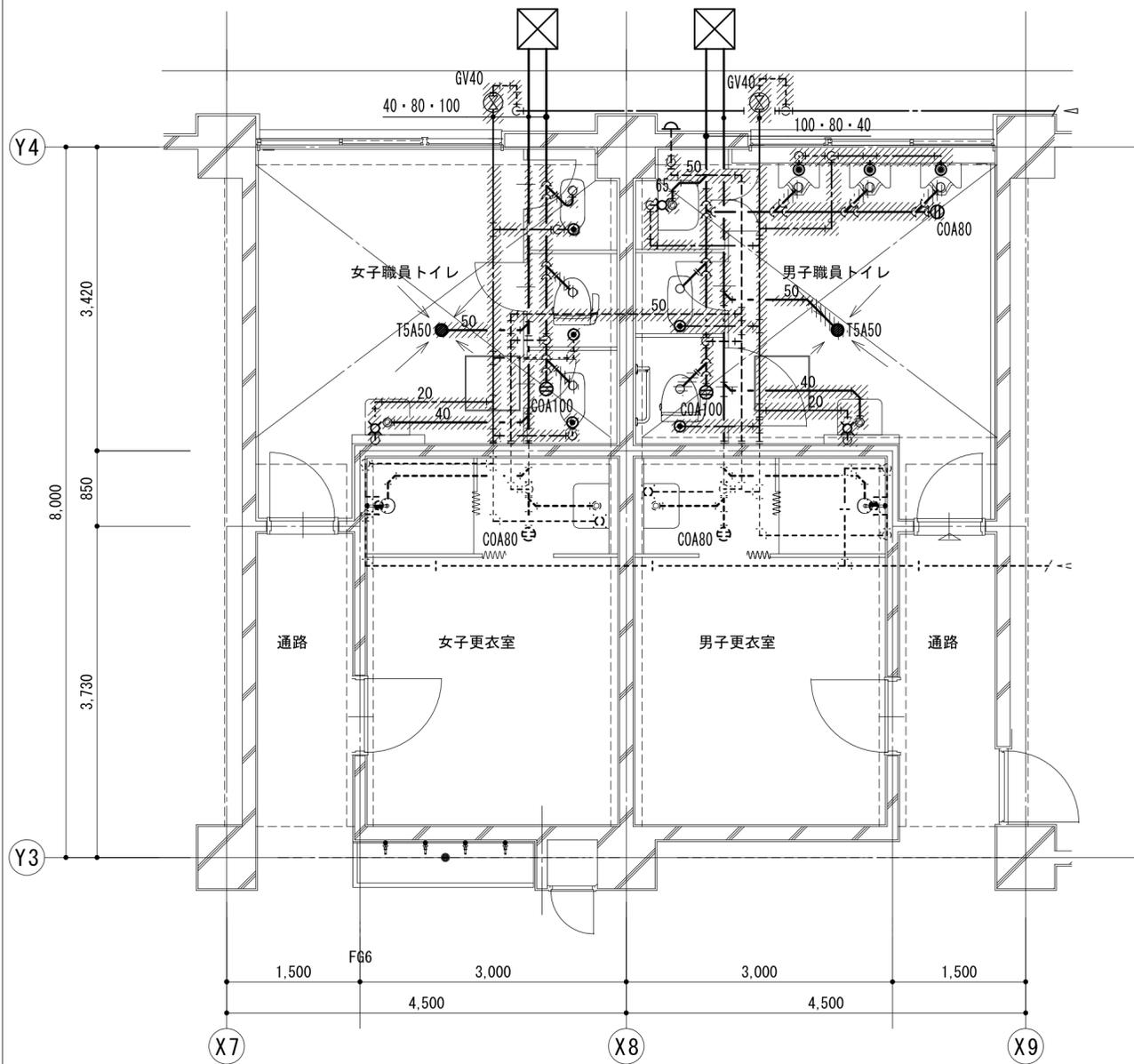
| |
|-------------------|
| 給水管 (SGP-VA) |
| 汚水: 排水用鑄鉄管 |
| 雑排水: 排水用 (SGP) |
| 通気: 排水用硬質塩ビ管 (VP) |
| 撤去 (給排水通気管) を示す |

| 撤去衛生器具 | 女子便所 | 男子便所 |
|--------|------|------|
| 床置大便器 | 1 | 1 |
| 和風大便器 | 2 | 1 |
| 壁掛小便器 | | 3 |
| 洗面器 | 1 | 1 |
| 掃除流し | | 1 |
| 化粧鏡 | 1 | 1 |

- C-1 × 3
- L-1 × 2
- M-1 × 3
- M-2 × 1
- SK-1 × 1
- PH-1 × 1
- C-1 × 2
- L-1 × 2
- M-1 × 2
- M-2 × 1
- SK-1 × 1
- U-1 × 3
- PH-1 × 1

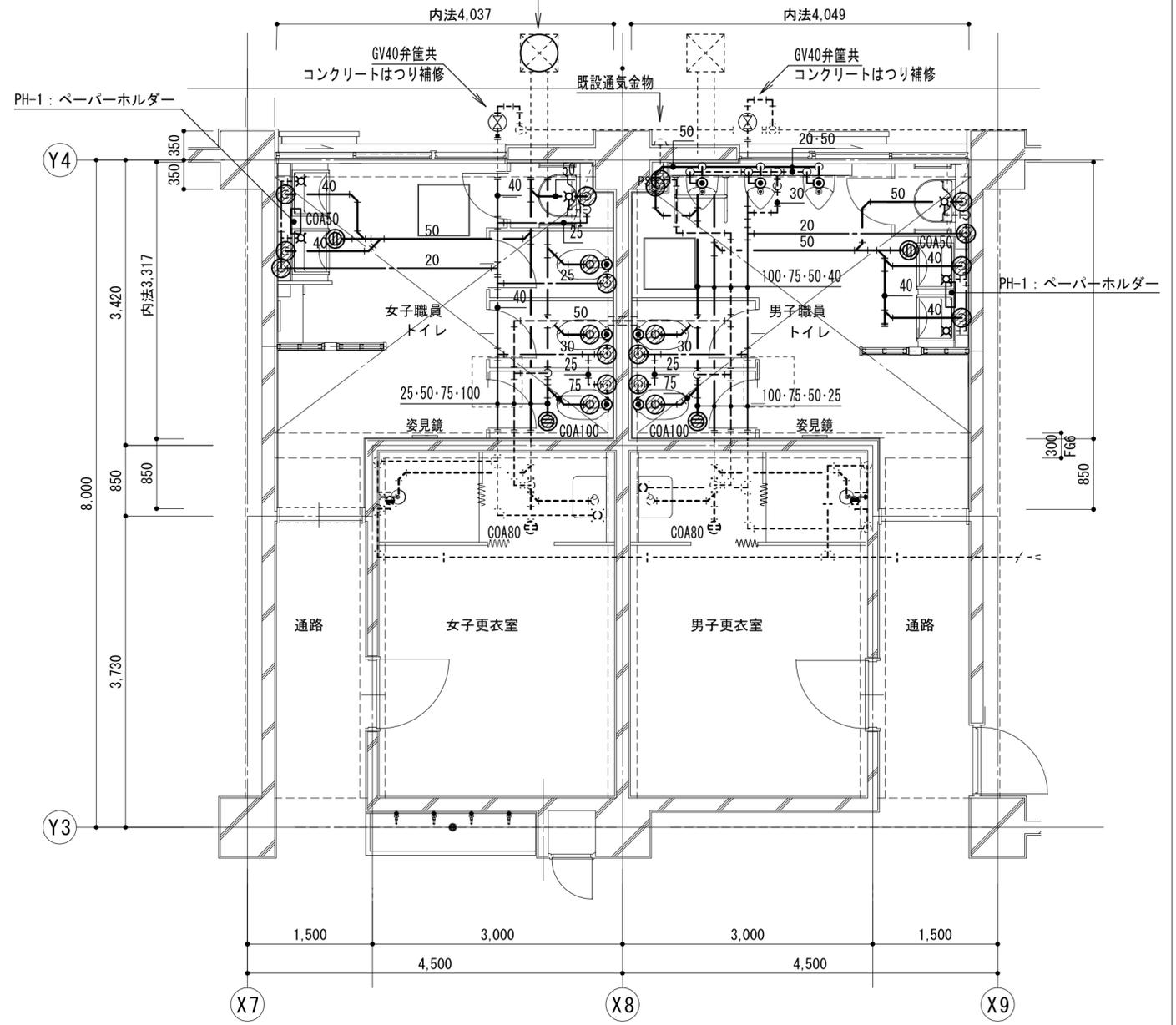
■凡例

| |
|-----------|
| 給水管 (SUS) |
| 汚水: VP |
| 雑排水: VP |
| 通気: VP |
| 床コア抜き |



改修前 1階職員トイレ平面詳細図

特記なき配管・器具類はすべて撤去



改修後 1階職員トイレ平面詳細図

狭山台中学校

図面番号

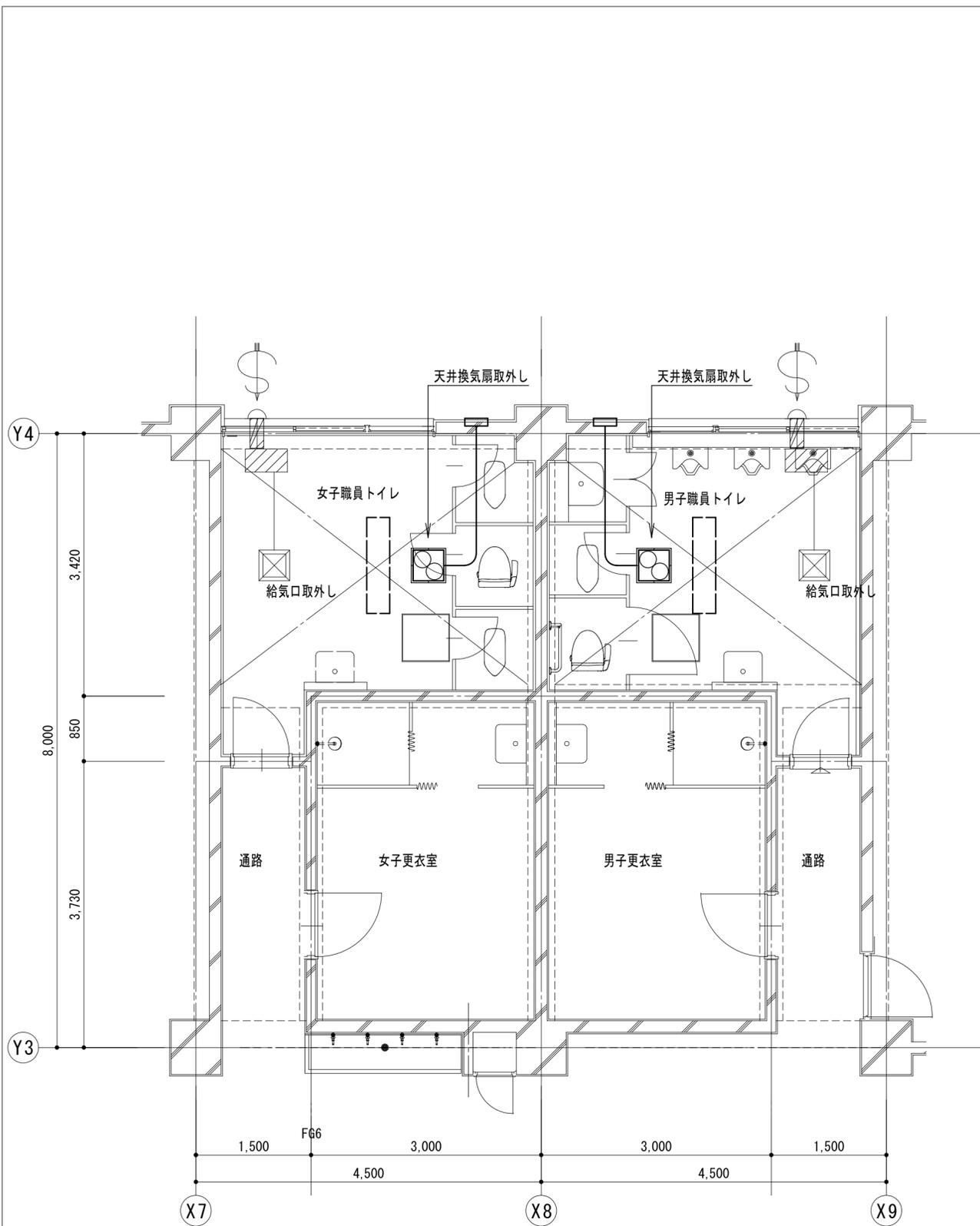
M-04



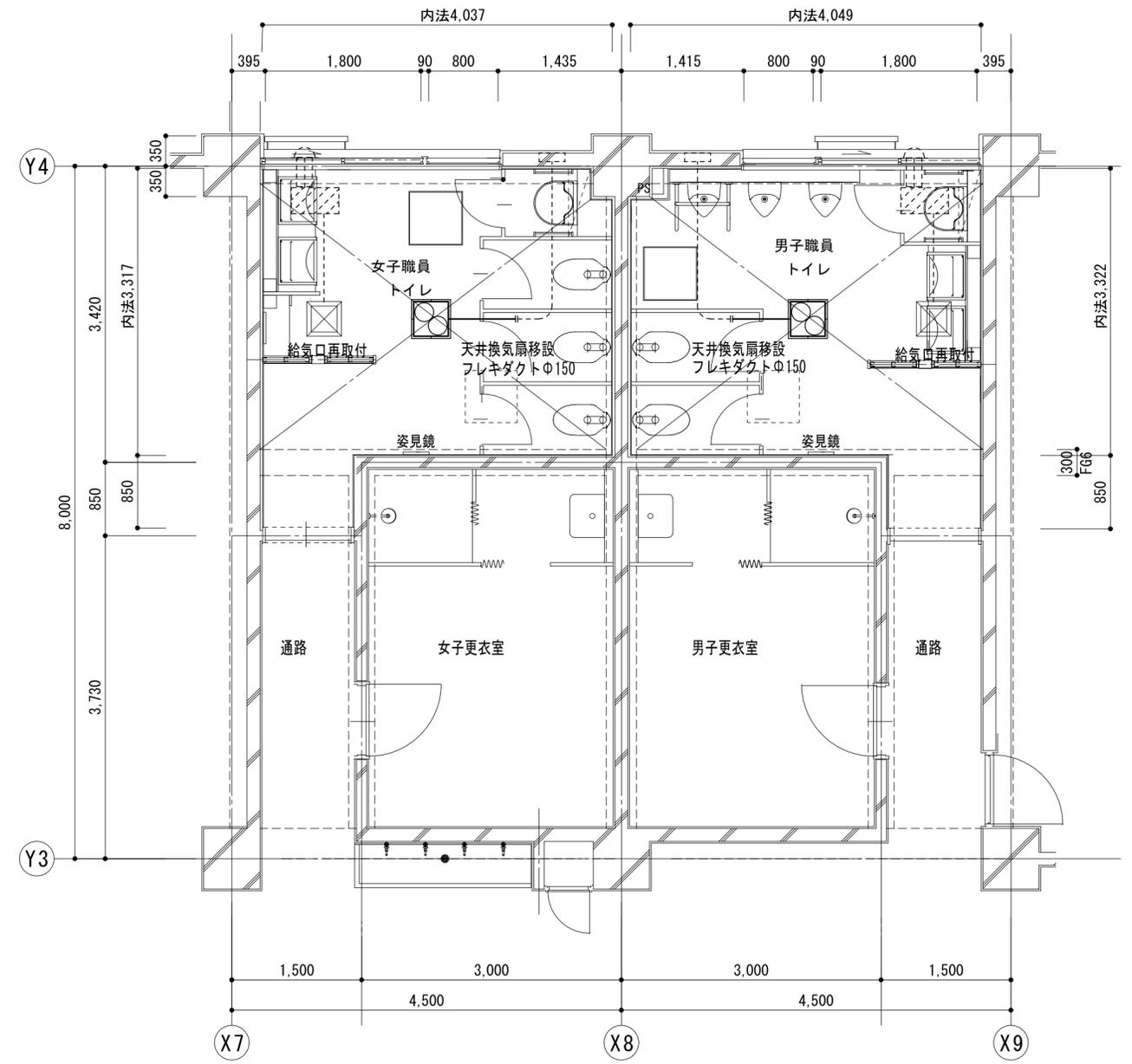
一級建築士事務所
高橋設計
一級建築士 第124805号 高橋卓司
埼玉県狭山市堀兼764-4

設計年月日
2022.9

工事名 狭山市立狭山台中学校外1校職員トイレ改修工事
図面名 改修前後 給排水設備 1階職員トイレ平面図
縮尺 A2=1/50 ・ A3=1/71



改修前 1階職員トイレ平面詳細図



改修後 1階職員トイレ平面詳細図

※天井換気扇・給気口のフェースは清掃の上再取付とする。

| | | | |
|--|--|-----------------|--|
| | | 狭山台中学校 | |
| | | 図面番号 | |
|  高橋設計 一級建築士事務所 一級建築士 第124805号 高橋卓司 埼玉県狭山市堀兼764-4 | | 設計年月日 2022.9 | 工事名 狭山市立狭山台中学校外1校職員トイレ改修工事 図面名 改修前後 換気設備 1階職員トイレ平面図 縮尺 A2=1/50 ・ A3=1/71 |
| | | M-05 | |

■凡例

| | |
|--|-------------------|
| | 給水管 (SGP-VA) |
| | 汚水: 排水用鑄鉄管 |
| | 雑排水: 排水用 (SGP) |
| | 通気: 排水用硬質塩ビ管 (VP) |
| | 撤去 (給排水通気管) を示す |

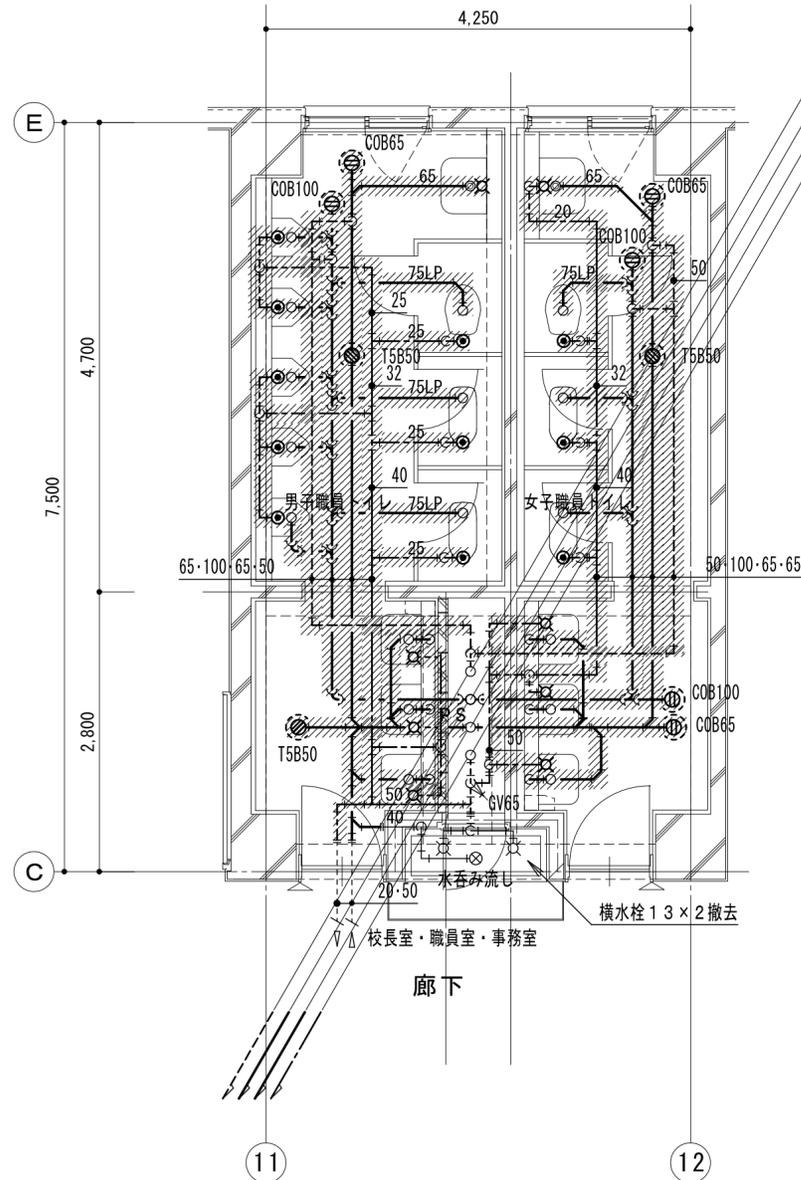
| 撤去衛生器具 | 男子便所 | 女子便所 |
|--------|------|------|
| 床置大便器 | 1 | 1 |
| 和風大便器 | 2 | 2 |
| 壁掛小便器 | 5 | 2 |
| 洗面器 | 3 | 3 |
| 掃除流し | 1 | 1 |
| 化粧鏡 | 3 | 3 |

- C-1 × 3
- L-1 × 2
- M-1 × 2
- M-2 × 1
- SK-1 × 1
- U-1 × 4

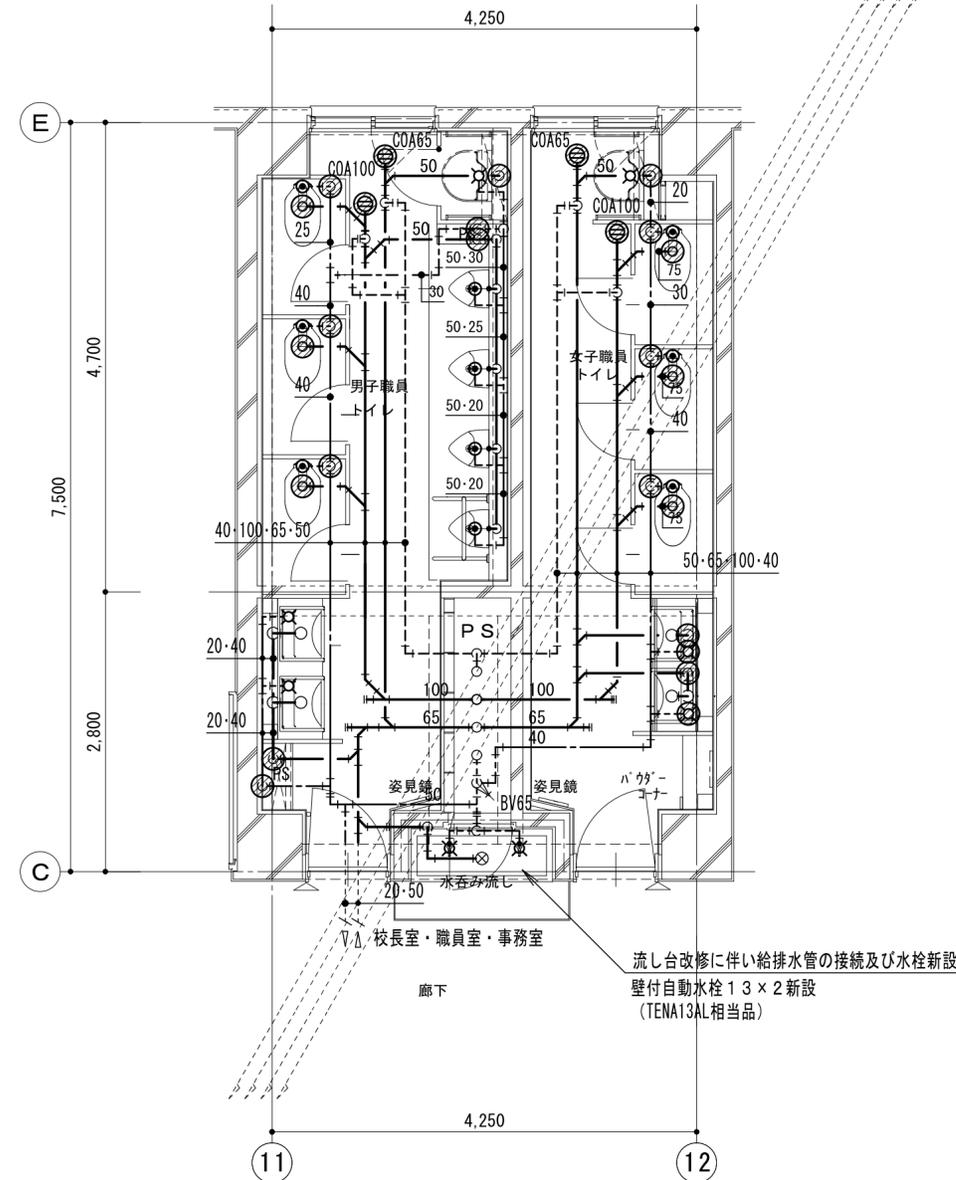
- C-1 × 3
- L-1 × 2
- M-1 × 3
- M-2 × 1
- SK-1 × 1

■凡例

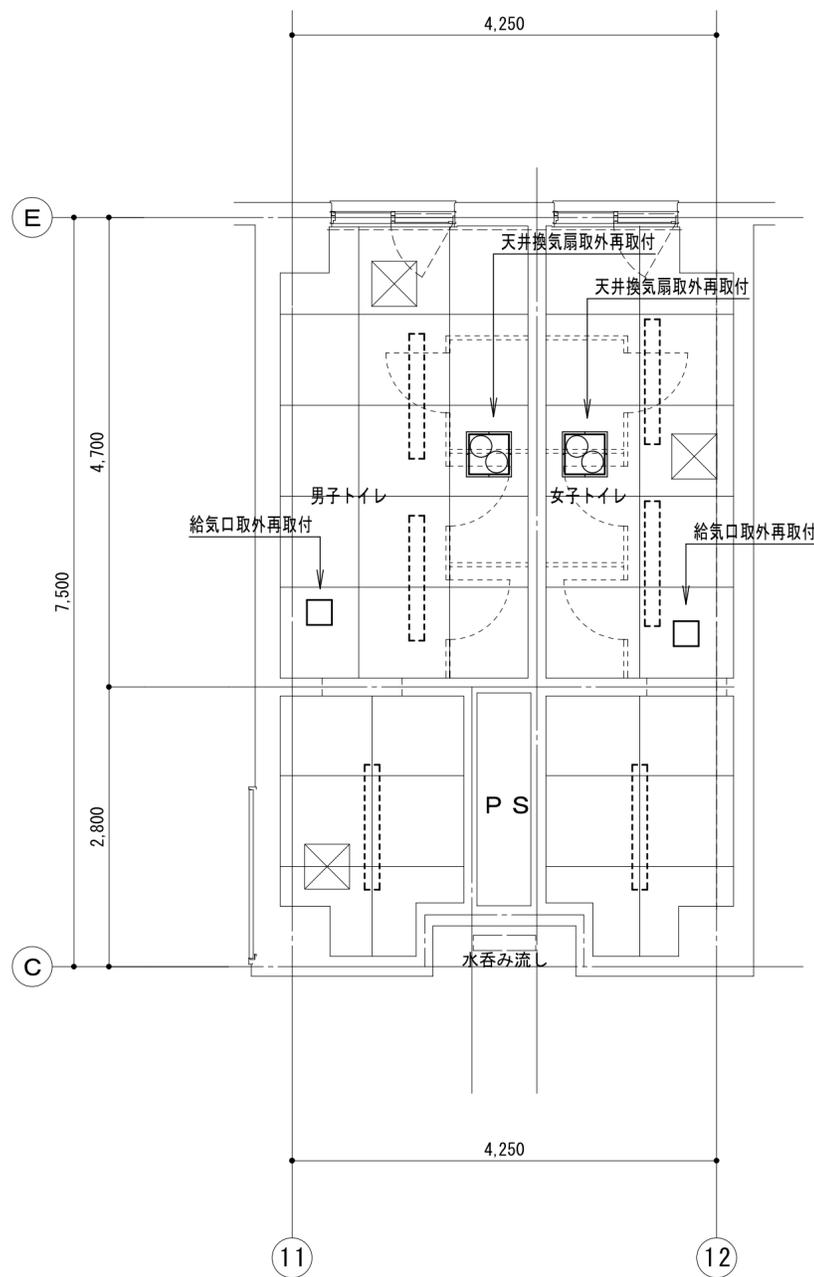
| | |
|--|-----------|
| | 給水管 (SUS) |
| | 汚水: VP |
| | 雑排水: VP |
| | 通気: VP |
| | 床コア抜き |



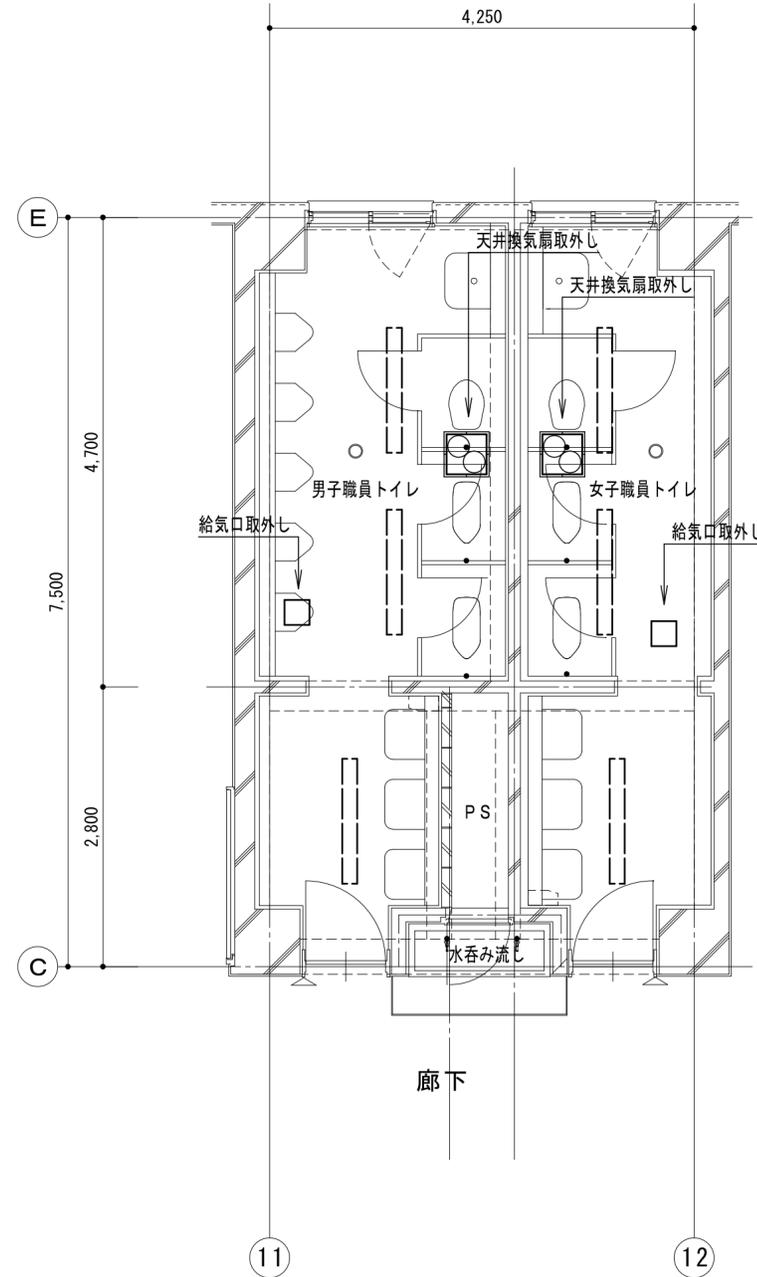
改修前 2階職員トイレ平面詳細図



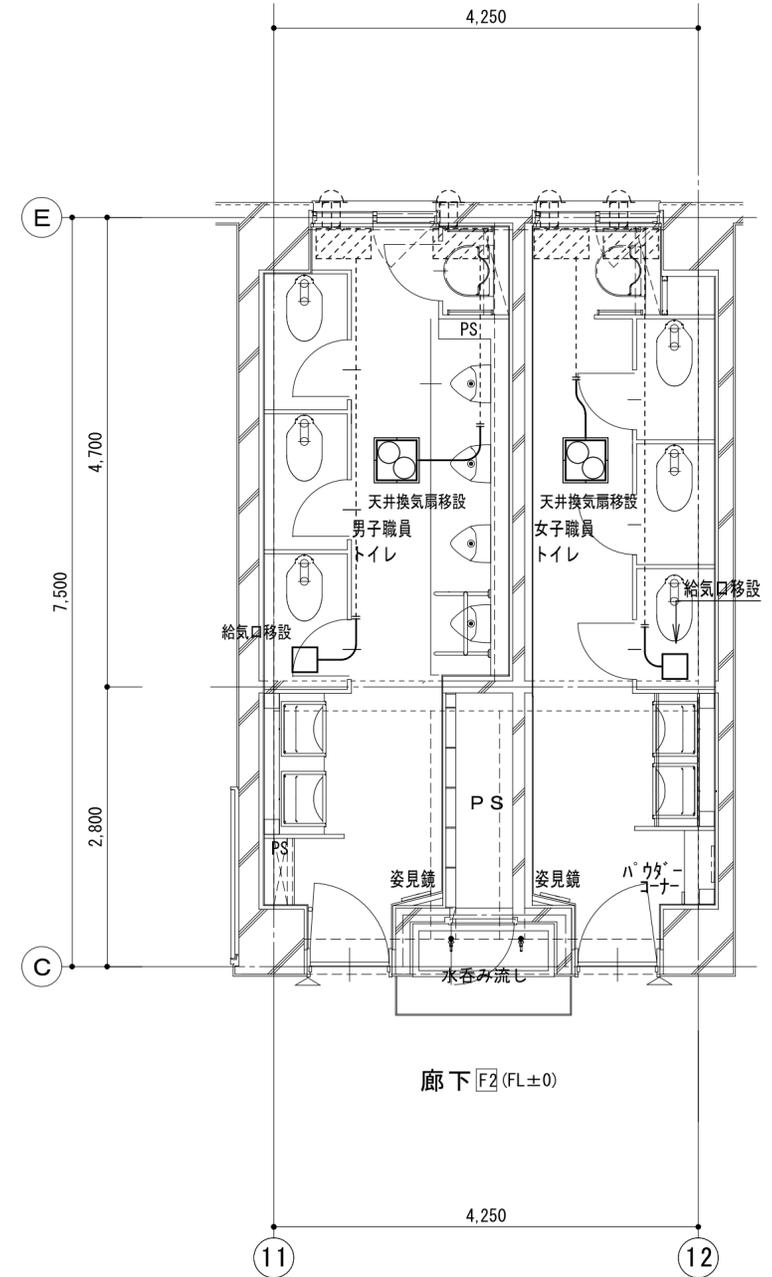
改修後 2階職員トイレ平面詳細図



改修前 1階トイレ平面図



改修前 2階職員トイレ平面詳細図



改修後 2階職員トイレ平面詳細図

※天井換気扇・給気口の移設はフレキシブルダクトを使用する。
 ※天井換気扇・給気口のフェースは清掃の上再取付とする。